

127M-10

No. 1899/22



哲學書院

井上圓了著  
教育日記

上篇



緒言

一余初メ紀行日記等ハ編述セサル意ナリシカ友人來  
リテ曰ク近來洋行者甚々多ク紀行日記亦尠カラス  
ト雖モ未タ宗教風俗ニ關シタル紀行ヲ見ス君宜ク  
其洋行日記ヲ編成シテ世上ニ公ニスヘント余因テ  
懷中日記ヲ出シテ之ヲ示ス友人曰ク是レニテ足レ  
リ世人君ヨリ政教ノ事情ヲ聞カンコトヲ欲スルヤ切  
ナリ君速カニ之ヲ刊布スヘシ余因テ懷中日記中ヨ  
リ日月地名ヲ除キ去リ專ラ宗教風俗ニ關シタル種  
目ノミヲ取り出シ一篇ノ冊子トナセリ假リニ題シ

テ政教日記ト云フ  
一此書題シテ政教日記ト稱スルモ專ラ宗教ト風俗ト  
ニ關シタル事項ノミヲ掲出セリ而シテ各國ノ政教  
關係論ニ至テハ他日別ニ編述スルコトアルヘシ  
一此書寧ロ洋行雜記ニシテ宗教風俗ノ外ニ種々雜多  
ノ事項ヲ混入セサルニアラス其中往々政教上ニ必  
要ナラサルモノアルヘシト雖モ歸朝後意外ニ多忙  
ニシテ緩々訂正取捨スルノ暇ナケレハ其日記中草  
案ノ儘編成スルニ至ル讀者請フ之ヲ諒セヨ

明治廿二年八月

著者誌

目次

- 上篇第一 周遊ノ目的及太平洋紀行ノ部
- 全 第二 米國並大西洋紀行ノ部
- 全 第三 英國地方紀行ノ部
- 全 第四 英國龍動紀行ノ部
- 全 第五 蘇國紀行ノ部(附愛爾蘭)
- 下篇第一

佛蘭西紀行ノ部(附瑞西、西班牙及葡萄牙)

全 第二

以太利紀行ノ部(附希臘及土耳其)

全 第三

澳大利紀行ノ部(附魯士亞)

全 第四

獨逸紀行ノ部(附瑞典、暹國、和蘭、白耳義)

全 第五

印度洋紀行ノ部

索引

上篇目次

周遊ノ目的及太平洋紀行ノ部

第一、奮然一起シテ遠洋万里ノ途ニ上ル

第二、政府ノ事業ハ民間ノ事業ニ及ハズ

第三、政教即チ哲學ナリ

第四、人ニハ二様ノ見アルヲ要ス

第五、國ノ本ハ精神ニアリ

第六、无形上ノ文明

第七、无形精神上ノ文明ハ競争淘汰ノ結果

第八、社會的ノ文明ハ模擬スヘカラス

第九、獨立ヲ維持スルニ必要ナル元素

第十、政治ト宗教ハ表裏ノ關係ヲ有ス

第十一、哲學的ノ視察

第十二、眞理ノ味色

第十三、海上ノ風波

第十四、船ヲ知ルモノト知ラサルモノ

- 第十五、 佛教者ノ肉食妻帯
- 第十六、 造物主ヲ立ツルノ非理  
米國並大西洋紀行ノ部
- 第十七、 日本僧侶ト耶穌僧侶トノ比較
- 第十八、 莫爾門宗ノ本寺
- 第十九、 莫爾門宗ノ信徒
- 第二十、 莫爾門宗ノ本書
- 第二十一、 多妻必スシモ莫爾門ナラス
- 第二十二、 身軀ノ洗濯
- 第二十三、 寺院ト人口ノ割合
- 第二十四、 米國人民ノ階級
- 第二十五、 心理療法ノ一種
- 第二十六、 市在ノ寺院
- 第二十七、 住職ノ多事
- 第二十八、 僧侶ノ尊敬
- 第二十九、 教會ノ景况

- 第三十、 牧師ノ生命ヲ保險ス
- 第三十一、 合衆國牧師ノ所得
- 第三十二、 米人耶穌教外ノ人ヲ擯斥ス
- 第三十三、 米國耶穌教景况
- 第三十四、 耶穌教ノ僧侶盡ク品行端正ナルニアラス
- 第三十五、 米國耶穌教衰微ノ原因
- 第三十六、 布教ノ好手段
- 第三十七、 米國ノ宗教ノ性質
- 第三十八、 日曜禮拜ノ時刻
- 第三十九、 遊山會
- 第四十、 寺院ノ小集
- 第四十一、 英雄學者ノ肖像
- 第四十二、 人民ノ正直
- 第四十三、 米國ノ驕々トシテ文明ニ進ム所以
- 第四十四、 米國ノ美術ノ思想ニ乏キ所以
- 第四十五、 山川ノ教育

- 第四十六、教育ノ種類
- 第四十七、富國策
- 第四十八、直接及ヒ間接ノ利益
- 第四十九、西洋人必ス日本ニ來遊スヘシ
- 第五十、音曲會
- 英國地方紀行ノ部
- 第五十一、宗教政府
- 第五十二、英國中ノ宗派
- 第五十三、英國々教宗ノ統計
- 第五十四、寺院ト人口ノ割合
- 第五十五、國教宗僧侶ノ階級
- 第五十六、國教宗ノ教區及ヒ僧官
- 第五十七、國教宗ノ禮壇
- 第五十八、國教宗ノ本山
- 第五十九、寺院ノ俗吏
- 第六十、僧侶トナルヘキ資格

- 第六十一、僧侶裁判ノ組織
- 第六十二、僧侶ノ會議
- 第六十三、禮拜ノ次數及ヒ時間
- 第六十四、英國諸宗ノ禮拜
- 第六十五、寺院收入ノ要目
- 第六十六、僧侶ノ月給
- 第六十七、寺院ノ集金
- 第六十八、會費徵集ノ方法
- 第六十九、賽錢ノ揭示
- 第七十、寺院創立費
- 第七十一、寄附者ノ姓名
- 第七十二、食時ノ禮拜
- 第七十三、宗派異ナレハ名目亦異ナリ
- 第七十四、英國教宗ト舊教トノ區別
- 第七十五、佛教ト耶蘇教トノ類同
- 第七十六、耶蘇教ト佛教ト儀式ノ似同

- 第七十七、日本ノ佛教ト印度ノ佛教
- 第七十八、西洋人ノ迷信
- 第七十九、英米ノ氣風
- 第八十、英米ノ新聞
- 第八十一、西洋人ノ惡習
- 第八十二、愚民ノ曆書
- 第八十三、宗教專門大學
- 第八十四、布教慈善會等
- 第八十五、内國布教會
- 第八十六、小兒教會
- 第八十七、洗禮式
- 第八十八、得度式
- 第八十九、「クリスマス」ノ祝日
- 第九十、「クリスマス」ノ時寺院ノ裝飾
- 第九十一、「ユニテリアン」宗義
- 第九十二、「クエーカー」宗

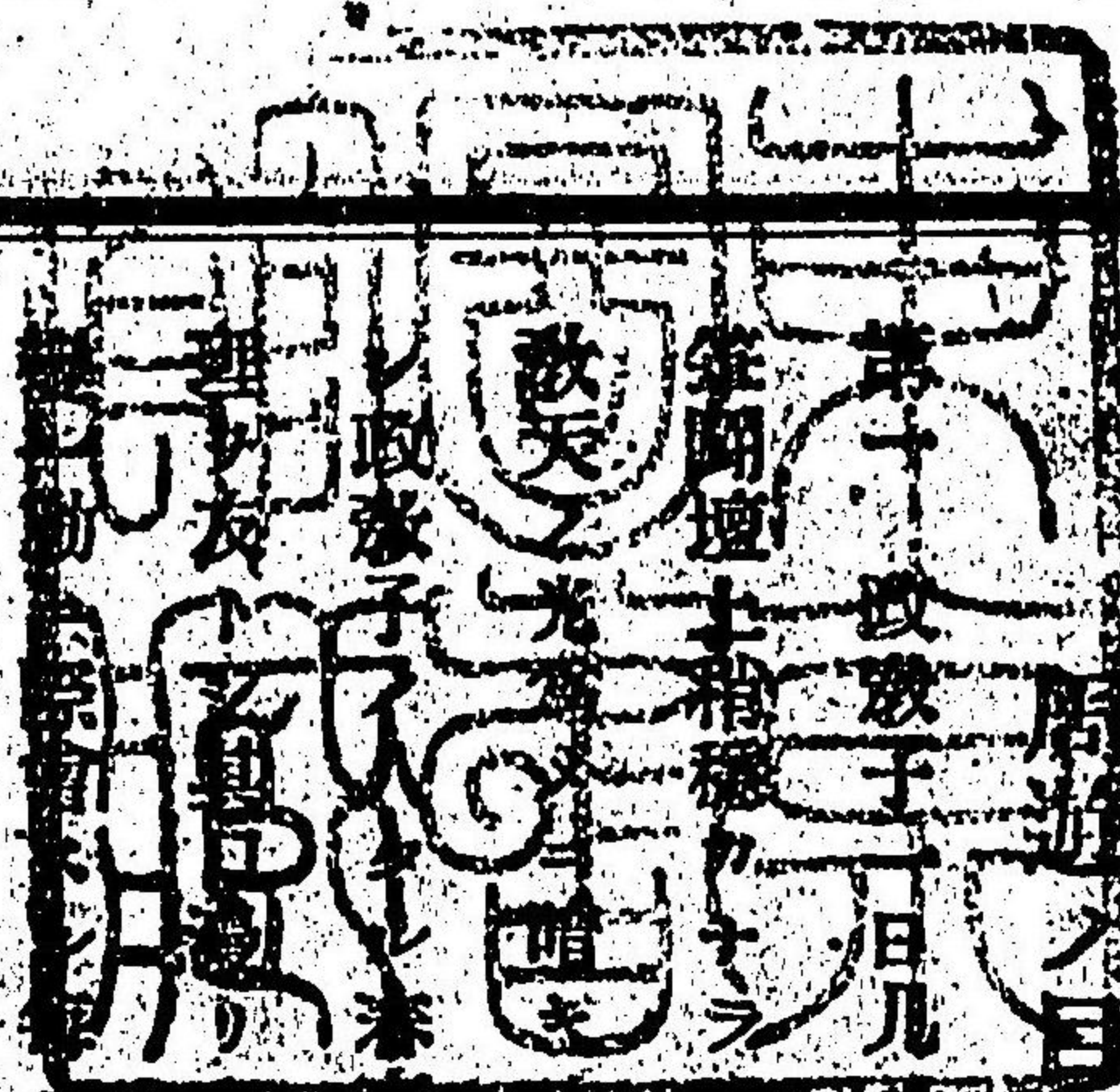
- 第九十三、「アレンス、ブレンレン」宗
- 第九十四、「メソヂスト」宗
- 第九十五、「コンクレンゲーションナル」宗
- 第九十六、猶太人
- 第九十七、羅馬宗教正
- 第九十八、寺院ノ所有者
- 第九十九、佛理ノ簡明
- 第一百、耶蘇教、佛教ノ敵ニアラス
- 第一百一、日本布教ノ報道
- 第一百二、宣教師ノ豫想
- 第一百三、英國龍動紀行ノ部
- 第一百四、龍動ノ寺院ノ數
- 第一百五、龍動ノ巨刹
- 第一百六、國教宗ノ儀式
- 第一百七、誕生日ノ記憶
- 第一百八、指環

- 第百八、結婚ノ手續
- 第百九、結婚ノ時間
- 第百十、結婚儀式ノ大要
- 第百十一、甘月旅行
- 第百十二、結婚ノ祝筵
- 第百十三、葬式取扱人
- 第百十四、埋葬場
- 第百十五、貧民埋葬
- 第百十六、埋葬場ノ門前
- 第百十七、葬式ノ讀經
- 第百十八、醫師ノ馬車
- 第百十九、佛教ト耶蘇教ト儀式ノ相違
- 第百二十、死人ヲ懷フノ情
- 第百二十一、街上說經
- 第百二十二、サルペーション
- 第百二十三、耶蘇教ノ愛

- 第百二十四、英國ノ國會議員
- 第百二十五、三位一體說
- 第百二十六、日本ノ佛教
- 第百二十七、英國ノ佛教
- 第百二十八、佛教ニ異宗派多キ所以
- 第百二十九、耶蘇教者惡人ヲ感化スルノ力ナシ
- 第百三十、耶蘇教ノ一變
- 第百三十一、耶蘇教ノ佛教ニ近キモノ
- 第百三十二、耶蘇教ノ説明
- 第百三十三、英國人ノ愚
- 第百三十四、斬髮師
- 第百三十五、獨立宗ノ制度一定セルヲ
- 第百三十六、龍動ノ黒煙
- 第百三十七、博物館
- 第百三十八、龍動博物館ノ佛像
- 第百三十九、龍動書肆發行ノ東洋學ニ關シタル書類



W 1899/22



歐米政教日記 上篇

目的及太平洋紀行ノ部

井

上

記



第十 政教子 一日 凡 憑リ新紙ヲ讀ムニ天下ノ論鋒漸ク進テ政教ノ版圖ニ入り舌戰  
 筆陣壇上稍穢カナラ  
 政教子ノ光榮ヲ唯キ  
 政教子ノ素志ハ野外ニ鶯花ヲ尋テ秋來レハ窓間ニ風月ヲ弄シ其心常ニ眞  
 理ヲ友トシ且ト政  
 事ヲ談セスト雖モ敢テ國家ノ爲メニ思フ所ナキニアラス一  
 未タ嘗テ其國ヲ思ハサルハアラス所謂江湖ノ遠キニ居リテ其  
 國ヲ憂フルモノナリ此憂國ノ情鬱々トシテ胸襟ノ間ニ積滯シ一結シテ悶ヲ成シ再結  
 シテ病ヲ成サントス其平常春花ニ咲シ秋月ニ吟スルカ如キ唯此病悶ヲ醫セントスル  
 ニ外ナラス今ヤ我邦政教ノ關係漸ク密ニ政教ノ論壇漸ク喧ク將ニ其影響ヲ一國獨立

第一

一

十二

- 第四百十、 日本國ノ名稱
- 蘇國紀行ノ部(附愛爾蘭)
- 第四百十一、 蘇國諸宗
- 第四百十二、 蘇國宗ノ歲入
- 第四百十三、 非國教宗ノ歲入
- 第四百十四、 蘇國ノ日曜
- 第四百十五、 人アリ蘇國ヨリ來ル
- 第四百十六、 蘇國結婚式
- 第四百十七、 蘇宗ノ會議
- 第四百十八、 愛爾蘭ノ教正
- 第四百十九、 僧侶ノ收入

ノ上ニ及ホサントスルノ勢アリ政教子是ニ於テ奮然一起シテ遠洋萬里ノ途ニ上リ歐  
米政教ノ大勢ヲ一見セントスルニ至リシナリ

第二 政教子曰ク山高クシテ大ナラサルモノアリ大ニシテ高カラサルモノアリ其高  
キモノハ衆目ニ觸レ易キ故ニ人之ヲ指シテ高山峻嶺ト稱ス其低キモノハ人其山タル  
ヲ覺ヘズ唯、之ヲ曠原平野ト呼フノミ然シテ此二者中孰レカ最モ地球ノ重量ヲ成ス  
ニ加ハリテカアリヤト云フニ至リテハ其低キモノ一步モ其高キモノニ讓ラサルノミ  
ナラス却テ遙ニ其上ニ出ツルナリ今政府ノ事業タル高山危峰ノ如シ民間ノ事業タル  
曠原大澤ノ如シ若シ其品位ノ高低ヲ較スレバ民間ノ事業ハ或ハ政府ノ事業ニ及ハサ  
ルモ二者中孰レカ最モ一國ノ重量ヲ成スニ加ハリテカアリヤト云フニ至テハ政府ノ  
事業ハ民間ノ事業ニ及ハサルト遠シ畢竟スルニ政府ノ事業其自體民間ノ事業ノ一部  
分ニシテ唯其品位ノ稍、高キモノナルノミ然ルニ我邦維新以來人ノ汲々孜々トシテ  
カテ改良振起ニ盡クシタルモノハ政府ノ事業若クハ會社ノ事業ニシテ最モ衆目ニ觸

レ易キモノ、ミ故ニ是等ノ事業ハ大ニ進歩ノ實跡ヲ見タルモ其衆目ニ觸レサル事業  
ニ至リテハ未タ寸分モ進歩ノ徵候ヲ見ス例ヘハ風俗交際ノ如シ精神氣質ノ如シ人物  
人品ノ如シ德義ノ如シ禮節ノ如シ其改良ハ一國ノ改進ニ缺クヘカラサルモノニシテ  
未タ一人ノ其意ヲ此點ニ注キシモノアルヲ聞カス故ニ余ハ是レヨリ專ラカテ此事ニ  
用ヒテ政教ノ一分ヲ補ヒ治道ノ萬一ヲ助ケント欲スルナリ

第三 八アリ政教子曰ク君ハ哲學ヲ以テ自ラ任スルモノニアラスヤ然ルニ  
今政教ニ關スルハ何ソヤ政教子曰ク政教即チ哲學ナリ哲學ニ理論哲學アリ實際哲學  
アリ政教ハ實際哲學ニ屬ス理論哲學ノ目的ハ真理ヲ發見スルニアルヲ以テ人外ニ道  
ヲ講究セサルヘカラス實際哲學ノ目的ハ實益ヲ興起スルニアルヲ以テ人中ニ道ヲ應  
用セサルヘカラス即チ理論上發見スル所ノモノ之ヲ應用シテハ實際トナリ實際上應  
用スル所ノモノ之ヲ論究シテハ理論トナル形而上哲學心理學等ハ理論哲學ナリ宗教  
學教育學等ハ實際哲學ナリ此二者互ニ相待チテ互ニ相全キトテ得ルナリ而シテ世ノ

勢ト國ノ情ハ時々同シカラサルヲ以テ二者ヲ研究スルニ先後輕重ノ次第ナキ能ハス  
 理論ヲ先トスルヲアリ實際ヲ重シトスルヲアリ今我邦ノ事情ハ實際ヲ重シトセサル  
 ヘカラス是レ余カ實際哲學即チ政教學ヲ講スル所以ナリ

第四 政教子曰ク凡ソ人ニハ必ス二様ノ見アルヲ要ス其見一様ニ偏スレハ邪見トナ  
 リ其見二様ノ中ヲ得レハ正見トナル政治家ハ政治ニ保守ト改進ノ兩主義アルヲ知  
 ラサルヘカラス哲學者ハ哲學ニ理論ト實際ト二學派アルヲ知ラサルヘカラス其一  
 チ取リテ他ヲ捨ツルハ正見ニアラス二者相合シテヨク其中ヲ得レハ正見ナリ然レト  
 モ世論ハ常ニ動搖シテ一定スルヲ難キヲ以テ其論或ハ保守ノ一方ニ偏シ或ハ改進ノ  
 一方ニ偏スルヲ免レズ此時ニ當リ人若シ其中正ヲ保マントスルトキハ其勢保守ノ一  
 方ヲ取ルカ然ラザレハ改進ノ一方ヲ守ラサルヲ得ズ是レ他ナシ唯々時變ニ應ジテ其  
 中ヲ維持セント欲スルノミ故ニ保守ノ一方ヲ取ルモノハ改進ノ同等ニ必要ナルコト  
 ナ記セサルヘカラス改進ノ一方ヲ守ルモノハ保守ノ同時ニ廢去スヘカラスアルヲ知

ルヲ要ス此理ハ獨リ政治ノ上ニ存スルノミナラス百事百物ノ上ニ存スルナリ人若シ  
 其生命ヲ保全セント欲セハ身軀ヲ養フト精神ヲ養フト同等ニ必要ナルヲ知ラサル  
 ヘカラス學者若シ其名譽ヲ立テント欲セハ眞理ヲ愛スルト國家ヲ愛スルト同様ニ必  
 要ナルヲ知ラサルヘカラス余ハ此二者ノ偏廢スヘカラスアルヲ知ルモノナリ故ニ  
 余ハ眞理ヲ愛スルト同時ニ國家ヲ愛スルモノナリ眞理ノ爲メニ其心ヲ盡クスト同時  
 ニ國家ノ爲メニ其力ヲ竭クスモノナリ是レ余カ内ニアリテ理論哲學ヲ講シ外ニ出テ  
 實際哲學ヲ説ク所以ナリ是レ余カ理論上教育宗教ノ原理ヲ究メテ實際上風俗人情  
 ノ改良ヲ謀ル所以ナリ余カ今回ノ遠遊モ亦此目的ヲ達スルニ外ナラス

第五 政教子曰ク國ノ本ハ兵力ニアルカ商業ニアルカ金錢ニアルカ學問ニアルカ若  
 シ之ヲ兵力ニアリトスルトキハ兵力ノ本ハ何ニアルカヲ知ラサルヘカラス若シ之ヲ  
 商業ニアリトスルトキハ商業ノ本ヲ知ラサルヘカラス金錢學問亦然リ余ヲ以テ之ヲ  
 觀レハ國ノ本ハ人ニアリ人ノ本ハ精神ニアリ精神一タヒ定マリテ初メテ國家ノ富強

ヲ講スルコトヲ得ルナリ兵力モ商業モ學問モ皆此精神ニヨリテ初メテ其活用實功ヲ見ルコトヲ得ルナリ而シテ其精神ヲ一定スルノ法ハ教育ニヨラサルヘカラス其所謂教育ハ獨リ學校ノ教育ヲ云フニアラス獨リ智力ノ教育ヲ指スニアラス社會百般ノ事々物々政治宗教人情風俗ヨリ天文地理氣候地味ニ至ルマテ尙モ我カ躰外ニ圍繞セル万象万化皆盡ク我ヲ教育シテ一時モ休マサルモノナリ故ニ人若シ此種ノ教育法ヲ講セント欲セハ事々物々ニツイテ其我精神上ニ及ホス所ノ影響結果ヲ考ヘサルヘカラス此ノ如キ教育ハ若シ之ヲ學校ノ小教育ニ比スレハ實ニ大教育ト云ハサルヘカラス余ハ此大教育ヲ以テ自ラ任セント欲スルモノナリ

第六 政教子曰ク我邦有形上ノ文明ハ今日已ニ歐米諸國ノ模範ヲ取リ殆ト大成スト謂フテ可ナリ而シテ無形上ノ文明即チ余カ所謂精神上ノ文明ハ未タ全ク着手セサルカ如シ其中着手セルモノハ唯、大中小學校ノ教育ノミ是レ他ナシ無形上ノ文明ハ有形上ノ文明ノ如ク容易ク模擬スルコト能ハス且ツ其進歩ハ永キ歲月ヲ要スルヲ以テ一

兩年間ニ其成功ヲ見ルコト難クシハナリ然レトモ若シ我邦ヲシテ西洋ニ對立抗敵セザメント欲スルトキハ必ズ無形上ノ文明ヲ振起スルヲ要ス其事タルヤ難中ノ至難ナリト雖モ亦要中ノ至要ナリ故ニ之ヲ至難ナリトシテ決シテ放棄スヘカラス我邦人モ數年來獨リ外形上ノ文明ヲ獎勵シテ今日ニ至リ初メテ我カ無形上ノ文明ハ遙カニ歐米ノ下ニアルコト發見シタルカ如シ商業ニ從事スルモノハ我カ商人ノ小利小欲ニ汲々トシテ大利ヲ忘レ公衆永久ノ信用ヲ重クセサルノ弊アルヲ憂ヘ學術ニ從事スルモノハ我カ學生ノ小成ニ安シテ耐忍進取ノ氣風ナキヲ憂ヘ政治社會ニ立ツモノハ我カ民ノ議論常ニ輕躁ニ走リテ遠大ノ見識ナキヲ憂ヘ會社事業ヲ執ルモノハ我カ人民ノ結合力ニ乏シキヲ憂フ是レ皆精神上ノ文明未タ歐米ニ及ハサルニヨル而シテ世間未タ此精神上ノ文明ヲ任シテ我邦ヲシテ西洋人同等ノ地位ニ進メシメントスルモノアルヲ聞カス是レ余カ獨リ感フ所ニシテ自ラ進テ其任ニ當ラント欲スル所以ナリ

第七 人アリ説クナシテ曰ク無形精神上ノ文明ハ宗教ノ力ニヨラサンハ進ムルコト能

ハス而シテ其宗教ハ耶蘇教ニ限ルト政教子曰ク宗教ハ直接ニ人ノ精神ニ關係スルヲ以テ其進歩即チ精神上ノ文明ヲ進ムルコトヲ得ルハ必然ナリト雖モ精神上ノ文明ヲ進ムルノ方法ハ決シテ宗教ノミニ限ルコトアラズ况ンヤ其宗教ハ耶蘇教ニ限ルト云フニ於テオヤ余輩此ニ至リテ一言辨明セサルチエス今耶蘇教ハ精神上ノ文明ヲ進ムルノカアル所以ヲ證セント欲セハ先ツ歷史上耶蘇教ト西洋ノ文明ノ關係ヲ知ラサルヘカラス中古耶蘇教ノ歐洲チ一統シ學問藝術皆耶蘇教ニ本キテ講究シタル時ハ精神上ノ文明最モ發達セサリシ時ナリ即チ此時ヲ歷史上ニテ中古ノ暗世ト稱ス而シテ近世文化ノ俄ニ興リタルハ耶蘇教中ヨリ出タル結果ニアラスシテ耶蘇教外ヨリ發シタル影響ナリ即チ十字軍ノ東征ヨリ亞米利加發見、印度洋航海等ノ事起リ歐洲ノ人民直チニ亞拉比亞、印度、等ノ新文物ニ接シ之ヲ其國ニ傳來シ加フルニ當時希臘ノ古文學再興セルヲ以テ新舊相合シテ文明ノ新元素ヲ釀成スルニ至レリ是レ即チ今日ノ文明ノ起源ナリ其所謂印度、亞拉比亞、ハ耶蘇教國ニアラス希臘、亦耶蘇教國ニアラス果シテ

然ラハ耶蘇教國ノ文明ハ佛教國回教國等ノ源泉ヨリ流出セルモノナリ彼ノ近世星學ノ祖先タル「コバニカス」、「ガレツオ」、「ブリュノ」等ハ皆耶蘇教ノ舊說ニ抗シテ天文ノ新知識ヲ興ヘタルモノナリ彼ノ近世哲學ノ祖先タル「デカート」、「スピノサ」等ハ皆耶蘇教ノ妄見ヲ脱シテ思想ノ新世界ヲ開キタルモノナリ近世ノ學術ノ新理一歩進ム毎ニ耶蘇教ハ其舊來ノ解釋ヲ變シテ學術ノ原則ニ附會セリコトヲ務ムルニアラスヤ若シ果シテ歐米諸國ノ驥々トシテ文明ニ進ム所以ノモノ耶蘇教ニ由來スト云フトキハ耶蘇教ノ煽勢ハ其文明ト共ニ次第ニ熾シタルチエス然ルニ其教近年ニ至リ著ク其勢力ヲ減シ大ニ衰微ノ兆候ヲ現セシハ如何若シ又精神上ノ文明ハ耶蘇教ヨリ發生スト云フトキハ耶蘇教ヲ信スルモノニ限り美德ヲ有スヘキ理ナリ然ルニ歐洲上流社會ハ耶蘇教ヲ信スルモノ却テ少ナク耶蘇教ヲ信セサルモノニシテ却テ美德ヲ有スル者多シト云フ是ニ由テ之ヲ觀ルニ歐米精神上ノ文明ハ決シテ耶蘇教中ヨリ發生セルニアラス決シテ耶蘇教ノ感化ヲ待チテ進達セルニアラス唯、社會ノ風俗、習慣、經

十  
驗、教育等ノ結果ナリ其風俗、習慣、經驗、教育ハ今日今時ニ始マルニアラス數世ノ間  
人々社會ノ間ニ競争淘汰セル結果ナリ例ヘハ爰ニ一商アリ詐欺ヲ用ヒテ商業ヲナシ  
他商アリ眞實ヲ用ヒテ商業ヲナシ二人相競争スルトキハ其結局詐欺ノ眞實ニ如カサ  
ルコトヲ知ルニ至ル此ニ於テ眞實ハ商業上ニ必要ナルコトノ風説ヲ社會ノ上ニ流スニ至  
リ其説相傳ヘテ風ヲ爲シ俗ヲ爲シ一般ノ性質トナリ自然ノ教育トナリ善良ノ商人ヲ  
化成スルニ至ルナリ故ニ余ハ之ヲ競争ノ結果ト云フ我人民ハ數百年來太平ノ海波ニ  
浴シ數千年來外國ノ交際ヲ絶チシテ以テ未競争未經驗ノ人ナリ之ニ反シテ西洋人ハ  
既競争既經驗ノ人ナリ我カ此人民ト競争シテ今日及ハサルハ固ヨリ道理ノアル所ニ  
シテ決シテ其人民耶蘇教ヲ奉信スルニヨルニアラザルハ明カナリ然ルニ我邦人若シ  
此道理ヲ知ラスシテ精神上ノ進歩ハ獨リ耶蘇教ニ任シテ更ニ之ヲ進歩スル方法ヲ講  
セザルトキハ實ニ其進歩ノ實功ヲ見サルノミナラス余甚々恐ル我邦ノ文明ハ漸ク退  
歩シテ歐洲中古ノ暗世ト同一ニ歸センコトヲ是レ余カ歐洲政教ノ實際上ノ關係ヲ觀察

セシコトヲ欲セシ所以ナリ是レ余カ今度遠遊ヲ計畫シタル所以ナリ  
第八 政教子口ノ器械的ノ文明ハ今日西洋ニ存スルモノヲ直チニ我邦ニ適用スルコ  
トヲ得ルナリ例ヘハ汽船、火車ノ如シ西洋ノ舟車ヲ買フテ之ヲ我邦ニ用フルモ其實用  
アルニ至リテハ同一ナリ然ルニ社會的ノ文明別シテ精神上ノ文明ハ平易即時ニ摸擬  
適用スルコト能ハサルノミナラス其國風民俗ニ應シテ其用方ヲ異ニセサルヘカラス語  
ヲ換ヘテ之ヲ官ヘハ西洋ノ文明ヲ一タヒ我日本ノ腸胃ニ入レ之ヲ消化吸収シテ一箇  
ノ日本のノ文明トナサ、ルヘカラス例ヘハ北米合衆國ハ共和政治ニシテ其國至テ富  
ミ其文明至テ盛ナリト雖モ決シテ直チニ其風ヲ我邦ニ適用スヘカラス若シ直チニ之  
ヲ適用スレハ我國軀ヲ害シ我人心ヲ傷ヒ我邦ノ生存獨立ノ上ニ大影響アルヲ免レ  
故ニ若シ之ヲ適用セント欲セハ先ツ其文明ヲ消化變質シテ我ガ從來系續セル國軀ノ  
原形ヲ保持セシムルヲ要ス何者社會ハ一箇ノ生活物トシテ動物ノ發達ト同一ノ規則  
ヲ有スレハナリ例ヘハ爰ニ一動物アリ若シ之ヲ養育セント欲スレハ必ス外物ヲ一タ

ヒ其消化機關ノ中ニ入レ之ヲシテ其自躰ノ原質ニ變化セシムルヲ要スルト同一一般ナリ宗教モ亦然リ我邦ニハ千百年來我國躰民情ニ適合セル宗教アリ西洋各國ニハ其國躰ニ適合セル宗教アリ即チ共和政治ノ國ニハ共和政治ト其性質ヲ同ウスル宗教アリ米國ノ宗教是ナリ君民共治ノ國ニハ其政躰ト同組織ヲ有スル宗教アリ猶ホ英國ノ國教宗ノ如シ君主專制ノ國ニハ其國躰ト同主義ノ宗教アリ魯國ノ國教ノ如シ而シテ皇統一系ノ國ニハ僧統一系ノ宗教アリ我邦本願寺宗ノ如シ本願寺宗ノ僧統一系ハ決シテ偶然ニ起リシニアラス一方ニ皇統一系アルニヨル一方ニ皇統一系アルハ我古來ノ人民血統ヲ重シセシニヨル人民血統ヲ重ニスルヲ以テ一方ニハ皇統一系アリ他方ニハ僧統一系アリ兩方ニ血統一系アルヲ以テ人民益血統ヲ重ニスルニ至ルハ自然ノ勢ナリ故ニ此二者互ニ相助クル所アルハ必然ナリ若シ人皆僧統一系ノ非理ナルヲ知リテ我邦ノ教會盡ク自由共和主義ヲ用ヒテ組織スルニ至ラハ之レト共ニ我人民ノ血統ヲ尊重スル風習亦次第ニ破ル、ニ至ルヘシ故ニ余曰ク各國皆其國ニ適合セル一種

特別ノ宗教アリ是ヲ以テ歐米各國ハ其表面ノミハ一般ニ耶蘇國ト稱スルモ其國特有ノ宗派ヲ用フ即チ魯國ハ希臘教ヲ用ヒ獨逸ハ新教ヲ用ヒ佛國ハ舊教ヲ用ヒ英國及ヒ米國ハ新教ヲ用フルナリ而シテ魯國ノ希臘教ハ希臘及ヒ土耳其ナル希臘教ト同名異實ニシテ全ク異ナリタル組織ヲ有シ獨逸ノ新教ト英國ノ新教ト米國ノ新教及ヒ佛瑞ノ間ニアル新教ハ各全ク異ナリタル宗派ニシテ其組織固ヨリ同シカラズ是レ何ノ理ニヨルヤ蓋シ此ノ如ク宗派及ヒ組織ヲ異ニスルハ其國ノ獨立上必要ナル理由アルニヨル是ニ由テ之ヲ觀ルニ將來我邦ノ宗教ヲ改良セント欲セハ文明ノ元素ヲ一タヒ我カ從來ノ宗教ノ胃管ノ中ニ入レテ消化スルヲ要スルナリ抑我邦從來ノ宗教中佛教ノ如キハ悟道ト云ヒ安心ト云ヒ修身ト云ヒ齊家ト云ヒ其教理ニ至リテハ耶蘇教ニ説ク所ノモノヲ含有セサルハナシ又之ヲ應用シテ實際上耶蘇教ト同一ノ結果ヲ生スルヲ能ハサルノ理ナシ唯、其教ノ今日ニ振ハサルハ教ニアラスシテ人ニアリ此人ヲ改良スレハ宗教オノツカラ改良ヲ得ヘシ而シテ此人ヲ改良スルハ國家ノ文明上最モ必要

ノコニシテ現今我邦ニアル僧侶凡ソ七万人ト稱ス此七万人ハ三千七百万人ノ一部分ニシテ皆同一種ノ日本人ナリ西洋人日本ニ來リテ我僧侶ノ品行下等ノ地位ニアルヲ見レハ其國ニ歸リテ必ス人ニ語リテ曰ク日本國ノ野蠻推シテ知ルヘシ僧侶ノ不道德此ノ如シ即チ僧侶ノ不道不徳ハ日本人一般ノ野蠻ヲ代表スルナリ故ニ日本國ヲシテ歐米同等ノ文明國トナサント欲セハ先ツ人ヲ教導スルヲ以テ本職トスル僧侶ヲ教育セサルヘカラス若シ人アリテ我邦ノ僧侶ハ共ニ談スルニ足ラサレハ之ヲ捨テ、外國ノ僧侶ヲ待ツヘシト云ハ、是レ日本國アルヲ忘レ日本人アルヲ知ラサルモノナリ近年世間ノ論漸ク移リ頻リニ耶蘇教ヲ主唱スルモノアリ佛敎ヲ排斥スルモノアリ而シテ彼レチ主唱スルモノ彼レチ知ラス此ヲ排斥スルモノ此ヲ知ラス唯、其口實トスル所耶蘇教ハ歐米諸國ノ宗教ナリ開明社會ノ宗教ナリ故ニ我邦一タヒ耶蘇教ヲ用フレハ國家ヲ富強ニスルコトヲ得ヘシ人智ヲ發達スルコトヲ得ヘシ歐米人民ノ愛顧ヲ受クルコトヲ得ヘシ開明社會ト交際ヲ通スルコトヲ得ヘシト感ヘルモ亦甚タシ若シ其論者ニ向

テ英國ノ耶蘇教ト米國ノ耶蘇教ト其異同如何、獨逸ノ耶蘇教ト佛蘭西ノ耶蘇教ト其區別如何ヲ尋ヌルトキハ更ニ答フルコト能ハサルヘシ彼レ唯曰ク是レ皆耶蘇教ナレハ定メテ同一ナルヘシト嗚呼安ナル哉論者ノ言ヤ耶蘇教中ノ甲派ノ乙派ニ異ナルハ其一派ノ佛敎ノ一派ト異ナルヨリ甚シ且ツ歐米各國皆其國固有ノ耶蘇教アリテ宗教ヲ論スルモノ決シテ我邦ノ如ク魯國ノ耶蘇教モ佛國ノ耶蘇教モ英敎モ米敎モ混同シテ主唱スルニアラス宗教ニ一定獨立ノ見ナキハ延テ一國ノ上ニ及ブ苟モ國家ノ獨立ニ志アルモノ豈戒メサルヘケンヤ是レ余カ國家ノ爲メニ歐米政敎ノ關係ヲ實視センコトヲ欲セシ所以ナリ

第九 政敎子曰ク凡ソ一國ノ獨立ヲ維持スルニ最モ必要ナルモノ三種アリ曰ク言語ナリ歴史ナリ宗教ナリ言語歴史ノ必要ハ人己ニ之ヲ知ル而シテ宗教ノ必要ニ至リテハ之ヲ知ルモノ甚タ少ナシ今其必要ナル所以ヲ述フルニ第一ニ一般ノ學術ハ眞理ヲ將來ニ期シ今後愈々進之レニ達センコトヲ目的トスルヲ以テ舊ヲ去リテ新ニ就ク



ノ性アルモノナリ然ルニ宗教ハ其眞理既往ニ定マルヲ以テ舊ヲ守ルノ性アルモノナリ今、日本國ヲシテ永ク日本國ヲシムルニハ其從來日本國タリシ精神思想ヲ維持スルヲ要ス故ニ宗教ヲ維持スルハ此從來ノ思想ヲ維持スルヲ得ルナリ第二ニ一般ノ學術ハ眞理未ダ一定セサルヲ以テ衆説一致セサルノ憂アリト雖モ宗教ハ其説一人ノ口ヨリ出テタルモノナレハ衆説相分ル、ノ恐ナシ是レ宗教ノカヨク人心民情ヲ連合シテ一國ノ團結ヲ助クル所以ナリ第三ニ宗教ハ人ノ感情ノ上ニ動キ人ノ精神ノ中ニ入り一心不亂銳意不撓ノ氣風ヲ養成スルニ最モ適シタルモノニシテ從フテ一國ノ獨立ヲ助クルニ必要ナルモノナリ第四ニ宗教ノ思想ハ種々其形ヲ變シテ世間ノ習慣ヲ構造シ社會ノ禮節ヲ支配シ其他國家ノ秩序ヲ保チ獨立ヲ全ウスルニ缺クヘカラスル諸元素中ニ加ハリテ相離レサルモノナリ是レ宗教ノ其國ノ言語歴史ト共ニ一國ノ獨立ヲ保全スルニ必要ナル所以ナリ別シテ社會ノ諸事諸物舊ヲ去リテ新ニ就クノ際ニ當リテハ宗教ニアラサレハ一國從來ノ精神ヲ愚民ノ間ニ維持スルヲ難シ若シ其愚

民ヲシテ開明ノ進歩ヲ取ラシメント欲セハ宜ク舊來ノ宗教中ニ其元素ヲ入レテ知ラズ識ラスノ間ニ有知有識ノ境ニ誘入スルヲ要スルナリ今我邦舊來ノ宗教ニハ神佛二教アリ佛ハ其初メ他邦ヨリ入りタルモ弘法大師神佛調和論ヲ唱ヘテヨリ以來印度ノ佛教ハ轉シテ日本ノ佛教トナリ尋テ中世淨土宗起リテ以來日本ニ一種固有ノ佛教ヲ見ルニ至レリ故ニ今日ニアリテハ神佛二道共ニ日本ノ宗教ナルノミナラス此二者互ニ相調和シテ其間ニ不和ヲ生スルノ憂ナシ然ルニ耶蘇教ハ其今日、日本ニアルモノ魯國ヨリ入ルモノアリ佛國ヨリ入ルモノアリ英國ヨリ來ルモノアリ米國ヨリ來ルモノアリ其宗派ト云ヒ其組織ト云ヒ其性質ト云ヒ其精神ト云ヒ千種万様ニシテ皆ニ日本ノ民情人心ニ適合スルヲ難キノミナラス我人心ヲシテ益離散シ動モスレハ宗教トノ間ニ不和ヲ生シ一方ニハ一國政治上ノ妨害トナリ一方ニハ國家獨立上ノ妨害トナルヲ明カナリ余夙ニ此ニ見ル所アリ近日漸ク政教ノ論穩カナラサルヲ見テ遠ク西洋諸國ノ其自國ノ宗教ヲ保護スルノ本意何レノ處ニアルヤヲ知ラント欲シ今度

ノ周遊ヲ企ツルニ至リシナリ

第十 政教子曰ク政治家ハ政治ノ裏面ニ宗教アルヲ知ラサルヘカラス宗教家ハ宗教ノ表面ニ政治アルヲ知ラサルヘカラス例ヘハ政治上如何ナル明君明相アルモ其國ノ人民ヲシテ盡ク自由ヲ得セシメ悉ク幸福ヲ全ウセシムルヲ能ハス如何ナル仁君アリテ法律ヲ設クルモ貧富貴賤ノ人ヲシテ悉ク同等同量ノ福利ヲ得セシムルヲ能ハス必スヤ一方ニ満足スルモノナレハ他方ニ満足セサルモノアリ一方ニ不平ナキモノアレハ他方ニ不平ヲ有スルモノアリ此不平不満足ノ心ハ必ス幽鬱シテ病患ヲ結ヒ激發シテ争亂ヲ醸スニ至ルヘシ然ルニ實際上之ヲ觀ルニ政治上不平アルモノモ法律上満足ヲ得サル者モ皆ヨク満足シテ不平ヲ鳴ラサス争亂ヲ醸サス其堵ニ安ニスル者ノ多キハ何ソヤ是レ宗教ノ影響ニアラサルハナシ進テ政治上表面ノ幸福ヲ得ルヲ能ハサルモノハ退テ宗教上裏面ノ快樂ヲ求メ法律上ノ不平ハ流レテ宗教内ノ満足トナリ不満足不平ノ人ヲシテ各安心立命ノ境裏ニ住セシムルナリ若シ世ニ宗教ナカリセハ政

治上得タル所ノ不平ハ必ス政治上ニ向テ發スルヨリ外ナシ蓋シ政治上ノ不幸是レヨリ大ナルハナシ今我邦ノ神佛二道ハ縱令今日其勢力ヲ減シタリト云フモ人民之レニヨリテ幸福ヲ得シモノ幾人アルヲ知ラス政治之レニヨリテ治安ヲ保ツヲ得タルヤ亦疑テ容レヌ今ヤ政府新ニ憲法ヲ設ケ人民始メテ自由ニ就キ政治上一大變動ヲ人心ノ上ニ興ヘントス此時ニ際シテ政府ハ從來ノ宗教ヲ保持シテ人心ヲシテ一方ニ安ニスルヲテエサルモ他方ニ安ニスル所アラシムルハ政教上最モ必要ナル機密ナリ若シ政治ト宗教ト同時ニ大變動ヲ生スルニ至ラハ國家ノ不利亦是レヨリ大ナルハナシ是レ政治家ノ注目セサルヲエサル要點ナリ今余カ洋行ノ擧アル歐米諸國ニモ此機密ノ政教ノ間ニ存スルヲ知ラント欲スルナリ

第十一 抑政教子ノ今度ノ洋行タルヤ其意歐米政教實際ノ關係ヲ觀察スルニアルモ其觀察ハ普通尋常ノ觀察ニアラス哲學的ノ觀察ナリ尋常ノ觀察ハ外面ノ觀察ニ過キテ目前直接ノ觀察ニ過キテ哲學的ノ觀察ハ内部ノ觀察ナリ原因ノ觀察ナリ道理

ノ視察ナリ例ヘハ西洋ハ開明國ナリ其宗教ハ耶蘇教ナリ故ニ我邦耶蘇教ヲ用フルニ  
 アラサレハ開明國トナルト能ハスト論定スルカ如キハ所謂尋常一様皮相外面ノ視察  
 ナリ若シ之ニ反シ彼國ニ耶蘇教ノ存スル原因ヲ探リ政府ノ之ヲ保護スル理由ヲ究メ  
 其利害得失ヲ比較審査シテ之ヲ我邦ノ事情ノ上ニ考フルカ如キハ所謂哲學的ノ視察  
 ナリ又西洋各國ノ政教ノ關係ヲ見テ直チニ之ヲ我邦ニ適用セントスルハ尋常一様ノ  
 視察ナリ若シ我邦ノ事情ト西洋ノ事情ト比考シ其間接ノ利害ト將來ノ得失ヲ審査ス  
 ルハ所謂哲學的ノ視察ナリ此尋常的ノ視察ハ日本人ノ最モ長スル所ナレトモ哲學的  
 ノ視察ハ日本人ノ最モ長セサル所ナリ今余カ行ハ此哲學的ノ視察ヲ歐米各國ノ政治  
 宗教風俗教育ノ上ニ施サント欲スルモノナリ

第十二 政教子船上ニアリテ水天ヲ望テ曰ク眞理ハ猶ホ水ノ如キカ味ナキカ如クニ  
 シテ味アリ眞理ハ猶ホ空氣ノ如キカ色ナキカ如クニシテ色アリ

第十三 政教子一日太平洋上ノ風波ノ穩カナラサルヲ見テ曰ク海上ノ風波ハ恰モ社

會ノ變動ノ如シ人アリ之ヲ聞キテ曰ク社會ノ變動海上ノ風波ノ如シト云フハ至當ナ  
 リ海上ノ風波社會ノ變動ノ如シト云フハ不當ナラスヤ政教子曰ク濤景ヲ評シテ實景  
 ノ如シト云ヒ實景ヲ評シテ濤景ノ如シト云フニアラスヤ

第十四 舟ヲ知ラサルモノ風波ニ際會スルトキハ舟ノ陸ニ近ツクヲ喜フ舟ヲ知ルモ  
 ノハ舟ノ陸ニ遠カルヲ喜フ

第十五 友人船中ニアリテ問フテ曰ク佛教ハ必スシモ肉食妻帯ヲ禁スルヲ以テ一宗  
 ノ要旨トスルニアラス然ルニ今日ノ宗旨ノ肉食妻帯セサルモノヲ以テ眞ノ佛者トナ

スハ如何政教子曰ク顔回ハ貧ニ居ルヲ以テ其目的トスルニアラス然ルニ後世其道ヲ  
 傳フルモノ陋巷ニアリテ道ヲ樂ムヲ以テ眞ニ顔回ノ意ヲ得タリト爲スト同一ナリ

第十六 又問ラテ曰ク耶蘇教ノ「バイブル」中ニ説クカ如キ怪誕妄説ハ信スヘカラス  
 ト雖モ彼ノ「ニコテリヤン」宗ニ立ツルカ如キ造物主アルノ説ハ甚ダ道理アルニ似タ

リ如何政教子曰ク其説甚ダ道理アルニ似テ其實道理アラズ是レ余カ嘗テ佛教活論中

以  
信

ニ論明セル所ニシテ其書ヲ一見セルモノハ必ス其道理アラサル所以ヲ知ルヘント信  
ス今此ニ其一點ヲ述ブレハ造物主アリト云フノ説ハ要スルニ天地万物ハ必ス其起源  
ナカルヘカラスト云フノ理ニ本ツク然ルニ天地万物ノ起源ヲ證明スルニ兩説アリ一  
ハ其跡ヲ以テ有始有終トシ一ハ無始無終トス有始有終トスルキハ別ニ造物主ヲ想立  
セサルヘカラスト雖モ無始無終トスルトキハ天地万物ハ無始以來ノ天地万物ニシテ  
別ニ造物主アリテ創造セルニアラス此無始無終説ハ佛教ノ天地開闢説ニシテ今日ノ  
學術モ亦此理ヲ證立スルニ至ル彼ノ物質不滅勢力恒存等ノ理學上ノ原則ハ皆無始無  
終説ヲ證明スルモノナリ若シ之ニ反シテ天地万物ヲ有始有終トスルモ未ダ造物主ア  
リノ斷言ヲ結フヘカラスト假リニ一步ヲ讓リ其斷言ヲ結フヘシトスルモ第二ノ問題ハ  
造物主ノ起源ナリ即チ造物主ハ有始有終ナルヤ無始無終ナルヤノ問題ナリ若シ造物  
主ハ有始有終ナリトスルトキハ造物主ノ造物主ナカルヘカラスト若シ造物主ハ無始以  
來現存スルモノニシテ自存自立ナリトスルトキハ其跡即チ無始無終ナリト云ハサル

ヘカラスト故ニ天地万物ノ解釋ヲ下スニ造物主ヲ立テ、其跡無始無終ナリトスルモ造  
物主ヲ立テスシテ宇宙ノ跡無始無終ナリトスルモ其結論ニ至リテハ同一ナリ決シテ  
造物主ヲ立テタルヲ以テ宇宙ノ問題ヲ説キ盡クシタリト云フヘカラスト唯、甲ノ外ニ  
別ニ乙ヲ設ケテ其問題ヲ乙ノ上ニ移シタルノミ而シテ天地万物ノ跡無始無終自存自  
立ナリトスルノ論ハ理學哲學ノ證明セル所ニシテ造物主ヲ立ツルノ論ハ古代ノ妄想  
ヲ保守スルニ過キス其理ハ余カ佛教活論中ニ論示セル所ナリ

### 米國並大西洋紀行ノ部

第十七 政教子桑港ニアリテ友人某ニ語リテ曰ク日本人中其從來ノ宗教家ノ之ヲ耶蘇教者ニ比シテ德行學識共ニ數等ノ懸隔アルヲ痛責シテ日本將來ノ宗教ハ耶蘇教ヲ用フルニ如カスト論スルモノアレトモ第一ニ其論ノ正シカラサルハ神官僧侶ハ日本人ニアラサルモノ、様ニ考フル是レナリ第二ニ其論ノ誤リアルハ宗教家ハ日本人一般ノ進歩ノ程度ヲ代表スルコトヲ知ラサル是ナリ今我邦ノ宗教家神官僧侶ヲ合シテ十萬前後ノ人員アリト稱ス此人員ハ三千數百萬ノ日本人ノ一部分ナレハ其愚ナルハ即チ日本人一部分ノ愚ナルナリ故ニ縱令論者ノ評ノ如ク我宗教家ハ學識德行共ニ遙ニ耶蘇教家ノ下ニアリト許スモ此宗教家ヲ獎勵シテ學識研究ノ方法ヲ設ケサレハ日本人一般ノ知識ノ程度ヲ進マシムルコト能ハス况ンヤ此宗教家ハ民間ニアリテ人民ヲ教導スルヲ以テ其本務トスルモノニ於テオヤ此人ノ知識進歩スレハ其人民ノ知識亦進歩

スルハ必然ナリ若シ之ニ反シテ人民ノ教導ヲ獨リ耶蘇教者ニ委スルモ世間ノ神佛二  
教ヲ信スルモノ決シテ一朝一夕ニ改宗轉派スルモノニアラス其改宗轉派ノ日ヲ待チ  
テ始メテ人民ノ知識ヲ進歩セシトスルハ實ニ迂濶ノ策ト云ハサルヘカラス喻ヘハ此  
ニ幼兒アリ之レニ藥ヲ與ヘントス他人之ヲ與フレハ幼兒怖レテ敢テ近カズ乳母之ヲ  
與フレハ喜ンテ之ヲ受ク然ルトキハ先ツ他人ヲシテ毎日幼兒ニ近カシメ幼兒ノ漸ク  
之レニ馴ル、ヲ待チテ藥ヲ與フル方良策ナルカ已ニ馴レタル乳母ノ手ヲ經テ之レニ  
與フル方良策ナルカ余ハ飽マテ從來馴レタル宗教家ノ手ヲ經テ文明ノ藥物ヲ愚民ノ  
腦中ニ入ル、ヲ以テ良策トスルモノナリ然ルトキハ宗教家ト之ニ屬スル信徒ト同  
時ニ學識德行健全ノ人トナサシムヘシ次ニ余カ第二ノ論點ハ宗教家ト一般ノ人民ハ  
其文明ノ程度ヲ同ウスルモノナリト云フニアリ今、世人ノ見ル所ニヨルニ日本ノ宗  
教家ハ知徳共ニ遙ニ西洋ノ宗教家ニ及ハスト云フモ此懸隔ハ獨リ宗教家ノ間ニ存ス  
ルノミナラス日本ノ商法家ハ同一ニ西洋ノ商法家ニ及ハス日本ノ工業者ハ同一ニ西

洋ノ工業者ニ及ハス日本ノ學者ハ同一ニ西洋ノ學者ニ及ハサルヘシ他語ニテ之ヲ言  
ヘハ日本人ノ心力筋力共ニ今日ノ勢遙ニ西洋人ニ及ハサルナリ而シテ宗教家ノ懸隔  
最モ先キニ人ノ目ニ觸レタルハ西洋ノ宗教早ク我邦ニ入り人皆東西ノ宗教家ヲ目前  
ニ比較スルコトヲ得タルニヨル他ノ商法工業等ハ幸ニ東西遠ク相離レテ目前ニ比較ス  
ルコト能ハサルヲ以テ從テ人ノ批評ヲ免レタルノミ更ニ之ヲ理論上ニ考フルニ人民皆  
其知徳共ニ高等ノ地ヲ占ムルトキハ宗教家獨リ其間ニ立チテ下等ノ知徳ヲ有スルコ  
ト能ハス若シ其知徳獨リ下等ニアルトキハ一般ノ人民決シテ之レヲ宗教家ト許スヘキ  
理ナシ若シ此ノ如キ宗教家ノ民間ニ立チテ人民ヲ教導スルコトヲ得ル以上ハ人民中其  
知徳尙ホ下等ニアルモノ存スレハナリ果シテ然ラハ日本ノ宗教家ノ西洋ノ宗教家ニ  
如カサルハ日本人一般ノ西洋人ニ如カサルコトヲ代表スルモノニシテ我輩ハ此一例ヲ  
見テ益日本宗教家ノ教育ヲ進ムルコトヲ務メサルヘカラス若シ其教育ヲ進メスシテ唯  
猥リニ宗教ヲ變スルモノ一國ノ文明上決シテ其進歩ヲ見ルコト能ハサルナリ蓋シ文明ノ

進否ハ人ニアリテ道ニアラズ古語ニ曰ク人ヨク道ヲ弘ム道ノ人ヲ弘ムルニアラズ我邦ノ宗教ハ其理論一步モ耶蘇教ニ及ハサルニアラズ却テ其上ニアルハ今日西洋學者モ已ニ許ス所ナリ且ツ其宗教中ニ説ク所ノ道德品行ハ決シテ耶蘇教中ニ説ク所ノモノニ下レルニアラズ唯之ヲ弘ムル人其言行一致セサルノミ是レ人ノ罪ニシテ教ノ罪ニアラズ故ニ今日ノ急務唯其人ノ教育學識ヲ進ムルニアリテ決シテ宗教ヲ變ハルニアラサルナリ

第十八 米國「サルト、レーキ」都府ニハ「モルモン」宗ノ本寺アリ其禮拜堂ハ壹万五千人ヲ容ルヘシト云フ當時本堂建築中ナリ其費用米貨千萬弗ナリト云フ（我千三百万圓）

第十九 「モルモン」宗ハ米國中「ユータ」州内ニ蔓延シ州ノ人口凡ソ二十万アリ其中十五万以上ノ「モルモン」信徒アリ其徒有スル所ノ妻ノ多少ハ貧富ニ應シテ異ナリ其最も富メルモノハ十五人ノ妻ヲ有スト云フ

第二十 政教子一夕散步ノ際書肆ニ到リ「モルモン」宗ノ書ヲ求ム書肆「バイブル」ヲ出シテ之ヲ示ス政教子曰ク是レ「バイブル」ナリ書肆曰ク「モルモン」宗ハ即チ「バイブル」宗ナリ政教子曰ク其多妻ナルハ如何書肆曰ク多妻ハ固ヨリ「バイブル」ノ許ス所ナリ翌朝政教子「モルモン」ノ寺ニ到リ堂守ニ同宗立教ノ書ヲ求ム堂守「モルモン」宗歴史一冊及ヒ多妻論一冊ヲ示ス其多妻論中ニハ多妻説ハ「バイブル」ノ許ス所以ヲ證明セリ

第二十一 友人某車夫ニ語リテ曰ク我聞ク貴宗ハ多妻宗ナリト果シテ然ラハ我邦ニモ「モルモン」宗アリト云ハサルヘカラス何者我人民中妻妾ヲ蓄フルモノアリ其實多妻ナリ車夫曰ク「モルモン」宗ハ多妻宗ナルモ多妻ヲ有スルモノ盡ク「モルモン」ナルニアラスト政教子曰ク車夫ノ言論理ニ合ス論理學命題ノ規則中ニ主辭賓辭ヲ顛倒スルノ過失ヲ證明セリ今「モルモン」宗ハ多妻ナリノ一命題ヲ顛倒シテ多妻ナルモノハ「モルモン」宗ナリト云フヲ得ルキハ蝙蝠ハ獸類ナリノ命題ヲ顛倒シテ獸類ハ蝙蝠

ナリト云フコト得ヘキ理ナリ其過失證明ヲ待タスシテ明カナリ然レモ世ニ之レト同  
 一ノ過失ヲナスモノ甚ク多シ英雄色ヲ好ムノ言ヲ口實トシテ色ニ耽ケルモノナリ君  
 子ハ貧ヲ樂ムノ言ヲ口實トシテ貧ニ安ニスルモノアリ是レ皆大ナル過失ナリ英雄色  
 ヲ好ムモ色ヲ好ムモノ必スシモ英雄ナラス君子貧ヲ樂ムモ貧ニ安ニスルモノ必スシ  
 君子ナラス

第二十二 米人某曰ク日本人ハ不潔ニシテ觀衣ヲ洗濯スルコトナシト聞ク果シテ然ル  
 ヤ政教子曰ク觀衣ヲ洗濯セサルモノハ支那人ニシテ日本人ニアラス日本人ハ唯洗濯  
 スルノ度數或ハ歐米人ノ如ク甚シカラサルノミ而シテ日本人ハ毎日浴湯スルノ風習  
 アリ歐米人ハ毎月一回若クハ半年ニ一回浴湯スルノミ衣服ヲ洗濯スルト身軀ヲ洗濯  
 スルトハ孰レカ最モ清潔ナルヤ

第二十三 新約克府中ノ寺院(耶蘇教會堂)其主ナルモノ凡ソ五百棟アリト云フ而シ  
 テ市中ノ人口百二十万ナレハ二千四百人ニ付一ヶ寺ノ割合ナリ「ヒラアルヒヤ」府ハ

寺院矢張五百前後アリテ人民八十四万七千アレハ一千六百九十四人ニ付一ヶ寺ノ割  
 合ナリ米國合衆國ノ人口總計大凡六千一百万ニシテ寺院大小諸宗ヲ合シテ九万二千  
 百〇七棟僧侶(牧師)七万七千二百三十八人ナレハ六百六十二人ニ付寺院一棟、八百人  
 ニ付僧侶一人ノ割合ナリ

第二十四 米國ニハ人民ノ間ニ上下ノ階級ナシ男女ノ間ニ尊卑ノ懸隔アリ(女尊男  
 卑)

第二十五 米國ニテ耶蘇教學術ノ名稱ヲ以テ一種ノ奇法ヲ唱フルモノアリ其法婦人  
 ノ發明セル所ニシテ万病ヲ醫スルニ從來ノ醫方ト全く異ナリタル方法ヲ用フト云フ  
 政教子曰ク是レ我カ所謂心理療法ノ一種ナリ

第二十六 米國ハ國內到ル處村落アレハ必ス寺院即チ耶蘇會堂アリ會堂ニハ凡ソ一  
 定ノ建築法アリテ前面ニ高塔アリ塔上ニ十字形アリ故ニ遠方ヨリ村落ヲ一望シテ其  
 中ニ會堂アルヲ知ルヘシ都府ノ會堂ハ皆商店ニ隣接シテ立ち市中ニ散布シテ存ス決



シテ我邦東京其他各都府ノ寺院ノ如ク一隅ニ僻在スルニアラス

第二十七 一寺住職即チ牧師タルモノハ其寺ノ禮拜、説教、婚禮、葬式等ヲ主任スル外ニ時々其檀家信徒ヲ巡回シ起居安否ヲ尋問シ病客アルトキハ其病ヲ訪ヒ不幸アルトキハ其不幸ヲ吊スル等至テ多事ナリ

第二十八 米國ニテ僧侶タルモノハ多少尊敬ヲ受クルノ風アリ田舎ニ至リテ最モ甚クシ但シ僧侶ハ男女ノ交際、外人ノ應接ニ注意シ言語、談話、訪問、待遇ノ極メテ懇切丁寧ナルヲ要ス即チ懇切丁寧ヲ以テ人ノ愛ヲ買フモノニシテ然ラザレハ忽チ名望ヲ失スルナリ

第二十九 米國ノ寺院ハ他教會若シクハ他邦ノ人其會堂ニ到ルトキハ甚々鄭重ニ待遇スルノ風アリ又各宗派ノ信徒互ニ共同シテ慈善會救助會等ヲ設クルノ風アリ是レ良風習ト云フヘシ之レニ反シ新教諸宗ト羅馬宗トハ互ニ敵視スルノ風アリテ往々爭論ヲ其間ニ起スニアリト云フ

第三十 米國ノ風習寺院ニ名望アル牧師アルトキハ之ヲ終身其寺ニ奉職セシメン爲メ教會ノ資金ヲ以テ其生命ヲ保險スルコトアリト云フ是レ面白キ方法ナリ

第三十一 合衆國ニテ牧師ノ有名ナルモノハ一年ニ一萬二千弗(我金凡ソ一萬五千圓)以上ノ所得アリ其最モ有名ナルモノハ大統領ノ年給ヨリ多キ所得アリト云フ

第三十二 普通ノ米國人ハ耶蘇教外ノ宗教ヲ信スルモノヲ外道<sup>ヘレン</sup>ト稱シ管ニ之ヲ擯斥スルノミナラス人類ヨリ一等下ルモノ、様ニ考フルノ風アリ而シテ何故外道ハ擯斥スヘキヤヲ知ラス實ニ愚ノ至リナリ然レトモ近年漸ク學者中ニ耶蘇教ヲ信セサルモノ起リ佛教ヲ主唱スルモノアリテ稍其惑ヲ解クニ至レリ唯其高論ノ未タ狹隘ナル婦人ノ心裡ニ入ラザルノミ

第三十三 耶蘇教ノ熱血一タヒ亞米利加人ノ血管中ニ入りテヨリ以來其精神ハ常ニ宗教ノ熱ヲ帶ヒ氷雪飢餓ノ間ニ其寒ヲ忘レ刻苦艱難シテ得タル所ノ結果ハ米國今日ノ文明ナリ然ルニ今日ニアリテハ血管中ノ熱ハ已ニ放散シテ唯僅カニ皮膚ノ上ニ餘

熱ヲ存スルノミ婦人ハ美服ヲ新調シテ日曜ヲ待チ男子ハ美人ヲ搜索シテ會堂ニ入り日曜ノ會堂ハ男女相見ルノ媒介場トナル是レ果シテ耶穌教ノ眞面目ナルカ當時耶穌教隆盛ノ地ヲ計フルトキハ人皆米國ヲ呼ビテ第一指チ屈ス而シテ其實況已ニ此ノ如シ他ノ地方ニ存スル耶穌教推シテ知ルヘキナリ

第三十四 米國ニテ聞ク所ニヨルニ耶穌教ノ僧侶盡ク品行端正ニシテ信教篤實ナルコアラヌ其三分ノ二ハ内實甚々疑ハシト雖トモ表面ニハ嚴然タル宗教家タル言行ヲ示スヲ以テ世間一般ニ宗教家ハ品行端正信教篤實ナリト認定スルニ至ル且ツ世人ハ宗教家ト道德家トハ同一ノ意義ヲ有シ宗教家ハ即チ道德家ナリ道德家ハ即チ宗教家ナリト信スルノ風アリ故ニ一ニノ不道德者ノ宗教家中ニアルトキハ世人之ヲ宗教ノ外ニ放擲シテ決シテ其罪ヲ宗教ニ歸セス然ルニ我日本ノ如キハ宗教家ニ不道德ノモノアレハ其罪ヲ宗教ニ歸シ宗教ト人トチ同一視スルノ風アリ是レ他ナシ西洋人ハ宗教ヲ以テ其國ノ宗教トシ日本人ハ宗教ヲ以テ其人即チ宗教者ノ宗教トスルノ別アル

ニヨル政教子曰ク宗教ハ道ナリ一人ノ私有スルモノニアラス人ノ心變スルモ道ノ變スルニアラス宗教者不道德ナルトキハ其人宗教者ニアラサルノミ何ソ其罪ヲ宗教ニ歸スルノ理アラシヤ

第三十五 米國ハ耶穌教最モ盛シナリト稱ス而シテ近年毎日曜ニ寺院ニ參詣スルモノ次第ニ減少スト云フ新聞上ニテ其原因ヲ論シテ曰ク近年學術ノ進歩ニ從ヒ自然ニ其影響ヲ人心ノ上ニ及ホシ人ヲシテオノツカラ上帝ノ在否、未來ノ有無ヲ疑ハシメタルハ其第一原因ナリ毎日曜ニ寺ニ詣シ禮拜供養怠タルコトナキモ實際上更ニ其應果ヲ見ズ牧師ハ説教上ニ於テ神常ニ在スト云フモ上帝其愛子ヲシテ不幸ヲ免レシムルコト能ハス神見サル所ナク聞カサル所ナシト云フモ其信者ヲシテ痛苦ヲ脱セシムルコト能ハス上帝ヲ信スルモノト信セサルモノト苦樂ノ境裏ヲ來往スルニ寸分ノ差等アルコトナシ故ニ人ヲシテオノツカラ上帝ノ威徳ヲ怪ミ之レニ對シテ禮拜供養スルモ何ソノ益スル所ナシトノ疑ヲ抱ガシム是レ其第二原因ナリ第三ノ原因ハ人毎日曜ニ寺ニ

詣シテ毎回同シ様ナル説教ヲ聽キ一週一日ノ貴重ノ休暇ヲ犠牲ニスルハ或ハ野外ニ  
 歩ヲ散シ或ハ友人ト懷ヲ語り隨意放任ノ樂ニ若カサルコトヲ知ル是レナリ第四ノ原因  
 ハ米國ノ風習トシテ寺ニ詣スルモノハ競フテ美服ヲ著シ美容ヲ裝ヒ婦人ハ之ヲ男子  
 ニ示サント欲シ男子ハ婦人ノ愛ヲ引カント欲スルヲ常トス故ニ資産ニ乏シキモノ又  
 ハ美服ノ新調ナキモノ又ハ一見識アリテ此ノ如キ風習ヲ好マサルモノ又ハ老人ニシ  
 テ此ノ如キ外觀ニ意ナキモノハ自然ノ勢、寺ニ詣セサルニ至ル是レナリ

第三十六 政教子曰ク耶蘇教者布教ノ手段ハ要スルニ婦人ト小兒ヲ教訓シテ其道ニ  
 引入スルノ一事ニアリ別シテ婦人ヲ教訓スルヲ以テ第一手段トス若シ一タヒ婦人ノ  
 心中ニ耶蘇教ノ思想ヲ注入スレハ其思想之レニヨリテ養育スル所ノ小兒ニ傳染スル  
 ハ必然ナリ己ニ婦人ト小兒ト共ニ其心耶蘇教海ノ水ニ浴スルトキハ男子ハ自然ノ性  
 カニヨリテ其餘波ヲ汲ムハ亦必然ノ勢ナリ且ツ小兒ノ時得タル思想ハ先入主トナル  
 ノ理ニ本キ成長ノ後ヲ支配スルノカアルヲ以テ幼時一タヒ耶蘇教ノ井中ニ入りタル

モノハ終身大海ノ波上ニ立ツコト能ハサルヘシ之レニ加フルニ婦人ト小兒ハ其心春陽  
 ノ青草ノ如ク宗教ノ風ニ伏シ易キモノナリ其最モ易キモノヲ婦人トス故ニ耶蘇教者  
 ノ婦人教訓ヲ以テ第一ノ目的トスルハ好手段中ノ好手段ニシテ勞少ナクシテ功多キ  
 モトト謂ハサルヘカラス

第三十七 政教子曰ク米國ノ宗教ハ滿瀝自由ノ空氣ヲ以テ吸入セルモノナリ全身自  
 由ノ精神ヲ以テ注射セルモノナリ抑、米國人ハ其初英國ヨリ渡航セルモノニシテ當  
 時英國政府ハ國教ヲ組織シ君主ヲ以テ其首長トナシ人民ニ宗教ノ自由ヲ許サ、リシ  
 然ルニ人民中其主義ニ反對セルモノアリテ信教ノ自由、教會ノ獨立ヲ唱ヘ父母ノ國  
 ナ辭シテ遠ク亞米利加ニ渡リ不毛ノ曠野ニ殖民ヲ開ケリ其子孫漸ク繁殖シテ邑ヲ成  
 シ都ヲ成シ遂ニ英國政府ニ抗シテ獨立ヲ天下ニ公布スルニ至レリ而シテ其獨立戰爭  
 ノ起リシ原因ハ宗教上ノ舊怨間接ニ相助ケシヤ疑ヲ容レズ且ツ其獨立後共和政體ヲ  
 組織スルニ至リシモ米國人ノ從來宗教ノ自由、教會ノ獨立ヲ唱ヘタル精神ヨリ起リ



日端舟ト樂隊トナ用意シ會スルモノ皆辨當ヲ携ヒ共ニ水ヲ渡リテ豫メ期シタル場處ニ到リ舟ヲ停メテ男女適意ニ野遊ヲナシ晚ニ至リテ再ヒ舟ニ乘シテ歸ル當日切符ヨリ得タル所ノ金ハ端舟ト樂隊トノ費用ヲ除キ其餘ハ盡ク寺院若クハ病院貧院等へ寄附シテ慈善ニ用フト云フ

第四十 米國ノ寺院ニハ毎月一二回「ソシール」ト稱シ其檀徒ノモノ各其友人知己ヲ誘ヒ寺院ニ至リ互ニ紹介シ互ニ談話シ茶菓ヲ喫シテ去ルコトアリ即チ小懇親會ナリ故ニ米國ノ寺院ハ説教場ノ外ニ待合所ヲ兼ヌルモノナリ

第四十一 政教子新約克府ニアリテ一日公園ニ遊ヒ古今ノ英雄學者ノ肖像石ニ彫刻セルモノ路傍ニ併列スルヲ見テ曰ク是レ我人ヲ薰育スル良教師ナリ凡ソ人タルモノ一タヒ英雄ノ肖像ヲ見レハ其心オノツカラ英雄ヲ愛シ英雄ヲ慕ヒ自ラ進テ英雄トナラントスル思想ヲ起スモノナリ學者ノ肖像ヲ見ルモ亦然リ故ニ余曰ク是レ我人ヲ薰育スル良教師ナリト然ルニ我邦公園中ニ未タ此ノ如キ肖像ヲ建置セサルハ教育上ノ

一大缺典ト云ハサルヘカラス

第四十二 米國中ノ都府ニハ往々番人ナクシテ新聞ヲ街上ニ賣ルモノアリ之ヲ買フ人ハ先ツ其代價ヲ錢箱ノ中ニ投入シテ一紙ヲ持チ去リ誰レモ盜ミ去ルモノナシ料理屋ニ入りテ食事ヲナスモノアリ意ニ任シテ數品ヲ食シ終リテ入口ノ勘定所ニ到リ自ラ其食スル所ノモノヲ告ケ相當ノ代價ヲ拂フノ例ナレハ言テ食ムモ自在ナリ然ルニ人皆告クルニ其實ヲ以テスト云フ人ノ正直ナルコト此ノ如シ政教子曰ク是レ其人初ヨリ正直ナルニアラス數世數百年回社會ノ事情ニヨリテ淘汰セラレタル結果ナリ世上ニ傳フル所ノ正直ニ過キタル政客ナシト云ヘル謬ハ數世間經驗ノ未發見シタル規則ナリ今西洋社會ハ家屋ノ建築至テ堅牢ニシテ其防禦亦至テ嚴密ナレハ知ラス識ラス人ヲシテ竊盜ノ念ヲ絶タシムルニ至リ又商法上一タヒ世間ニ信ヲ失ヘハニクヒ社會ニ立ツコト能ハサルヲ以テ其勢自然ニ人ヲシテ信義ヲ守ルノ必要ヲ知ラシム此ノ如キ經驗注意數回相重ナリ數世相傳ハリ風ヲ爲シ俗ヲナシ遺傳性ヲナシ遂ニ人ヲシテ生

レナカラ竊盜詐偽ノ念ヲ去リ正直朴實ヲシムルナリ然レトモ其國全ク盜賊ナキニ  
アラス我聞ク「ロッキート」山間ニハ盜賊隊ヲ成シ瀛車ノ線路ヲ遮キリ乘客ノ財寶ヲ奪  
ヒ取ルカ如キ事アルハ屢新紙土ニ見ル所ナリ

第四十三 人アリ問フテ曰ク米國ノ驥々トシテ文明ニ進ム所以ノモノ必ス其原因ナ  
カルヘカラス何チカ其原因トスルヤ政教子曰ク是レ教育ノ力ナリ凡ソ教育ニハ人爲  
ノ教育アリ天然ノ教育アリ人爲ト天然ヲ合シタル教育アリ人爲ノ教育トハ家ニアリ  
テハ父母ノ教育、家ヲ出テ、ハ朋友ノ教育、學校ノ教育是ナリ天然ノ教育トハ天候地  
勢山川草木等我人ノ躰外ニ圍繞セル諸象及之レヨリ生スル所ノ万變万化自然ニ我人  
ノ精神思想性質氣風ヲ感動薰化スル是レナリ而シテ此天然ノ形情ヲ畫ニ文ニ詩ニ音  
樂ニ彫刻ニ現示シテ人ヲ感動薰化スルハ所謂天然ト人爲トヲ合シタル教育ナリ今米  
國ノ人民ヲ教育シテ其國ヲシテ今日ノ隆盛ニ至ラシメタルモノ多クハ天然ノ教育ニ  
ヨル先ツ其地勢ヲ案スルニ東西數千里ニ亘ル大國ニシテ太西太平洋ノ兩大洋ヲ前後ニ

接シ其内地ニハ「ロッキート」ノ如キ世界ニ一ニテ争フ高山アリ「ミシシッピ」ノ如キ  
万國ニ比類ナキ大川アリ其湖ニハ北部ノ大湖アリ其原ニハ中央ノ平原アリ共ニ一望  
千里、際涯ヲ見ス此間ニ生長セル人民ハ朝夕自ニ其大ヲ見、耳ニ其大ヲ聞キ精神思想  
モ亦オノツカラ大ナルハ自然ノ勢ナリ次ニ天候ヲ案スルニ米國中到ル處唯冬夏二季  
ノ氣候ノ嚴酷ナルモノノミアリテ春秋二季ノ溫柔ナルモノアラス故ニ此間ニ生長セ  
ル人民ハ其心亦オノツカラ勇猛ノ氣風ヲ帶フルニ至ルヘシ彼ノ米人ノ百折不撓耐忍  
不拔ノ精神ハ全ク此感化ニヨラサルハナシ且ツ此不撓不拔ノ精神ハ彼國山川ノ感化  
ヨリ來ルモノ亦勘シトセズ其地ニ聳フル所ノ山嶺ハ自然ニシテ起リ自然ニシテ高ク  
決シテ突起危立スルニアラス其地ヲ横キル所ノ河水ハ流レサルカ如クニシテ流レ動  
カサルカ如クニシテ動キ決シテ急速ナルニアラス此泰然トシテ動カヌ悠然トシテ流  
ル、山河ノ形勢ハ即チ米人今日ノ氣風ヲ養成シ其文明ノ進歩ハ徐々緩々トシテ決シ  
テ急速ニ失セサルモ又敢テ逡巡トシテ進マサルニアラス蓋シ其勢一刻片時モ依止ス

ルコナク將ニ無窮ニ向フテ進マントス嗚呼山川ノ教育モ其功亦大ナル哉

第四十四 又問フテ曰ク米國人ハ美術ノ思想ニ乏シキハ如何、政教子曰ク是レ又天然ノ形勢ニヨル其地ニハ高山アリ巨川アリ大湖アリ曠原アルモ皆唯粗大ナルノミニテ一トシテ美麗ナルハナシ我邦ノ日光ノ勝、松島ノ勝、嵐山ノ勝、舞子ノ勝ノ如キハ其國ニアリテ絶テ見サル所ニシテ實ニ風致ニ乏キ地勢ト云ハサルヘカラス之ニ反シテ日本ニハ到ル處ノ山川海灣ハ天然ノ畫圖ヲ現出シ人ヲシテ知ラズ識ラス風雅ノ思想ニ富マシム是レ我邦人ノ美術ノ思想ニ長シ米國人ノ乏キ所以ナリ

第四十五 又問フテ曰ク山川ノ教育ハ何レノ國ニモ存スルヤ政教子曰ク然リ試ニ支那ト日本ヲ擧ケテ之ヲ論セン支那ニハ世界一ノ大川アリ其名ヲ黃河ト云フ日本ニハ天下一ノ高山アリ其名ヲ富士ト云フ富士ハ日本人ヲ教育シ黃河ハ支那人ヲ教育ス支那人ハ悠々緩々トシテ小事ニ驚カス細行ヲ顧ミス事情ニ迂濶ナルノ弊アルモ亦軌謨ノ遠大ナルノ長所アリ是レ恰モ黃河ノ悠然トシテ流レ泰山ノ居然トシテ動カサルカ

ル  
ア

如シ我邦ノ山河ハ然ラス山ハ小ニシテ危立シ川ハ狭クシテ急流ナリ恰モ我人民ノ意ヲ小事ニ注キ心中急速ニシテ餘地ニ乏キニ似タリ而シテ其急速ノ心中ニ秀然トシテ高ク皓然トシテ潔キ一種卓絶万古不朽ノ元氣アリテ存ス其氣發シテハ愛國ノ精神トナリ凝テハ尊王ノ忠魂トナリ二千五百餘年來日本國ヲシテ東海ノ上ニ旭日ト共ニ光輝ヲ四方ニ放ダシメタルハ全ク此元氣ノ人心ニ薰育セルニヨル其狀恰モ富嶽ノ群山連峰ノ上ニ屹立シ秀然トシテ高ク皓然トシテ潔キト同一ナリ古來我邦ノ風、詩人ハ富嶽ノ美ヲ其詩ニ畫キ畫工ハ富嶽ノ雪ヲ其畫ニ示シ日本人民ヲシテ朝ニ夕ニ其美景ニ接見シ其美操ヲ欽慕セシム故ニ余ハ日本人ニ一種卓絶ノ元氣アルハ富嶽ノ教育ニヨルト云フ支那人ハ之ニ反シ其心黃河ノ水ト共ニ潔カラサルハ何ソ知フン黃河其教師トナルヲ故ニ余歌テ曰ク

支那人ノ心ハ黃河ト共ニ濁リ、日本人ノ心ハ富嶽ト共ニ潔シ

第四十六 政教子曰ク從來日本人ノ教育ニ與フル所ノ解釋全ク誤レリ其所謂教育ハ

學校ノ教育ニ過キス然レトモ學校ノ教育ハ教育中ノ小部分ニシテ其外ニ種々ノ教育アリ先ツ教育ヲ分チテ間接教育ト直接教育トナス間接教育ハ人ノ初メテ母ノ胎内ニ宿リテ以來出産ノ時迄胎中ニアリテ受クル所ノ教育ヲ云フ世ノ所謂胎教是レナリ胎教ハ母ノ胎ヲ經テ間接ニ受クル所ノ教育ナレハ之ヲ間接教育ト云フ已ニ出産シテ直チニ外界ノ現象ニ接シ受クル所ノ教育ハ直接教育ナリ之レニ天然ノ教育アリ人爲ノ教育アリ裝飾ノ教育、地位ノ教育、名稱ノ教育等枚擧スルニ暇アラス裝飾ノ教育トハ例ヘハ室内ノ裝飾ニ勸善懲惡ニ關スル書畫彫刻ヲ用フルトキハ知ラズ識ラズノ間ニ之ヲ見ルモノヲ教育シテ善良ノ人トナラシムルカ如キ是レナリ地位ノ教育トハ世ノ所謂孟母三遷ノ教育其一例ナリ名稱ノ教育トハ之ニ普通名稱教育ト特有名稱教育ト二種アリ特有名稱教育トハ父母其子ニ虎吉トカ龍五郎トカ云ヘル實名ヲ與フルトキハ其子自然ニ勇猛活潑ノ人トナリ直吉トカ順二郎トカ云ヘル實名ヲ與フルトキハ其子自然ニ柔順正直ノ人トナルノ類ヲ云フ普通名稱教育トハ苗字、村名、州名等普通名

稱ノ人ヲ教育スルノカアルヲ云フ例ヘハ國名ヲ日本ト稱スルトキハ其人民ヲシテ旭日ノ昇ルカ如ク進取ノ氣風ヲ生セシメ艦名ヲ金剛ト稱スルトキハ其水兵ヲシテ勇健ノ氣風ヲ養ハシムルノ類是レナリ故ニ人若シ名稱ヲ設ケントスルトキハ良名ヲ擇ラニ必要ナリ

第四十七 政教子新約克ヨリ瀛船ニ乗シ將コ英國龍動ニ到ラントス其船美ニシテ大ナリ上等船客四百餘名其十分ノ九ハ亞米利加人ノ佛蘭西、瑞西ノ間ニ遊フモノナリト云フ友人曰ク佛國ノ富チナス所以年々外國人ノ其地ニ來リテ金ヲ散スルニヨルト政教子此事ヲ聞キテ曰ク日本國ノ富ヲ謀ラント欲セハ外國人ノ來遊ヲ待ツノ策ヲ立ツルヨリ外ナシ我邦今日ノ勢商業工業ヲ興シテ輸出品ヲ増シ以テ外國ノ製産ト競争シ以テ外國ノ金ヲ入レントスルハ實ニ難事ナルノミナラス今ヨリ其策ヲ立ツルモ十年乃至二十年以内ニ成功ヲ期スヘカラサルハ明カナリ且ツ其策ヲ立ツルニ豫メ夥多ノ資本ヲ要スルヲ如何センヤ之ニ反シテ外國人ノ來遊ヲ待ツノ策ハ至テ實行シ易キ



方法ナリ其方法ハ唯内地ノ都會及ヒ名所ニ西洋風ノ旅店ヲ新設スルト土地案内道中  
 記ヲ作りテ廣ク外國人ニ配布スルトノ二條ニ外ナラス而シテ我邦ハ天然ニ此策ヲ立  
 ツルニ適スルナリ第一ニ氣候温和ニシテ夏ハ暑ヲ避ケ冬ハ寒ヲ凌クニ便ナルヲ第二  
 ニ土地、風景ニ富ミ山水ノ美勝、到ル處ニ存スルヲ第三ニ陸ニ天然ノ温泉アリ海ニ天  
 然ノ浴湯アルヲ第四ニ日本ハ舊國ナルヲ以テ歷史上ノ舊跡甚ク多キヲ第五ニ古刹舊  
 社其他古代ノ美術奇觀今尙ホ存スルヲ等皆外國人ノ來遊ヲ引クニ最モ適スルナリ故  
 ニ余ハ國ヲ富マヌノ策ハ西洋風ノ旅店ヲ立テ、外國人ヲ引クニ外ナラスト云フ

第四十八 友人問フテ曰ク此方法ニヨリテ得ル所ノ利益豫メ知ルヲ得ルヤ政教子  
 曰ク其利益ニ直接ト間接トニアリ直接ノ利益ハ外國人カ其滞在在中旅店其他ニ於テ毎  
 日費ヤス所ノモノヲ云フ假リニ毎日平均ハ百人アリテ一人五圓ツ、費スモノト定ム  
 ルトキハ一年ニ得ル所ノ金九十一万二千五百圓ナリ若シ毎日平均千人アリテ一人十  
 圓ツヲ費ヤスモノト定ムルトキハ毎年得ル所三百六十五万圓ナリ是レ直接ノ利益ニ

幾倍セルヤ知ルヘカラス第一ニ日本ノ物産外國ニ入ルトキハ海關稅ノ爲メニ非常ニ  
 高價トナリ人之ヲ得ルヲ難シ然ルニ外國人日本ニ來ルトキハ安價ニテ買ヒ入ル、  
 ヲ得ルヲ以テ其實捌方從前ニ數倍スルヲ第二ニ外國人ノ口ニ適セサル米食米酒醬油  
 ノ如キハ眞ニ外國人ノ口ニ適セサルニアラス唯其味ニ慣レサルノミ故ニ若シ日本ニ  
 來リ其滞在ノ間一回二回ト重テ之ヲ試ムルトキハ次第ニ其味ニ慣レ歸國ノ後モ之  
 ヲ用フルニ至リ日本ノ輸出品是レヨリ増加スルヲ第三ニ日本從來ノ遊興技藝（例ハ  
 ハ書畫碁將碁、茶湯、插花等）外國人ノ未タ其用ヲ知ラサルモノモ内地ニ來リテ之ヲ  
 實見スルトキハ其風ヲ西洋ニ傳フルニ至ルヲ第四ニ日本ノ内地ノ改良即チ（道路ノ  
 改良、建築ノ改良、美術ノ改良、演戲ノ改良等）之レニヨリテ進ムヲ第五ニ日本人民西  
 洋人ノ風ヲ見テ開明ノ事情ヲ知リ今日喋々セル風俗ノ改良自然ニ實行スルヲ得ルヲ  
 第五ニ西洋人ノ從來日本ハ東洋諸國ノ如ク野蠻ノ國ナリト信セシモノヲヒ日本ニ來  
 リテ日本ノ事情ニ通スルトキハ其人民ノ爲ス所アルヲ知リ日本最負ノ思想ヲ生スル

ニ至ルコト是ノ間接ノ益ナリ

第四十九 又問フテ曰ク若シ洋館ヲ設立スレハ洋人果シテ來遊スルノ目的アリヤ政  
 教子曰ク今日我邦ニハ洋館ヲシキ旅店ナシ且ツ我邦人ノ外國人ヲ處スルノ方實ニ不  
 深切不信用ヲ極ム然ルニ支那印度諸邦ニアル西洋人ノ日本ニ來遊スルモノハ年々ニ  
 増加スルノミト云フ故ニ若シ洋館ヲ諸方ニ設立シ外人ヲ處スルノ方ヲ改良スルトキ  
 ハ其數一層増加スルハ言ヲ待タスシテ明カナリ先ツ初メニ支那諸港、香港、印度、其  
 他東洋ノ諸島ニアル外國人ヲ引キ次ニ澳大利洲亞米利加洲ノ人ヲ引キ次ニ歐洲ノ人  
 ヲ引キテ之ヲ我邦ニ致スコトヲ得ヘシ此事ニツキ左ノ事情ヲ考フルヲ要ス即チ第一ニ  
 西洋人ハ一般ニ旅行ヲ好ムコト第二ニ日本ノ物價ハ西洋ヨリ安キヲ以テ旅行シ易キコ  
 ト第三ニ愉快ヲ得ル爲メニ旅行スルモノハ中等以上ノ人ニシテ資産ヲ有スルモノナル  
 コト第四ニ愉快ノ旅行ハ商用ノ旅行ト異ナリ餘分ノ金ヲ費ヤシ多數ノ日限滞在スルコ  
 ト第五ニ外國人ハ日本ニ遊フモ巴里ヤ龍動ニ遊フカ如キ愉快ヲ買フコト能ハサルモ人ニ

ハ奇ヲ好ムノ情アリテ已ニ一回若クハ二三回龍動巴里ニ遊ヒタルトキハ其次ハ全ク  
 異リタル地方ニ遊フヲ好ムコト第六ニ外國人ノ日本ニ來ルモノ年々増加スルトキハ各  
 地方ヨリ直接ニ日本ニ航海スル漁船ヲ設クルコト及ヒ太平洋ノ航海日數モ乗客ノ便ヲ  
 計リ大ニ短縮スルニ至ルヘキコト等是レナリ

第五十 大西洋渡航ノ節船中ニテ一夕音曲會ヲ催フセシコトアリ當夕ハ船客中ニ一藝  
 ナ有スルモノヲ撰ミ唱歌ニ巧ナルモノハ唱歌シ奏樂ニ長スルモノハ奏樂シ豫メ其順  
 序ヲ定メ逐次ニ其藝ヲ演セシム恰モ我東京ノ寄席ノ如シ會終ルニ臨ミ聽衆ヨリ各其  
 志ニ應シテ五錢乃至二三十錢ヲ徵集シ其金ハ米國ノ慈善會ニ寄附シテ慈善ノ用ニ供  
 フト云ヘリ

### 英國地方紀行ノ部

第五十一 英國中ニ行ハル、所ノ耶蘇教宗派ハ數百種アル中其各派ニテ寺院僧侶信徒ヲ統轄スルノ方法ハ要スルニ三種ノ組織ニヨル之ヲ假リニ宗教政府ト云フ即チ管長組織、會議組織、獨立組織是レナリ管長組織ハ一宗派中ニ大教正ノ如キモノアリテ末寺僧徒ニ關スル一切ノ事件ヲ統裁スル一種ノ政府ナリ英國教宗及ビ羅馬宗之ニ屬ス次ニ會議組織ハ毎年一回若クハ毎月一回各寺院ノ名代人相會シテ其宗派上ニ關スル事件ヲ共議決定シ別ニ管長ヲ置カザル一種ノ組織ナリ蘇國教宗「プレスビテリアン」宗「メソヂスト」宗等之ニ屬ス次ニ獨立組織ハ各寺皆獨立ヲ唱ヘ其寺院ニ關スル事件ハ自ラ之ヲ裁定シ別ニ同宗ノ總寺院ヲ統裁スル管長ヲ置カス又會議ヲ設ケザル一種ノ組織ナリ「コングレンゲーションナル」宗「バプチスト」宗等之ニ屬ス

第五十二 英國中現今行ハル、所ノ宗派ハ昨年ノ調査表ニヨルニ二百四十三種アリ

ヲ皆耶蘇教ノ宗派ナリ而シテ耶蘇教ニ屬セザルモノハ猶太宗ト坤圖宗ト佛教宗ト三種ナリ耶蘇教中ニ舊教(即チ羅馬宗)ト新教ノ二種アリ新教中ニ國教宗ト非國教宗ノ二種アリ「コングレゲーシヨナル」宗、「バプチスト」宗、「メソヂスト」宗、「プレスビテリアン」宗、「ユニテリアン」宗、「クエーカー」宗等ハ皆非國教宗ナリ

第五十三 大英國ハ宗教ノ自由ヲ許スト雖モ其國教ト定ムル所ノモノハ英國教宗ト蘇國教宗トノ二種ナリ英國教宗ハ二人ノ大教正ト三十一人ノ教正アリテ之ヲ管理ス其中大教正ト二十四人ノ教正ハ國會ノ上院ニ列席スルコトヲ得ルナリ寺院ノ數一萬四千五百七十三棟、僧侶ノ數凡ソ二萬四千人、寺院ノ收入總計毎年凡ソ七百二十五萬磅〔我金凡ソ四千七百萬圓〕之ニ屬スル信徒ノ數一千三百五十萬(蘇國ト愛國ハ之ヲ除ク)大教正ノ年給一人ハ一萬五千磅(我金凡ソ九萬八千圓)一人ハ一萬磅、英國所領地ニアル僧侶ノ數ハ教正六十五人、平僧三千四百人ナリ

第五十四 英國中ニアル寺院ノ數大小諸宗ヲ合セテ二萬五千八百五十七棟(蘇國愛

國ハ之ヲ除ク)ナリ而シテ英國ノ人口二千五百九十七萬四千四百三十九人ナリ故ニ若シ之ヲ寺院ノ數ニ配スルキハ一ヶ寺ニ屬スル人ノ數凡ソ一千四人ノ割合ナリ

第五十五 國教宗ニテハ僧侶ノ階級ヲ三等ニ分ツ教正、訓導、試補、是ナリ教正ハ訓導ヲ監督指令スルノ權ヲ有ス訓導ハ一ヶ寺ノ住職トナルコトヲ得、試補ハ訓導ノ候補者ナリ教正中ニ二人ノ大教正ノ名稱ヲ有スル者アリ是レ國教宗ノ管長ナリ一チ「ガソタバリー」大教正ト稱シ一チ「ヨーク」大教正ト稱ス前者ハ正、後者ハ副管長ナリ

第五十六 英國ニテ其全國(英蘭「ウエールズ」兩州)ヲ分チテ二大教區トシ其一チ「カンダバリー」大教正ノ配下ニ屬シ其一チ「ヨーク」大教正ノ配下ニ屬スルナリ各大教區ヲ分チテ數多ノ中教區トス中教區ニハ必ス一人ノ教正アリテ其區内ヲ管理ス各中教區ヲ分チテ數多ノ小教區トス小教區ニハ必ス一名若シクハ二三名ノ訓導アリテ其區内ヲ監督ス故ニ寺院ニ二種アリ教正ノ住スル寺ヲ「カセドラル」ト云フ本山ノ義ナリ訓導ノ住スル寺ヲ「チャルチ」ト云フ末寺ナリ末寺ニハ「インカンベント」ト稱ス

ルモノアリ住職ノ義ナリ住職ニ「レクター」ノ名稱ヲ有スルモノト「ピカー」ノ名稱ヲ有スルモノト二種アリ一ハ總住職一ハ一分住職ト云フガ如シ「インカンベント」ノ外ニ「キエーレント」ト稱スルモノアリ住職ノ輔佐ナリ輔住職ト云フガ如シ本山ニハ「カノン」ト稱スルモノアリ本山ニ從事スル僧官ノ名ナリ其長ヲ「デーン」ト稱ス猶ホ僧長ト云フガ如シ

第五十七 國教宗ニテハ堂内ニ禮壇アリ其上ニ十字架上ノ耶蘇像ト花瓶、燭臺アリ別ニ説教席ト讀經席アリ毫毛羅馬宗ノ寺ニ異ナルコナシ非國教宗ニテハ禮壇ナシ唯説教席アルノミ

第五十八 英國國教宗ノ大本山ハ「カンターベリー」ノ地ニアリ「セン、オーゴスチン」ト名クル高僧羅馬法王ノ命ヲ帶ビテ英國ニ來リ法錫ヲ此地ニ留メテ以來代々大教正ノ本寺トナリ千餘年ヲ經テ今日ニ至ル頗ル古刹ニシテ寶物亦多シ毎朝九時半ヨリ日没ニ至ルマテ衆人ニ堂内參觀ヲ許ス

第五十九 國教宗ノ寺院ニテハ必ス俗吏ヲ使用ス通例一ヶ寺ニ世話人二名副世話人四名掃除人一名アリ寺院ノ會計ハ世話人之ヲ攝理シ住職之ヲ監督ス而シテ世話人ハ住職ノ勤惰ヲ直接ニ教正ニ報道スルノ權アリ世話人ト副世話人ハ檀家中ヨリ撰定セルモノニシテ無給ナリ掃除人ニハ少額ノ金ヲ附與ス

第六十 國教宗ニテ僧侶トナラント欲スルモノハ三項ノ性質ヲ完備セサルテエズ、學力、品行、信心、是ナリ此三點ハ教正ノ方ニテ其從來經歷アル學校ノ卒業證、勤惰表、履歷書、其他臨時ノ試験等ニヨリテ審定シテ其可ナルモノハ先ツ試補ニ命シ次ニ訓導ニ命スルナリ試補ノ年齢ハ二十三歳以上、訓導ハ二十四歳以上、教正三十歳以上ノ規則アリテ其年齢ニ達セザレバ拜命スルコト能ハズ

第六十一 國教宗ニテハ僧侶裁判所ヲ設置ス各中教區ノ配下ニ必ズ一裁判所アリ教正其長タリ是レ始審裁判ナリ各大教區ニ一裁判所アリ大教正其長タリ是レ控訴裁判ナリ大教區裁判所ノ判決ヲ不當ナリトスルモノハ政府ノ樞密院ニ上申スルコトヲ得

是レ大審院ナリ

第六十二 英國教宗ニテハ小教區中ニ毎年一回會議ヲ設ケテ諸事ヲ評定ス之ヲ「ベ  
ステリー」ト云フ其時ハ教區中ノ人民(即チ我氏子ト云フガ如シ)相會スルナリ中教  
區中ニ亦會議アリ之ヲ「コンフェレンス」ト云フ其時ハ中教區内ノ僧侶相會スルナリ  
大教區中ニ毎年一回大會議アリ之ヲ「コンボケーション」ト云フ其時ハ各教區僧侶ノ  
名代人相集リテ下院ヲ組成シ教正ハ上院ヲ組成シテ諸事ヲ議定スルナリ蘇國教宗ニ  
テハ數多ノ寺院相合シテ小會議區ヲ組成ス之ヲ「プレスビテリー」ト云フ數多ノ「プ  
レスビテリー」相合シテ中會議區ヲ組成ス之ヲ「シノツド」ト云フ數多ノ「シノツド」  
相合シテ大會議區ヲ組成ス之ヲ「ゼテラル。アツセシブリー」ト云フ非國教宗中「コン  
グレガトシヨナル」宗「バプチスト」宗等ハ各寺獨立チ唱フル宗ナレバ別ニ會議ノ組  
織ナシ唯、有志連合會アリテ一年一回若シクハ二回會合スルコトアルノミ

第六十三 寺院ニテ禮拜、説教ノ度數及ヒ其時間ノ長短ハ世ト共ニ變遷スト云フ昔  
時ハ耶蘇教ハ毎日禮拜ヲ行ヒ其時間亦至テ長ク日曜ノ如キハ殆ンド終日禮拜ヲ行ヒ  
シガ今日ハ然ラズ毎日曜ニ限リ禮拜説教アルノミ其時間モ亦短縮シ一時間乃至一時  
間半ニ過キズ羅馬宗及ヒ英國教宗ハ尙ホ昔時ノ風アリ非國教宗ハ至ク今日ノ風ニ改  
良セシモノナリ是レ他ナシ世進ムニ隨ヒ事務多忙、寺ニ詣スル間隙ヲ得ルコト難クレ  
バナリ

第六十四 國教宗ノ寺院ハ大抵毎日朝夕二回禮拜ヲ行フモ平日ハ讀經ノミニテ説教  
ナシ説教アルハ日曜朝夕ト其他ノ祭日ニ限ル非國教宗ハ日曜朝夕及ヒ祭日ノ外ハ禮  
拜ヲ行ハズ木曜ニ行フモノアルモ一般ナラズ國教宗ノ日曜禮拜ハ凡ソ一時間半乃至  
二時間ヲ要ス其中説教ノ時間ハ三十分乃至四十五分ヲ常トス非國教宗ノ禮拜ハ一時  
間乃至一時間半ニ過キズ其中説教時間ハ矢張三十分乃至四十五分ナリ讀經ハ「バイ  
ブル」中ノ或ル部分ヲ誦讀スルモノニシテ之ニ前後兩回アリ前回讀經ハ舊約全書  
中ノ一部分、後回讀經ハ新約全書中ノ一部分ナリ

第六十五 寺院ノ收入ハ國教宗ニテハ左ノ諸目ヲ主トス

- (一) 國教稅 (田地ヲ有スルモノニ課シテ其耕作及ビ牧畜ヨリ收入セルモノ、幾分ヲ寺院ニ上納セシムル是ナリ)
- (二) 寺領地 (寺院ニテ從來所有セル土地ヲ云フ)
- (三) 座料 (寺院ニテ其堂内ノ席ヲ檀家ニ配當シテ毎月若クハ毎年一定ノ席費ヲ徵集シ或ハ每說教會ニ一定ノ座料ヲ參詣人ヨリ徵集スルモノ是ナリ)
- (四) 賽錢 (此外寺院資金ト稱スルモノアリテ寺院ノ歲入不足ノ節ハ此資金ヨリ支辨スル法アリ又臨時再建費ト稱シテ有志ノ寄附ヲ請フコトアリ其他金滿家ヨリ不時ニ土地又ハ金圓ヲ獻納スルコトアット云フ)

第六十六 僧侶ノ月給ハ寺院ノ大小ト僧侶ノ名望トニヨリテ一定セズ但シ國教宗ノ僧侶ハ非國教宗ノモノヨリ多額ノ月給ヲ得ルナリ國教宗ノ僧侶ニシテ一ヶ寺ノ住職タルモノ其多キハ年給千磅(我金六千五百圓)少ナキハ二百磅(我千二百圓)ナリト云

フ其外僧侶ニハ臨時ノ所得アリ例ヘバ婚禮式ノ節(宗派ニヨリテハ其他ノ儀式ニモ)ニハ多少ノ金ヲ僧侶ニ進呈スルヲ例トス我邦ニテ布施ト稱スルモノニ同ジ

第六十七 禮拜ノ時ニハ何レノ寺ニテモ必ズ賽錢ヲ集ムルヲ例トス寺ノ世話人禮拜ノ終リニ賽錢箱(若クハ袋)ヲ出シ各壹錢以上拾錢貳拾錢位ヲ其中ニ投入スルナリ或ハ寺ノ規則ニヨリ賽錢ノ外ニ座料ヲ收入スルコトアリ上等席壹名貳拾五錢中等席拾錢下等席壹錢等ト次第スルナリ恰モ芝居ニテ席費ヲ收入スルガ如シ其外、寺ノ堂内ノ柱ニハ必ズ數箇ノ錢箱ヲ掛クルヲ見ル其箱ノ上ニハ或ハ貧民ノ爲メト書シ或ハ癩疾病人ノ爲メニ或ハ寺院建築費。内陳修繕費。舊債支辨ノ爲メ神前供養ノ爲メ等ト書シ寺アレバ必ズ錢箱アリ錢箱アレバ必ズ寺カト人ヲシテ怪マシムル程ナリ此箱ハ最モ羅馬宗ト國教宗ニ多シ其他寺院ニヨリテ内陳ノ入口ニ大人ハ拾錢二拾錢小兒半額等ト揭示シ内陳參觀料ヲ收入スル處アリ恰モ汽車ノ賃錢表ヲ見ルカ如シ

第六十八 内國布教會或ハ外國布教會其他之ニ類スル教會ニテ費金ヲ集ムル爲メニ

說教會又ハ展覽會ノ如キモノヲ設クルコトアリ例ヘハ外國布教費徵集ノ爲メ一定ノ日ニ某寺院ヲ假リテ說教會ヲ開キ當日參スルモノハ志ニ應シテ多少ノ金ヲ寄附シ其席ニテ集ル金ハ總テ布教會ニ收納スルナリ又有志ノ貴婦人手細工物ヲ作り之ヲ一場ニ集メ商品展覽會ト稱シ來觀者ヲシテ其好ニ應シテ購求セシメ之レヨリ得ル所ノ金額ハ盡ク布教會ニ寄附スルナリ此方法ハ寺院建築、負債償却等ニモ用フルト云フ

第六十九 各寺院ニテ一週内ニ集リタル賽錢其他種々ノ寄附金ハ堂内ノ揭示場ニ揭示スルヲ例トス又寺ヨリテハ新聞上ニ廣告スル所アリ田舎ノ寺院ニテモ毎週百圓若クハ二百圓位ノ賽錢アリ

第七十 通常ノ寺院ニテ其創立建築費ハ一ヶ寺五方圓ニ下ラズト云フ

第七十一 寺院ニ金圓ヲ寄附シタルモノハ其姓名ヲ堂内ノ壁上ニ刻シ後日ノ記念トナス恰モ我邦ノ寺院ニ永代讀經ノ揭示アルガ如シ

第七十二 英國ニテ宗教信者ノ家ヲ見ルニ内佛神棚ノ如キモノハ更ニ安置セズ故ニ

朝夕禮拜ヲ行フコトナシ唯國教宗ノ家ニテハ食前ニ誦スヘキ文句アリ之ヲ晚食ノ時食卓ニ對シテ口誦スルヲ例トス

第七十三 宗派異ナンバ其名目又異ナリ耶蘇教ノ祭式ニ一杯ノ葡萄酒ト一片ノ麵飽ヲ神前ニ供シ讀經祈請ノ後之ヲ耶蘇ノ血ト肉ナリト云ヒテ衆人ニ配與スルコトアリ此式ヲ英國教宗ニテハ「ホリー、コンミュニオン」ト云ヒ羅馬宗ニテハ「マス」ト云ヒ非國教宗ニテハ「ロールド、サツパー」ト云ヒ或ハ「ブレマス、ブレヴン」宗ニテハ「ブリーキング、ブレッド」ト云フ日曜日ノコトヲ「クエカー」宗ニテハ第一日ト云ヒ「ブレマス、ブレヴン」宗ニテハ神ノ日ト稱スルナリ

第七十四 政教子一日英人ニ問フテ曰ク英國教宗ハ新教ノ一派ナリト稱スルモ其羅馬宗ト大ニ似タル所アルハ何ソヤ英人曰ク羅馬宗ト國教宗ノ別ハ洗手ノ前ト後トノ別ト同一ナリ羅馬宗ハ未ダ洗ハサル時ノ如ク國教宗ハ既ニ洗ヒタル時ノ如シ其前ト後トハ手ノ形異ナルニアラス唯、垢ヲ去リタルト去ラザルトノ別アルノミ



第七十五 耶蘇教ト佛教ト大ニ類同スル所ノ諸點アルハ今日已ニ世人ノ注目スル所トナリ西洋學者中ニ耶蘇教ハ佛教ノ說ヲ取捨變更シテ成リタルモノナリト唱フルモノ多シ英國牛津大學教授「マクス、ミユラー」氏モ其宗教起元論中ニ新約全書中ノ事實ト佛書中ノ事實トヲ比較シテ其似タルモノ多キヲ見テ大ニ疑ヲ起サレタルガ如シ

第七十六 耶蘇教ト佛教ハ其立ツル所ノ說類同スルハミナラズ其實際上ノ儀式甚ダ相似タルモノ多シ別シテ羅馬宗ハ其寺院ノ裝飾、讀經、禮拜、僧ノ生活等最モ佛教ニ近キモノナリ

(甲) 堂内ノ裝飾

- (一) 數多ノ偶像(木像金像繪像)ヲ安置スルコト
- (二) 偶像ノ周圍ニ光明ヲ畫クコト
- (三) 神前ニ禮壇ヲ設ケ其上ニ御地敷ヲ布クコト
- (四) 壇ノ上ニ蠟燭臺、花瓶ヲ并列スルコト

(五) 酒及ビ食物(麵包)ヲ毎朝供養スルコト

(乙) 禮拜ノ儀式

- (六) 僧侶ハ袈裟法衣(五條七條ノ類)同様ノ者ヲ着スル
- (七) 信徒ハ珠數ヲ用ユルコト
- (八) 合掌跪坐スルコト
- (九) 香ヲ燒クコト
- (十) 常夜燈ヲ點スルコト
- (十一) 讀經說教ノ順序躰裁ノ同一ナルコト
- (十二) 鈴及ヒ鐘ヲ鳴スコト
- (十三) 說教後ニ賽錢ヲ集ムルコト(耶蘇教諸派皆然リ)
- (十四) 毎日朝夕禮拜讀經スルコト

(丙) 僧徒ノ生活

- (十五) 僧侶ハ妻帯セザルコト
- (十六) 外出スルニ一定ノ法衣ヲ着スルコト
- (十七) 頭上ノ一部分ヲ剃髮スルコト
- (十八) 祭日ニ生肉ヲ食セズ斷食ヲ行フコト
- (十九) 僧徒ハ大抵寺院内ニ寄宿スルコト
- (二十) 男僧ノ外ニ女僧(尼)アルコト
- (二十一) 法王敎正アリテ僧侶ヲ統轄スルコト

以上二十一項ハ耶蘇敎ト佛敎トノ外形上ノ儀式ノ似同セル點ニシテ人ヲシテ耶蘇敎ノ儀式ハ印度ノ風ヲ摸取シタルヤチ疑ハシムルモノナリ然レモ耶蘇新敎ハ羅馬宗ヲ改良シタルモノナレバ佛敎ト大ニ異ナル所アリ其改良ハ眞宗ノ改良ニ比スレバ亦甚ク相近シ

第七十七 或ル英國ノ學士語リテ曰ク日本ノ佛敎ハ眞ノ佛敎ニアラズ其支那ニ傳ハ

ルモノ已ニ純然ナラズ流レテ日本ニ入ルニ當リテ亦濁水ト混シ腐敗ノ宗敎トナル若シ之ヲ今日印度ニ傳ハルモノト比スルトキハ其清濁ノ別判然知ルコトヲ得ルチリ政敎子曰ク其清キモノ果シテ印度今日ノ佛敎ニシテ其濁レルモノ果シテ日本今日ノ佛敎ナルカ兩邦ニ傳ハルモノ互ニ相異ナルモ何ゾ知ラシ日本ノ宗敎却テ純然ニシテ印度ノ宗敎却テ腐敗セルヲ且ツ余ガ視ル所ニヨルニ學術宗敎其他百般ノ事皆世ノ進歩ト共ニ發達スルハ自然ノ勢ニシテ中世ノ耶蘇敎ト近世ノ耶蘇敎ト大ニ異ナル所アルハ中世ノ耶蘇敎純良ニシテ近世ノ耶蘇敎腐敗セルニアラズ唯世ノ進歩ト共ニ發達シタルノミ今、日本ノ佛敎ト印度ノ佛敎ト異ナルモ亦此理ニ外ナラズ印度ノ佛敎ハ印度ノ文明ト共ニ發達シ日本ノ佛敎ハ日本ノ文明ト共ニ發達シ兩國ノ文明其性質ヲ異ニスルヲ以テ其今日ノ佛敎互ニ相異ナル所アルモ自然ノ理ナリ又印度古代ノ佛敎ト日本今日ノ佛敎ノ異ナルモ同一理ナリ其敎先ツ支那ニ入リテ其國ノ文明ト共ニ發達シ日本ニ入リテ亦日本ノ文明ト共ニ發達シテ今日ノ佛敎ト印度ノ佛敎ト同一ナラサル

ノ結果ヲ生スルニ至レリ例ヘバ草木ハ其初發ノ時ト其成長ノ後トハ同一ノ形狀ヲ有  
 スルニアラサルモ同一ノ草木ナリ若シ人其成長セルモノ、其初發ノ時ニ異ナルヲ見  
 テ是レ別種ノ草木ナリト云ハハ誰レカ其ノ愚ヲ笑ハサルモノアランヤ今、日本ノ佛  
 教ハ其古代印度ニ行ハレシモノ及ビ其今日印度ニ存スルモノト異ナル所アルハ其種  
 類初ヨリ異ナルニアラズ唯發達ニ前後東西ノ別アルニヨルノミ而メ其果シテ同種ノ  
 佛教ナル所以ハ佛教ノ原理トスル所ノモノ(即チ因果ノ理等)古今東西寸分ノ差異ナ  
 キヲ見テ知ルヘシ且ツ佛教ノ古來發達セル次序ヲ考フルニ唯一理脈ノ其前後ニ貫通  
 スルノミナラズ一ヨリニテ生シニヨリニテ生ズルガ如キ論理發達ノ規則ニヨラザル  
 ハナシ恰モ草木ノ初メニ芽ヲ生シ幹ヲ生シ枝ヲ生シ葉ヲ生ズル次序ニ異ナラズ是ニ  
 由テ之ヲ觀ルニ其今日ニ發達セル所ノ原形ハ已ニ其未タ發達セサル種子中ニ含有ス  
 ルコト明カナリ故ニ余ハ日本ノ佛教モ印度ノ佛教モ同一種ナリト云フナリ

第七十八 西洋人中ニモ迷信者甚ク多シ例ヘバ十三人食卓ニ列スルヲ忌ミ金曜日ニ

旅立スルヲ嫌ヒ二箇ノ庖丁ノ食卓上ニ相交ハリ十字形ヲナスヲ不吉ノ兆トシ梅果ヲ  
 食シ其仁ノ數ヲ計ヘテ吉凶ヲトストシ火箸ヲ爐ノ前ニ立テ、火ヲ活スマシテヒト稱  
 スル等種々ノ事アリ

第七十九 英國人ハ堅牢ヲ貴ビ米國人ハ危險ヲ顧ミス

第八十 英國ノ新聞ハ必ズ日曜日ニ休刊シ米國ノ新聞ハ日曜ニ休刊セサルノミナラ  
 ズ必ズ大附録ヲ増刷スルナリ

第八十一 西洋人ハ支那婦人ノ其足ヲ縮小ニシ印度婦人ノ其鼻ニ輪環ヲ掛クルヲ見  
 テ天然ヲ害スル野蠻ノ風習ナリト云フ而シテ西洋ニモ上下貧富ヲ問ハス婦人ハ必ズ兩  
 耳ヲ穿テテ輪環ヲ貫クガ如キ天然ヲ害スル風習アルヲ知ラズ

第八十二 英國ノ民間ニ行ハル、曆書アリ毎年之レヲ頒布シテ其翌年中ノ天災地變  
 毎日ノ吉凶禍福ヲ前定ス而シテ之レヲ前定スルノ法ハ古代ノ天文學家ノ推歩術ニヨ  
 ルト雖モ學術上一點モ考フベキ所ナシ唯愚民ノ意ヲ慰ムルニ過キズ然ルニ愚民ハ固

ク之ヲ信シ毎日其曆書ヲ見テ日業ヲ取ルト云フ政教子曰ク英國ノ愚民モ日本ノ愚民モ愚民ニ二種ナク其思想ノ歸スル所一轍ナリ

第八十三 英國ニハ「オクス、フオールド」大學「ケンブリッジ」大學ヲ始メトシ其他ノ大學中ニ神學部アル外ニ宗教專門ノ大學至テ多シ今英國中ニアルモノヲ統計スルニ左表ノ如シ

國教宗ニ屬スルモノ

二十一

「メソヂスト」宗

七

「コングレガトシヨナル」宗

十三

「バプティスト」宗

九

「プレスビテリアン」宗

七

「ユニテリアン」宗

一

羅馬宗

二十九

猶太宗

一

第八十四 英國中ニ布教、慈善、保護、救助、養育等ノ目的ヲ以テ立テタル教會教社甚ダ多シ其主ナル種類ヲ舉クレバ布教會ニ關シタルモノニハ内國布教會、外國布教會、水上布教會、市中布教會、軍中布教會、神典出版會等アリ防護、慈善、救助ニ關シタルモノニハ勞役者保護會、婦女子保護會、寡婦、小兒、老人、水夫、免役者(兵役懲役共)、外國人、破船者、逢難者、牛馬等ヲ保護救助スル諸會アリ是レ皆有志ノ結合ニヨリテ成リ多クハ寺院僧侶ノ主唱スル所ナリ

第八十五 英國ニ婦人内國布教會ト稱スルモノアリ其規約書ヲ見ルニ會員タルモノハ會費トシテ壹志(我金三拾三錢)ヲ收納スルコト、手細工物ヲ作り之ヲ賣リテ其金ヲ會ニ收納スルコト、賽錢箱ヲ作り集會毎ニ其中ニ寄附金ヲ投入シ或ハ帳面ヲ作り其中ニ寄附金ノ高ヲ記載セシムルコト、會員ニシテ資産ナキモノハ毎月一日若クハ二日間特別ニ勞力ヲ取り之レニヨリテ得ル所ノモノヲ會ニ寄附スルコト、等ノ箇條アリ

第八十六 寺院ニハ少年教會ノ外ニ小兒教會アリ小兒ノ四五歳ヨリ七八歳ニ至ルモ  
 ノ會日ニハ其父母若クハ乳母ト共ニ寺ニ詣リ極メテ簡短ナル讚美歌ト極メテ簡短ナ  
 ル宗意問答ヲ習讀スルナリ宗意問答ハ之ヲ小冊子ニ編成シ其一部ヲ各名ニ配附シ導  
 師(僧侶)其問ヲ讀ム小兒其父母若クハ乳母ノ助ケニヨリテ其答ヲ誦ス其問答書ハ問  
 神ハ何者ナルヤ答神ハ我々ノ眞ノ父母ナリ等ノ如キ極メテ簡短ナル問答ヨリ成ルモ  
 ノナリ

第八十七 耶蘇教ノ洗禮式ハ羅馬宗ニテハ水ヲ柄杓体ノモノニテ赤兒ノ額ニ灌シナ  
 リ「バプチスト」宗ニテハ赤兒ノ洗禮ヲ許サズ人漸ク長シテ是非善惡ヲ辨スルニ至リ  
 洗禮ヲ舉行ス其式全身ヲ水ニ浸スナリ其他ノ宗派ハ水ノ數滴ヲ赤兒ノ額ニ振りカク  
 ルノミ

第八十八 耶蘇教ニテ僧侶トナルノ儀式即チ我所謂得度式ハ國教宗ト非國教宗ト異

ナリ國教宗ニテハ試補トナルニモ訓導トナルニモ教正トナルニモ其式ヲ行フノ權ハ  
 教正ニアリ試補トナルノ式ハ教正一名其手ヲ候補者ノ頭上ニ加ヘ訓導トナルノ式ハ  
 教正一名他ノ訓導ト共ニ其手ヲ加ヘ教正トナルノ式ハ他ノ教正通例三名共ニ其手ヲ  
 加フルナリ非國教宗ニテハ此手ヲ加フルノ式ナシ唯、隣寺ノ僧侶若クハ友人ニテ已  
 ニ僧侶トナリシモノ來リテ言句ヲ口授スルノミ

第八十九 耶蘇誕生日即チ「クリスマス」ハ西洋諸國ノ大祝日ナリ猶ホ我邦ノ正月元  
 日ノ如シ當日ハ戸毎ニ常葉木ヲ懸ケ室内ノ花瓶燭臺ニ至ル迄其小枝ヲ狹ム恰モ我正  
 月ニ松、竹、橙ヲ用フルニ同シ常夕眷屬一同一席ニ集リ美食ヲ設ケ食後自在ニ歡樂ヲ  
 盡クシテ深更ニ至ル等皆我正月ノ風俗ニ異ナルコトナシ當日ハ親戚朋友ノ間ニハ必  
 ズ贈品呈書スルヲ例トシ下女下男、出入、小作ノ者ニハ多少ノ金ヲ與ヘ近隣ノ貧民ニ  
 モ多少ノ愛ヲ施ス等又我歳末ノ如シ地方ノ停車場ナドニハ當日ニ限り天下泰平武運  
 長久鐵道會社千秋萬歳ト題示セルアリ是レ亦我國風ニ異ナラズ

第九十 「クリスマス」ノ朝ハ各寺院會堂皆禮拜式アリ羅馬宗ノ寺ハ堂内別ニ耶蘇降誕ノ壇ヲ設ク即チ堂内ノ一隅ニ「マリー」婦人廐内ニアリテ耶蘇ヲ産セシ實景ヲ作り人ヲシテ其前ニ跪坐合掌セシム國教宗ノ寺院ハ降誕ノ壇ヲ設ケズ唯常葉木ヲ以テ堂内ヲ裝飾スルノミ非國教宗ノ寺院ハ何ニモ裝飾ヲシキモノナク更ニ尋常ニ異ナラズ

第九十一 耶蘇教中「ユニテリアン」宗ハ當時日本ニ流行スルノ勢力アリシモ西洋ニテハ最モ勢力ナキ宗旨ニシテ近年次第ニ其信徒ヲ失フト云フ其英國中ニアルモノ禮拜堂三百四十五ヶ處僧侶三百四十人ニ過キス蓋シ其原因ハ第一ニ高尙ニ過キテ通俗ニ適セス第二ニ自由ニ過キテ教會ヲ組織スルニ難キノ理由アルベシト雖モ要スルニ其教ニ立ツル所ノ原理正シカラザルニヨル凡ソ耶蘇教ハ其原理トスル所三條アリ第一ニ造物主アルコト第二ニ死後ノ未來アルコト第三ニ耶蘇ハ神子ナルコト是レナリ其中第三條ヲ以テ最要點トス然ルニ「ユニテリアン」宗此點ヲ取ラズ故ニ之レニ耶蘇教ノ名ヲ與フルコト難シ是レ耶蘇教各宗ノ其宗義ヲ抗擊スル所以ナリ然ルニ此宗ハ

造物主アルノ一條ヲ以テ世ノ學說ニ附會シ是レ學術上ノ宗教ナリト自ラ許スハ世ノ學理ヲ知ラザルモノヲ籠絡スル好手段ナルモ學者ノ眼ヨリ之ヲ觀レハ其說一モ學理ニ合スル所ナシ凡ソ神ノ解釋ニニアリ一ハ普性神一ハ特性神ナリ特性神ハ一種特殊ノ形質ヲ有シ作用ヲ有シ意想行爲ヲ有スル最上知、無量壽ノ躰ヲ云フ耶蘇教ニ立ツル所ノ神是レナリ普性神ハ特殊ノ性質作用意想ヲ有セザル万物ノ本躰實質ヲ云フ佛教ノ眞如法性ト云フガ如シ今「ユニテリアン」宗ノ說ク所ノ神ハ矢張此特性神ニシテ此特性神ハ今日ノ學術ノ全ク許サザル所ナリ學術上ニテ宇宙間ニ不可思議ノ一躰アリト云フモ萬物ノ起元本躰ハ知ルヘカラズト云フモ是レ一トシテ特性神ノ存スル所以ヲ證明セルモノニアラズ明日ノ天氣知ルヘカラズト云フハ決シテ明日雨アリ風アリト云フノ意ニアラズ若シ耶蘇教者ノ如ク學術上宇宙間ニ知ルヘカラサル一躰アリト云フヲ聞キテ其知ルヘカラサルノ躰ハ意志ヲ有シ智力ヲ有シ天地ヲ作り万物ヲ造ルト云フガ如キ斷言ヲナスハ怡モ明日ノ天氣知ルヘカラズト云フヲ聞キテ明日ノ天氣

ハ雨モアリ風モアリト断定スルニ異ナラズ故ニ「ユニテリアン」宗カ特性神ヲ立ツル以上ハ學術上ノ原理ニ適合スルコト能ハザルハ明カナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ「ユニテリアン」宗ハ一方ニアリテハ耶蘇教各宗ヨリ是レ耶蘇教ニアラズノ抗撃ヲ來シ一方ヨリハ理學者哲學者ヨリ是レ眞理ニアラズノ駁論ヲ招キ孤軍兩敵ノ間ニ介立シ四面援聲ヲナスモノヲ見ス其歐米諸州ニ振ハザルハ誠ニ理アリ

第九十二 非國教宗中「クエーカー」ト稱スル一派アリ其儀式禮拜全ク他ノ宗派ニ異ナリテ寺院又ハ禮拜堂ヲ設ケズ何レノ處ナリモ同派ノ信徒ノ相會スル席ヲ定メ之ヲ同朋集會所ト稱ス其席ニハ禮壇ヲ設ケス樂器ヲ置カス説教座モナク唯數脚ノ椅子排列スルノミ故ニ日曜ニハ同朋相會スルモ別ニ説教者ナク牧師ナク歌ヲ誦セズ樂ヲ奏セズ各自其意ニ任シテ祈請セント欲スルモノハ跪キテ祈請シ演說セント欲スルモノハ起テ演說シ一時間乃至一時間半ニシテ散會ス散會ノ前ニハ凡ソ五分間一同首ヲ垂レ沈思默坐ス是レ其宗ノ主義、外形上ノ裝飾禮式ハ總テ無用ニ屬シ内心ノ信向獨リ

必要ナリト立ツンバナリ而シテ其沈思默坐スルハ心鏡明カナレハ其面ニ神ヲ見ルト信スルニヨル故ニ神ヲ外ニ見ントスルハ迷ナリ宜ク内ニ觀ルヘシト云フ此宗ニ限リ人生ル、モ洗禮ヲ行ハズ祭日アルモ酒ト麵麩ヲ供養セズ蓋シ禮式ノ簡略ナル此宗ヲ以テ第一トス且ツ道德品行ノ點ニ至テモ此宗ノ信徒ヲ以テ第一トスト云フ

第九十三 「クエーカー」宗ニ最モ相近キモノ「プレマズブレヴレン」宗ナリ此宗亦寺院ヲ建テズ僧侶ヲ置カズ然シテ禮拜ノ節ハ唱歌ヲ用ヒ祭日ニハ酒ト麵麩トヲ供養スルナリ政教子一日其會堂ニ入りテ之ヲ見ルニ會場ニハ其宗ノ信徒ト他宗ヨリノ來觀者ハ其席ヲ別チ酒ト麵麩ノ供物ハ來觀者ニ配與セズ賽錢モ來觀者ヨリ集メサルナリ

第九十四 英國ナル新教中「メソヂスト」宗ハ會議組織ヨリ成リ毎年大會議ヲ設ケテ諸事ヲ整理ス之ヲ「コンフェレンス」ト云フ二百四十人ノ僧侶ト二百四十人ノ信徒相會スルナリ毎半年ニ中會議アリ每四季ニ小會議アリ此小中兩會議ハ大會議ニ附屬スルモノナリ故ニ一宗統轄ノ中心ハ大會議ニアリ大會議ニハ年々大統領ヲ撰定シテ議

長ノ席ニ就カシム

第九十五 英國非國教宗中其最モ舊キモノハ「コングレゲーショナル」宗ナリ其宗徒「エリサベス」女王ノ朝ニ起リシモ當時英國政府信教ノ自由ヲ許サザルヲ以テ去リテ北米ニ移住スルモノ甚ダ多カリシ「ユロソウエル」氏共和政治ヲ唱フルニ至リテ其宗初メテ勢力ヲ得ルニ至レリ蓋シ其宗ノ主義トスル所各寺皆獨立ニシテ之ヲ統轄スル教正ヲ置カズ會議ヲ設ケズ純然タル自由主義ノ宗旨ナリ然シテ「コングレゲーショナル」連合ト稱スルモノアリテ毎年同志ノ連合會ヲ開クモ決シテ其宗ノ宗制寺法ヲ議定スルニアラズト云フ

第九十六 猶太人ハ其今日世界中ニ散布セルモノ大數七百萬人アリト云フ其中英國ニアルモノ六萬人以上ニシテ教會堂ノ數八十、僧侶ノ數一百人アリ其教會及ビ慈善上ニ費ス所ノ金年々凡ソ百萬圓ノ巨額ニ及フト云フ

第九十七 羅馬宗ノ教正世界中ニアルモノ大教正ヲ合シテ一千二百二十二人中其英

國及ビ英國所領地内ニアルモノ百四十七人ナリト云フ

第九十八 寺院ノ堂宇及ビ所屬財産ハ國教宗ニテハ法律上其住職ノ所有トシ非國教宗ニテハ檀家中ノ主ナルモノ數名連署シテ其所有者トナルナリ國教宗ノ住職ハ殆ソ一ト全ク一寺ヲ支配スルノ特權ヲ有スルモ非國教宗ノ牧師ハ檀家中ノ總代人ト共ニ一寺ヲ支配スルノ權ヲ有ス故ニ非國教宗ニアリテハ檀家ノモノ牧師ヲ進退スルノ權アリ國教宗ニテハ教正其權ヲ有スルナリ

第九十九 英人某曰ク佛教ハ無神教ナリト云フ誰レカ賞善罰惡ノ權ヲ有スルヤ政教子曰ク佛教ハ賞罰ヲ主宰スル神ヲ立テズ故ニ其權ヲ有スルモノナシ而シテ道理ノ主宰アリ即チ因果ノ理法是レナリ此理法能ク善ヲ賞シ惡ヲ罰シ尺善寸惡ト雖モ必ズ其果報アリ善因異ナレバ其果亦異ナリ惡因同シカラサレバ其果亦同シカラズ罪業ノ輕重ニ從フテ受クル所ノ果報ニ輕重アリ是ヲ以テ極樂ニモ種々ノ極樂アリ地獄ニモ種々ノ地獄アリト云フ是レ皆因果ノ理法ニヨリテ論定セルモノナリ故ニ佛教ヲ信スル



モノハ因果ノ理ヲ信スルヲ以テ足レトス敢テ其理法ノ外ニ殊更ニ想像ヲ叩キテ天  
 帝ヲ喚起スルヲ要セス某曰ク佛理ノ簡明ナルコト遠ク耶蘇教ニ勝レリ  
 第百 英人某問フテ曰ク君ハ佛教ヲ主唱スルモノナリ佛教ヲ主唱スル以上ハ耶蘇教  
 ハ君ノ敬視スル所ナルカ政教子曰ク否余ハ佛教ヲ主唱スルト同時ニ宗教ノ真理ヲ主  
 唱スルモノナリ耶蘇教ハ未ダ宗教ノ真理ニ合セスト雖モ其真理ニ達スルノ途次ニア  
 ルモノナリ論理上耶蘇教ノ理ヲ推究スレバ其極佛教ノ原理ニ合躰スルニ至ル故ニ余  
 ハ曾テ云ヘルアリ耶蘇教一變スレバ佛教ニ至ラント唯其今日ノ有様真理ニ達スルノ  
 途次ニアリテ迷中ニ出沒シ暗裏ニ彷徨シテ進路ヲ取ル所以ヲ知ラザルノミ恰モ雲外  
 ニ明月アルヲ知ラズ林外ニ秀山アルヲ知ラザルガ如シ故ニ余ハ耶蘇教ヲ以テ佛教ノ  
 一部分トセントス決シテ之レヲ敬視スルニアラス唯朋友視或ハ兄弟視スルノミ若シ  
 耶蘇教者其自ラ迷フ所以ヲ知ラズシテ雲外ニ明月ナシ林外ニ秀山ナシト云フニ至リ  
 テハ余固ヨリ黙止ニ付スベカラズ然レモ其之ヲ敬視スルハ余ガ本心ニアラザルナリ

第百一 或ル人語リテ曰ク英國教宗ノ教正日本ニ布教セルモノ英國ニ歸リ其布教ノ  
 實況ヲ報道セシ演說中ニ耶蘇教ヲ日本ニ弘ムルハ甚ダ難シ其國ノ人民論理ニ明ニシ  
 テ其質問難駁スル所實ニ順序アリ條理アリ決シテ凡常平易ノ問難ニアラス此人民ヲ  
 シテ耶蘇教ノ理ヲ信セシムルニハ一々哲學上ノ論法ヲ用ヒザルベカラズ普通ノ說教  
 演說ノヨク化ス可キニアラス唯ダ將來布教ノ目的ハ女學校ノ進歩ニアラシカトノ意  
 ヲ述ベラレタリト云フ其意日本ノ男子ハ腦中ニ論理ノ精水已ニ滿ルヲ以テ耶蘇教ノ  
 法雨ヲ注入スルコト難シ而シテ女子ハ其心面ノ膜質至テ柔カニシテ宗教ノ風ニ變質  
 シ易キヲ以テ將來ノ布教ハ女子ヲ教育スルヨリ外ニ手段ナシト云フニアリ  
 第百二 英國其他歐米各國ノ宣教師ハ其未ダ日本ニ來ラザルニ當リテハ日本ノ人民  
 ハ亞非利加、亞米利加等ノ野蠻人民同等ノ様ニ考ヘ此人民ヲ耶蘇教ニ入ル、ハ小兒  
 對テテ說教スルヨリ易キ様ニ思フモノ多シ已ニ來リテ人民ノ思想ニ接スレバ全ク  
 自ラ豫想セル所ニ反シ其宗教上ニ有スル所ノ觀念ハ遠ク耶蘇教ノ上ニアルニ驚クト

云フ英國ナドニテ堂々タル大寺院ノ説教スラ極メテ淺薄ナルモノニテ毫モ日本ノ僧侶ノ田舎ノ愚夫愚婦ニ對シテ述ブルモノニ異ヲラズ而シテ聽衆ハ唯々諾々一言モ疑問ヲ起スコトナシ且ツ日本ニテ從來講スル所ノ佛道儒道共ニ其理ノ高尚ナルヲ遜ニ耶蘇教ノ右ニアレハ宣教師ノ日本ニ來リテ人民ノ思想ニ驚クハ實ニ道理アリト云フ可シ

英國龍動紀行ノ部

第三百 龍動ノ人口ハ市中ノ内外ヲ合セテ三百八十一萬四千五百七十一人ナリ故ニ大數四百萬ト稱ス而シテ寺院ノ數(耶蘇教會堂)英國教宗ニ屬スルモノ八百、他ノ諸派ニ屬スルモノ六百、合セテ千四百ヶ寺アリ

國教宗 八百ヶ寺

「コングレゲーショナル」宗 二百四十ヶ寺

「バプテスト」宗 一百三十ヶ寺

「メソヂスト」宗 一百五十ヶ寺

羅馬宗 五十ヶ寺

第四百 龍動ナル寺院中其最モ名アルモノハ「ウエストミンスター、アペー」ト「セントポールカセドラル」ナリ此二者共ニ國教宗ニ屬ス「ウエストミンスター、アペー」ハ英

國第一ノ古刹ニシテ其最モ舊キ部分ハ紀元後九百八十五年（今ヲ去ルコト九百餘年前）ノ建設ニカ、ル「セソポトル、カセドラル」ハ管ニ英國中ノ最大寺院ナルノミナラズ歐米諸國中ニアル寺院中第三ニ位スル巨刹ナリ即チ以太利國羅馬ニアル「セソベートル」寺ヲ以テ第一トシ同國「ミラン」ニアルモノヲ第二トシ其次ハ此寺ナリ其堂内ノ前後ノ長ハ五百尺、左右ノ長（最モ廣キ部分）ハ二百五十尺、堂ノ高三百六十三尺ナリ此寺建築費ノ内七十四萬七千九百五十四磅（我金四百八十萬圓）ハ龍動市中ニ輸入セル石炭ニ稅ヲ課シテ收入セルモノナリト云フ非國教宗中最モ大ナル寺院ハ「バチスト」宗ノ「メトロポリタン、クバナクル」寺ナリ其堂内ニハ六千人ノ參詣ニ充ツヘキ座位アリ

第百五 國教宗ノ制規ニヨルニ婦人子ヲ産スレバ先ツ其子ヲ寺ニ送リ洗禮式ヲ受ケ法號ヲ賜ハル其後産室ヲ離ル、ニ當リテ母自ラ禮參トシテ寺ニ詣スルヲ例トス猶ホ我邦ノ宮參リノ如シ其ノ子長シテ十四五歳ニ至レバ又寺ニ參リ「コソフホルメーシ

ヨン」ト名クル禮式ヲ受クルヲ例トス其式我邦ノ冠禮ニ比スベシ之ヲ行フノ法ハ教正アリテ「ヨシヲホルメーシヨン」ヲ受クヘキ人ノ頭上ニ其手ヲ加ヘ誓詞ヲ誦スルナリ

第百六 西洋ノ風習トナシテ出産ノ時贈品ヲナスノ例ナシ唯毎年誕生日ニ多少ノ物品ヲ贈呈スルノミ故ニ人ノ誕生日ハ人皆之ヲ記臆ス而シテ人ノ死日ハ父母ノ死日ト雖モ記臆スルコト至リテ希レナリ是レ大ニ日本ト其風習ヲ異ニスル所ナリ

第百七 西洋ニハ男女結婚ノ前ニ結婚約束ヲナスコトアリ之ヲ婚約ト云フ此約ヲ證スル爲メ指環ヲ男ヨリ女ニ與フルヲ例トス之ヲ婚約指環ト云フ既ニ結婚スレバ結婚指環ヲ與フルナリ結婚指環ハ純金ニシテ裝飾ナキモノヲ用フ此指環ヲ與フルノ例ハ羅馬時代ノ舊風ニシテ其風ノ流レテ耶蘇教ニ入りシモノナリト云フ

第百八 國教宗ノ制規ニヨルニ男女結婚ヲ約スルモノハ其結婚ノ期日ニ先チテ（通常五週間前）之ヲ其檀那寺ニ報知シ其寺ニテ毎日繼續キテ三回禮拜ノ節之ヲ聽衆ノ前ニ報告シ異見故障アルモノハ其事情ヲ任職ニ通知スルヲ例トス此例ヲ「バシメ」ト

云フ若シ「パンズ」ヲ好マザルモノハ大教正即チ管長閣下ニ願書ヲ上ルヲ要ス之ヲ「マリージ、ライゼンス」ト云フ非國教宗ニ屬スルモノハ此ノ如キ手續ヲ履ムヲ要セズ唯結婚ノ當日其檀那寺ニ到リテ儀式ヲ執行スルヲ以テ足レトス若シ寺院ニテ結婚スルコトヲ好マサルモノハ區役所若シクハ巨長役場ヲ經テ結婚ヲ執行スルコトアリ之ヲ「シビル、マリージ」ト云フ

第百九 國教ノ制規ニテハ結婚儀式執行ノ時間ハ當時朝八時ヨリ午前三時迄ヲ限リトス然シテ通例朝八時ヨリ正午十二時迄ノ間ヲヨシトス葬式ハ之ニ反シ必ズ午後ニ執行スルナリ三時前後最モ多シ

第百十 結婚ノ當日ハ新郎先ツ豫メ期スル所ノ寺院ニ到リテ新婦ノ來ルヲ待ツ其時音樂ヲ奏ス新婦ハ其父ト共ニ堂内ニ入り禮壇ノ前ニ到リテ止ル新郎ハ其右ニ立テ父ハ其左ニ立テ僧ハ其前ニ立テ新婦付添ノ婦人ハ其背ニ立ツ時ニ僧經文及ヒ誓文ヲ執リテ之ヲ誦シ新夫婦之ニ和ス已ニシテ結婚指環ヲ新郎ヨリ新婦ニ與ヘ兩人各結婚ノ

誓文ヲ誦ス儀式ノ時間凡ソ三十分ナリ終リテ住職ノ休息室ニ到リ各帳簿ニ記名シテ結婚ヲ證ス其後兩人同車シテ新婦ノ父母ノ家ニ到リテ朝餐ノ席ニ就ク其席ニハ兩人ノ親戚朋友其他寺院ノ住職モ列スルナリ食事ハ冷肉ノミヲ用ヒ美菓ヲ其兩人ノ前ニ置ク之ヲ結婚菓子ト稱ス新婦庖丁ヲ執リ此菓子ヲ分割スルヲ禮トス食事終リ次第兩人ハ旅服ヲ着ケ旅行ニ就ク此旅行ノ事ヲ甘月ト稱ス之ヲ結婚儀式ノ大要トス

第百十一 甘月旅行ハ新夫婦兩人ノミニテ之ヲ約シ其何レノ處ニ遊ビ何日間滞在スル等ノ事ハ毫モ父母親戚ニ告グザルヲ例トス兩人出發ノ後ハ其不在ノ宅ニアリテ當日ノ夜更ニ宴會ヲ張リ或ハ歌ヒ或ハ躍リ以テ婚儀ヲ祝スルナリ其翌日結婚菓子ヲ分配シテ親戚朋友ノ家ニ送呈スルヲ例トスト云フ

第百十二 日本ニテハ結婚式ノ祝宴ハ新郎ノ父母ノ宅ニ於テ行ヒ西洋ニテハ新婦ノ父母ノ宅ニ於テ行フノ別アリ

第百十三 西洋ニテ葬式ノ風ハ亦日本ト異ナリ先ツ死人ノ取扱方ハ市中ニアル葬儀

取扱人ニ命シテ行ハシム之ヲ「アンダーターカー」ト云フ故ニ死人アルハ必ず其取扱人ニ報知スヘシ然ルモ其大小一切葬式ノ始末寸分モ眷屬親戚ノ手ヲ煩サズシテ辨スルコトヲ得ルナリ

第百十四 英國ノ埋葬場ハ會社ニテ所有スルモノ多シ會社ニテ豫メ地面ヲ買入レ其一部分ヲ埋葬者ニ賣渡スナリ凡ソ長七尺幅三尺位ノ地面ニテ壹人前ニ相當スル埋葬地龍動ニテハ四百圓位ノ價ナリ棺ハスベテ臥棺ニシテ長六尺横二尺半厚壹尺位ナリ地面ハ極メテ深ク掘リ一家一族ノ棺ヲ數重ニ合葬スルナリ其地面ノ上ニ石碑ヲ立テ之ニ埋葬セルモノ、名ト年月ヲ刻スルナリ

第百十五 埋葬所ノ一隅ニ衆人合葬ノ地ヲ設ク之ヲ「ボーパー」ト云フ貧民ヲ葬ムル所ナリ此地面ニ葬ムルモノハ少々ノ金額ヲ出セバ足レリ

第百十六 埋葬場ノ前ニハ必ず花屋ト石屋アリ東京ノ谷中ニ異ナラズ親戚朋友時々埋葬場ヲ訪ヒ墓所ヲ掃除シ花ヲ献スル等亦我邦ノ風習ニ異ナラズ

第百十七 埋葬場ノ中央ニ寺院アリ棺ハ先ツ此寺院ニ送リ僧侶來リテ讀經ス次ニ墓所ニ到ル僧侶又讀經ス樂器ヲ用ヒズ之ヲ通常ノ葬式トス讀經ノ時間ハ前後併セテ二十分位ナリ

第百十八 中等以上ノ葬式ニハ醫師ノ馬車行列ノ終リニ加ハルヲ例トス但シ其馬車ハ空車ナリ

第百十九 西洋ノ耶穌教ハ現世ノ儀式ノミヲ支配シ日本ノ佛教ハ死後ノ儀式ノミヲ支配スルノ別アリ例ヘバ耶穌教ノ儀式ハ人ノ誕生ノ時ニ始マリ冠婚白リ葬式ニ至リテ終ル更ニ死後ノ祭典供養ヲナスノ儀式ナシ佛教ハ之ニ反シテ其儀式葬時ニ始マリ死後ノ祭典供養ヲ主トス而シテ現世ノ儀式ハ我邦ニテハ神道ノ主トスル所トナレリ  
第百二十 父母ヲ慕ヒ死人ヲ懷フノ情ハ西洋人甚ダ薄ク東洋人甚ダ厚シ父母ノ葬儀ノ如キ唯目前ニ哀ヲ呈スルノミニテ其心却テ喜フノ類往々之レアリト云フ葬式終リハ皆家ニ歸レバ父母ノ遺言ニ從フテ財産ヲ分配スルヲ常トス其時一族兄弟ノ間ニ爭

論ヲ起シ哀泣ノ聲忽チ變ジテ罵詈ノ聲トナルノ例屢々聞ク所ナリ且ツ人各其父母ノ財産ノ分配ヲ欲シテ心竊ニ父母ノ死期ノ早カランコトヲ祈ルガ如キ弊亦少カラズト云フ

第百二十一 夏夜人ノ涼ヲ戶外ニ迎ヒ街上ノ往來極メテ雜沓ナルノ際ニ當リ寺院ノ僧侶ハ俗人中ノ篤志ナルモノニ許シテ街上説教ヲナサシムルコトアリ

第百二十二 英國ナル耶蘇教諸宗派中ノ最モ異風ナルモノハ「サルベージョン、アーム」ト稱スルモノナリ其組織全ク軍制ニ倣ヒ群ヲ成シ隊ヲ成シ將アリ佐アリ或ハ行軍シ或ハ屯集シ以テ布教傳道ヲナス實ニ異風ト謂フヘシ當時其隊中ニ加名スルモノ三十万人隊數二千百五十八隊アリト云フ

第百二十三 耶蘇教者曰ク耶蘇教ノ他教ニ勝ル所以ノモノハ愛ヲ以テ教ノ根本トスルニアリ政教子曰ク孔子ハ仁ヲ以テ道ノ体トシ釋迦ハ慈悲ヲ以テ教ノ本トス仁ト慈悲ト愛トハ其名異ナルモ其實同キニアラズヤ

第百二十四 政教子曰國教宗ノ僧ニ面シ問フテ曰ク貴宗ノ僧侶ハ國會議員ニナルコトヲ得ルヤ僧答ヘテ曰ク教正ハ上院ニ列席スルコトヲ得ト雖モ一寺ノ住職タルモノハ撰舉權ヲ有シテ被撰舉權ヲ有セズ他日非國教宗ノ僧侶ニ面シ問フテ曰ク非國教宗ノ僧侶ハ國會議員ニナルコトヲ得ルヤ僧答テ曰ク撰舉權及ヒ被撰舉權ヲ有スルコト町村ノ人民ニ異ナラズ重テ問フテ曰ク國教宗ノ僧侶ハ被撰舉權ヲ有セズ而シテ貴宗ノ僧侶ハ撰舉權ヲ有スルハ如何僧曰ク國教宗ハ二十六人ノ教正上院ニ列席スルヲ以テ別ニ國會議員トナルヲ要セズ且ツ國教宗ノ寺院ハ政府ノ役所ノ一部分ノ如ク住職ハ官吏ノ一人ノ如ク政府ノ保護ヲ受クルト雖モ我宗ハ更ニ政府ノ保護ヲ受ケス其僧侶ハ純然タル平民ノ資格ヲ有スルモノナリ故ニ其國會議員トナルノ資格モ亦平民同様ナラザルベカラズ

第百二十五 英人某曰ク佛教ニ三位ニ辨説アリヤ政教子曰ク三位ニ辨説ハ印度ノ説ナリ佛教中固ヨリ其説アリ耶蘇教ノ三位ニ辨説ハ印度ノ舊説ヲ取ルモノナリ其天帝

主宰說モ萬物創造說モ皆印度ノ舊說ナリ「バイブル」中ニ見ル所ノモノ多クハ印度ノ經文中ニ見ル所ノモノナリ新約全書中ニ記載セル同一ノ事項ノ佛經中ニ存スルハ比較宗教學者ノ大ニ疑ヲ抱ク所ナリ佛敎ハ耶蘇敎ノ前ニ出ツ而シテ其說符合スル所アルハ甚ダ奇怪ナラズヤ英人之ヲ信ゼズ因テ政敎子英國學士ノ著ハセル一書ヲ出シテ之ヲ示ス某曰ク余始メテ此事アルヲ聞ク佛敎ノ由テ來ル所遠シ何ソ知ラン耶蘇敎ハ佛敎ノ卵中ヨリ化生セルヲ

第百二十六 英人某問テ曰ク聞ク日本人民ハ大半印度ノ佛敎ヲ奉信スト果シテ然ルヤ政敎子曰ク日本ニハ日本ノ佛敎アルノミ印度ノ佛敎アルヲ聞ガズ英人怪テ曰ク日本ノ佛敎ハ印度ノ佛敎ニアラズヤ曰ク其初メハ印度ヨリ傳來セルモ日本ニ傳リテ以來千餘年ヲ經過シ其間大ニ發達進化シテ已ニ念佛宗、法華宗ノ如キ天然ニモ支那ニモ聞カザル宗旨ヲ日本ニ見ルニ至ル故ニ余ハ之ヲ日本ノ佛敎ト云フナリ例ヘバ耶蘇敎ハ其初メ亞細亞ノ西部ニ起リシモ今日ニ至リテハ英國ニハ英國ノ耶蘇敎アリ米國

ニハ米國ノ耶蘇敎アリ誰カ英國ノ耶蘇敎ヲ指シテ亞細亞西部ノ耶蘇敎ナリト云フモシアラシヤ然リ而シテ今日我邦ニ流布セル耶蘇敎ハ西洋ノ耶蘇敎ト謂フ可シ未ダ日本ノ耶蘇敎ト云フ可ラズ何者米國ヨリ傳來セル耶蘇敎ハ米國ノ耶蘇敎ヲ撰寫セルモノニシテ其教義儀式教會ノ組織等皆米國ニアルモノト同一ナルノミナラズ日本ノ教會ハ大抵皆米國教會ノ附屬支會ニシテ或ハ彼國ノ傳敎師ヲ戴キ或ハ彼人民ノ扶助金ヲ仰クモノナリ又羅馬宗ノ如キハ佛國羅馬宗ノ支會ニシテ希臘宗ノ如キハ魯國希臘宗ノ出張ナリ故ニ日本ニハ日本ノ佛敎アリ未ダ日本ノ耶蘇敎ナシト謂フベシ

第百二十七 政敎子佛敎宗ノ教會ノ龍動市中ニアルヲ聞キ一夕之ヲ訪フテ會主ニ面ス會主曰ク此教會當府下ニ開キテ以來僅々數年ヲ出アスト雖モ十餘箇ノ分會ヲ英國中ニ設立スルニ至レリ實ニ非常ノ進歩ト謂フベシ毎週木曜日說敎會ヲ此會堂ニ開ク聽衆五十名ニ下ラズ米國、佛國等ニモ同主義ヲ以テ教會ヲ設立スルモノアリ皆會員日ヲ退フテ増加ス嗚呼佛敎西洋ニ流行スルノ機運已ニ熟セリト別ニ臨ミテ會主又曰

ク我ハ眞ニ佛教ヲ奉スルモノナリ我ハ佛教獨リ眞理ノ宗教ナリト信スルモノナリ我ハ畢生ノ力ヲ盡シテ佛教ヲ擴張セント欲スルモノナリ君請フ疑フコト勿シト其銳意熱心實ニ感スベシ

第二百二十八 人間フア曰ク佛教ノ諸宗ハ皆別主義ヲ以テ宗則トシ耶蘇教ノ諸宗ハ一主義ヲ以テ宗則トスルハ如何政教子曰ク耶蘇教ノ諸宗ハ一主義ナリト云フモ各宗多少其宗義ヲ異ニス其中主義ノ全ク相異ルモノハ「ユコナリヤン」宗「クエカー」宗ナリ佛教ノ諸宗各主義ヲ異ニスト云フモ淨土宗ト眞宗ハ其本經一ナリ天台宗ト日蓮宗ハ其本經一ナリ然レモ若シ兩教ヲ較スルキハ佛教ノ方別主義ノ宗多シ是レ釋迦ノ本意ニシテ其言ニ我ハ大醫王ナリ病ニ應シテ藥ヲ與フト云ヘリ即チ人ノ病症一ナラザレバ之ヲ治スル藥亦一ナラズ一方ヲ以テ萬病ヲ治スルコト能ハズ今我人ノ性質生來各別ナリ萬人ニハ萬人ノ心アリ智者アリ無智アリ銳利ナルモノアリ魯鈍ナルモノアリ若シ此人ヲシテ同一ニ涅槃ノ樂地ニ至ラシメント欲セハ其説ク所ノ法、智慧利鈍ニ

應シテ異ニセザルチエズ是レ釋迦ノ其教ヲ説クニ當リテ種々ノ宗義ヲ立テタル所以ナリ

第二百二十九 友人某耶蘇教者ノ家ニ遊ブ耶蘇教者曰ク世界中種々ノ宗教アリト雖モ耶蘇教ニ若クモノナシ歐米今日ノ文明ト云ヒ國勢ト云ヒ人民ノ道德品行ト云ヒ社會ノ風俗習慣ト云ヒ其之ヲ東洋ニ比シテ大ニ懸隔スル所アルハ全ク耶蘇教ノ力ニヨラザルハナシ友人曰ク英國ハ耶蘇教國ナリ龍動ニ住スル人民ハ耶蘇教國ノ人民ナリ此一府中ニアル寺院及ビ僧侶共ニ千ヲ以テ數フ其寺院ハ人民ヲ保護セサルニアラズ其僧侶ハ人民ヲ訓導セサルニアラズ而シテ市中ノ罪人惡徒日ニ増シ月ニ加ハリ人ヲ殺シテ利ヲ逞フスルカ如キ惡賊アルハ屢々新聞上ニ見ル所ナリ我邦ハ耶蘇教國ニアラズ我人民ハ耶蘇教人民ニアラズト雖モ罪人惡徒此ノ如ク多カラス耶蘇教者ハ世人ノ品行道德ヲ振起スト云フモ其力罪人惡徒ヲ感化スルコト能ハザルカ是レ我カ甚ダ感フ所ナリ耶蘇教者曰ク君ノ論眞ニ然リ余此點ニ至リテハ一言以テ答フルコト能ハズ



第百三十 政教子曰ク耶蘇教一變ズンバ「ユニテリヤン」宗ニ至ラン「ユニテリヤン」宗一變ズンバ佛教ニ至ラン

第百三十一 政教子曰ク耶蘇教中其儀式ノ佛教ニ近キモノハ羅馬宗及ヒ希臘宗ナリ其教理ノ佛教ニ近キモノハ「ユニテリヤン」宗及ヒ「クエーカー」宗ナリ

第百三十二 政教子曰ク耶蘇教信者ニ面會ス信者曰ク君何ソ耶蘇教ヲ信セザルヤ政教子曰ク余耶蘇教ヲ信セシト欲スルコト久シ而シテ未ダ一人ノ余ニ向フテ其信スベキ所以ヲ説明スルモノアラズ信者曰ク我レ能ク君ノ爲メニ之ヲ説明セン而シテ其説明ハ唯「バイブル」中ニ説ク所ノ奇跡怪談ヲ反覆スルノミ因テ政教子曰ク君ノ説明ハ「バイブル」ノ講釋ニシテ是レ「バイブル」ヲ以テ「バイブル」ヲ證示スルモノナリ而シテ余ガ要スル所ノ説明ハ「バイブル」ヲ離レテ「バイブル」ヲ證示スルヲ云フ信者乃チ耶蘇教ヲ奉スル國ハ富強ニシテ他教ヲ奉スル國ハ貧弱ナルノ例ヲ舉グテ神ハ其信者ヲ愛護スルコト此ノ如シト云フ政教子曰ク嗚呼是レ何ソノ説明ソヤ耶蘇教ヲ奉ス

ル國ハ皆富強ナリト云フキハ其諸國ハ皆同一ニ富強ナルヘキ理ナリ然ルニ耶蘇教國中英、佛、獨、魯、米ハ富強ヲ以テ名アリト雖モ西班牙、葡萄牙、希臘、白耳義等ハ富強ト稱シ難シ而シテ其富強ナラザルモノ耶蘇教ヲ信スルコト必ズ富強ナルモノヨリ湖キニニアラズ例ヘバ佛蘭西ト西班牙トヲ較スルニ佛蘭西ハ耶蘇教ヲ信スルコト必ズ厚ク西班牙ハ必ズ薄キニアラズ若シ新教ノ國ハ富強ニシテ舊教ノ國ハ富強ナラズトスルキハ彼ノ佛國モ澳國モ以國モ皆舊教ノ國ニシテ和蘭、瑞西、暹國ハ新教ノ國ナルハ如何若シ更ニ之ヲ一箇人ノ上ニ考フルキハ耶蘇教ヲ信スル人ハ終身神ノ愛護ヲ受テ信セサル人ハ神罰ヲ受クベキ理ナリ然ルニ西洋人中神ヲ信スルモノ必ズ幸福ヲ得、信セザルモノ必ズ不幸ニ遇フノ實證ナキハ何ソヤ是レ因テ之ヲ觀ルコト君ノ所謂耶蘇教ヲ信スル國ハ必ズ神ノ愛護ヲ得テ富強トナルノ説甚ク疑ハサルヲ得ズ信者答フルコト能ハズシテ曰ク他日君ノ家ヲ訪フテ應答セント而シテ遂ニ來ラズ

第百三十三 英國人某曰ク日本人ハ其妻ヲ稱シテ愚妻ト呼ヒ其家ヲ指シテ弊屋ト呼

ト云フ豈愚ナラズヤ政教子曰ク猶ホ英國人ガ其書翰ノ終リニ我ハ君ノ奴僕ナリト云フテ文ヲ結フノ愚ト同一ナリ

第百三十四 或人斬髮所ニ入ル斬髮師曰ク足下髮ヲ長クスルヲ好ムカ將ク短クスルヲ好ムカ曰ク汝ノ力能ク我カ髮ヲシテ長クスルコトヲ得バ請フ之ヲ長クセヨ斬髮師答フルコト能ハズ政教子曰ク日本ニテ斬髮所ニ入ルモノヲ斬髮師ニ命シテ曰ク我天窓ヲ斬レト斬髮師其命ノ如ク頭ヲ斬ラハ如何

第百三十五 政教子曰「ヨングレゲーシヨナル」宗ノ僧ヲ訪ヒ其宗ノ主義各寺皆獨立ヲ唱フル以上ハ各寺ノ制度儀式一定セザルベキ理ナリ然ルニ實際上各寺皆一定ノ制度儀式ヲ用フルハ如何ナル道理ニヨルヤ甚ク解シ難シ其僧曰ク猶ホ世間ニテ食事ノ時間一定スルガ如シ食事ノ時間ハ決シテ法律上一一定セルニアラズ故ニ固ヨリ各自ノ意ニ任シテ然ルベシト雖モ世間一般午前八時ニ朝飯ヲ食シ十二時ニ晝飯、夕六時ニ晩飯ヲ食スル様ニ一定スルト同一ナリ

第百三十六 龍動ハ十一月ヨリ二月ニ至ル迄凡ソ四ヶ月間ハ黒烟四方ニ遮キテ終日影ヲ見ズ甚シキニ至リテハ四隣燈ヲ點シ晝晝モ暗夜ノ如シ政教子曰ク此魔霧猶ホ能ク人民ヲ教育スルノ力アリ蓋シ英人ノ性タル街上ノ遊ヲ好マス日業終レバ必ズ家ニ歸リ父母ノ諸佛ト妻子兄弟ノ菩薩ト一室ニ相會シ互ニ其懷ヲ放チ互ニ其歡ヲ話リ一場ノ極樂界ヲ開クカ如キハ全ク戶外ノ氣候ノ人身ノ健康ニ適セズ街上ニアリテ愉快ヲ取ルコト能ハザルニヨル

第百三十七 政教子曰龍動ナル博物館ニ遊ヒ其館内ニ陳列セル古今万国ノ諸品諸物ヲ見テ曰ク是レ英國人民ノ學校ナリ人民此館ヲ一見スルキハ其見聞ヲ博クシ其知識ヲ進ムルコト殆ント計ル可カラザルナリ今日英國人民ノ教育ノ進ムルハ決シテ學校ノ教育ニ限ルニアラズ此ノ如キ陳列場ニ入リテ受クル所ノ教育ノ力最も多キニオ

第百三十八 龍動ノ博物館内ニ佛像ヲ蒐集セル一部分アリ其中ニ左ノ種類アリ

木像 三十種 金像 三種 陶像 三種  
畫像 三種 其他佛器佛具經文

第百三十九 西洋ニハ近年大ニ東洋學ヲ研究スルニト流行シ之ニ關スル書類諸方ニ於テ發行スルニ至ル今龍動「トリビニナル」書肆ノミニテ發行セルモノヲ擧グルニ  
(一昨年發布セル書目表ニヨル)

日本ノ言語文學ニ關スルモノ

十八部

支那ノ言語文學ニ關スルモノ

七十七部

印度ノ言語文學ニ關スルモノ

三百九十七部

東洋ノ宗教(佛敎儒敎回教等)ニ關スルモノ

九十九部

ナリ印度ノ言語文學書ノ中ニハ佛敎ノ文學書モ混入セリ

第百四十 政教子一曰英文ニテ日本ノ事情ヲ批評セルモノヲ讀ミ其中ニ日本國王ノ祖先ハ神ニシテ天ヨリ降りタルモノナリ故ニ今ニ至リテ國民一般ニ天皇ヲ呼ビテ天

ノ子ト稱スト云フ一尙アルヲ見ル西洋人ノ日本ノ事ヲ解スル往々此ノ如キ誤謬アルヲ免レズ故ニ西洋人ノ評論盡ク信ヲ置クベカラズ

蘇國紀行ノ部(附愛爾蘭)

第四百十一 蘇國教宗ニハ十三中會議區、八十四小會議區アリ而シテ住職ノ數一千六百六十人ナリ蘇國非國教宗ニハ「フリーチャルチ」ト「ユナイテッド・プレスビテリアン」ノ二宗アリ前者ハ十六中會議區、七十三小會議區、一千百四十一住職ヲ有シ後者ハ三十三小會議區、五百九十八住職ヲ有ス

第四百十二 蘇國教宗ハ毎年國稅、寺領地等ヨリ得ル所ノ金總計平均三十五万磅(二百三十万圓)其他一千八百四十五年以后創立セル寺院ノ建築費及ヒ人民ノ寺院ニ寄附セル土地家屋等ノ代價合計二千百万磅(一億四千万圓)ナリ以上ノ入金ノ外一千八百八十七年中ノ表ニヨルニ有志ノ喜捨金(賽錢志納ノ類)三十二万二千〇五十八磅、座科(寺院内ノ席稅)六万三千四百四十七磅ナリ

第四百十三 蘇國非國教宗中「フリーチャルチ」宗ノ一年ノ收入悉皆總計(一千八百

八十七年中)五十九万二千八百五十五磅(三百八十万圓)此四十年間ニ徵募セル宗教  
資本金一千八百五十万磅(一億二千万圓)ナリト云フ

第四百四十四 蘇國ノ日曜ハ嚴重ヲ以テ名アリ市中ノ諸商店ハ固ヨリ盡ク閉鎖シ家ニ  
アリテモ高聲ニテ談話スルヲ禁シ宗教書類ヲ除クノ外當日讀書スルコトヲ禁ス故ニ  
英國ニテ日曜ノ靜謐ナル時ハ之ヲ稱シテ蘇國日曜ノ如シト云フ

第四百四十五 人アリ蘇格蘭ヨリ來リテ曰ク彼地ノ日曜ハ至テ嚴重ニシテ一人モ業ヲ  
取ルモノナシト政教子曰ク蘇國ノ日曜何程嚴重ナルモ人皆業ヲ休ムコト能ハザルベ  
シ商工等ハ業ヲ取ラザルモ寺院ニアル僧侶及ビ世話人ハ當日却テ多事ナリ

第四百四十六 蘇國ノ結婚式ハ英國ト稍異ナリ結婚ヲ行フモノ必ズシモ寺院ニ到ルヲ  
要セス寺院ノ僧侶ヲ招キ私宅ニアリテ執行スルコトアリト云フ

第四百四十七 蘇國教宗ノ大會議ハ先ツ英國女王ヨリ之ヲ開會スベキ旨ヲ蘇國ノ貴族  
ニ傳ヘ貴族ハ女王ノ代理者トナリテ開カシムルナリ

第四百四十八 愛爾蘭ハ當時國教ノ名稱ヲ有スルモノナシ但シ人民ノ大半羅馬宗ヲ奉  
ス羅馬宗ニハ四人ノ大教正二十三ノ人ノ教正アリテ僧侶ヲ管理ス教正死スルキハ其相  
續者ヲ撰定スルノ法先ツ其管轄配下ノ僧侶一名ヲ指名シテ之ヲ相續者トナサンコト  
ヲ羅馬法王ニ奏願ス而シテ國內ノ教正ハ別ニ二三名ノ相續者ニ適當ナルモノヲ認定  
シテ法王ニ上申ス然ルキニ法王ハ之ヲ法嗣會(以太利ノ部ヲ見ルヘシ)ノ共議ニ附シテ撰定スルナ  
リ

第四百四十九 愛國ノ羅馬宗僧侶ハ其生計ノ一半ハ奉職ノ給料ヨリ出テ一半ハ耶蘇降  
誕及ビ昇天日等信徒ヨリ献納セル布施其他葬婚等ノ節得ル所ノ謝禮ヨリ出ツルナリ

# 廣告

井上圓了著

## ●佛教活論本論

第一篇

## 縮刷

定價壹部金二十五錢  
郵稅十錢

右ハ今般購讀者ノ便ヲ計リ二千部縮刷致シ低價ニテ販賣可仕壹部定價二十五錢ト相定候縮刷製本ハ九月十五日迄ニ成來可仕候間至急御申込可被下候  
井上圓了著

## ●佛教活論序論縮刷

定價壹部金拾錢

右ハ先般二千部縮刷致候處昨年中ニ悉皆賣切久ク御注文謝絶致居候然ルニ今般更ニ二千部縮刷致當八月中ニ製本出來上候間至急御注文可被下候  
東京本郷六丁目

右發行所

哲學書院

哲學書院發行書籍目錄

- 經濟學士 フレデリック・バスターフ 原著  
 高等商業學校教諭文學士 土子金四郎譯  
 ○經濟調和論 第一冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢  
 第二冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 高等商業學校教諭文學士 土子金四郎著  
 ○酒落哲學 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 經濟學大意 全壹冊 定價金五拾錢 郵稅同拾貳錢  
 論 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同六錢
- 文學士 井上圓了著  
 ○佛敎活論序論 全壹冊 定價金四拾五錢 郵稅同拾六錢  
 ○佛敎活論本論 第一冊 定價金四拾五錢 郵稅同拾六錢  
 第二冊 定價金五拾錢 郵稅同拾六錢
- 心理摘要 全壹冊 定價金拾五錢 郵稅同四錢
- 宗教新論 全壹冊 定價金拾五錢 郵稅同四錢
- 哲學要領 全貳冊 前定價金廿五錢 郵稅同拾貳錢  
 後編 定價金三拾五錢 郵稅同拾貳錢
- 文科大學長文學博士 外山正一著  
 ○社會結合の三大一 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 統露西亞の大恩 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 高等師範學校教諭文學士 國府寺新作者  
 ○教育學講義 全壹冊 定價金六拾錢 郵稅同拾六錢
- 石川善三郎著  
 ○宗教哲學 全壹冊 定價金五拾錢 郵稅同拾錢
- 文學士 濱田健二郎著  
 ○副假字法規 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同八錢
- 言語哲學 全壹冊 定價金五拾錢 郵稅同拾貳錢
- 本古代通貨考 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 大藏主計官兼海軍教授文學士 坂谷芳郎述  
 ○經濟學史講義 全壹冊 定價金壹圓 郵稅同貳拾四錢
- 宮中顧問官四村茂樹著  
 ○再版 日本道德論 全壹冊 定價金五拾錢 郵稅同拾錢

- シイシイ・テロドリツタ 原著  
 內務省非常文學士 久米金彌譯  
 ○國地方政治論 全壹冊 定價金七拾錢 郵稅同貳拾錢
- トーマス・ム、リンドセル 原著  
 文學士 平沼淑郎譯  
 ○論理史評 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同六錢
- トーマス・ワレ 原著  
 五校 譯  
 ○國家學要論 全壹冊 定價金八拾錢 郵稅同貳拾錢
- 寺田 福壽譯  
 ○人道敎初步 全壹冊 定價金四錢 郵稅同四錢
- 中山 理賢著  
 ○佛門立志編 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同六錢
- 英國彌兒原著  
 元老院議員四周譯  
 ○利學 全貳冊 定價金壹圓 郵稅同拾八錢
- 鳴地 默齋撰  
 ○冠徒然草抄錄 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同六錢
- 尾崎 碩南著  
 ○方鑿大成 全三冊 正價金七拾錢 郵稅同貳拾六錢
- 川島 純幹著  
 ○GLORIOUS FRIENDS. 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同六錢
- 荷雁逸史著  
 ○競艇必勝之策 全壹冊 定價金五錢 郵稅同貳錢
- 帝國大學印行  
 ○水上運動必携 全壹冊 定價金貳錢 郵稅同貳錢
- 法學士 林田昭太郎校正編輯  
 ○英國憲法及政治問答 全壹冊 定價金三拾錢 郵稅同八錢
- 文學士 土子笑面載著 文學士 春の屋齋譯  
 ○話術新論 全壹冊 定價金貳拾五錢 郵稅同八錢
- 樞密院議長伯爵伊藤博文著  
 ○帝國憲法義解 全壹冊 定價金四拾錢 郵稅同貳拾錢
- 皇學典義  
 ○歸納法論理學上卷 定價金九拾錢 郵稅同貳拾錢
- 清野 勉著







下篇目次

第百佛蘭西紀行(附瑞西班牙及葡萄牙)

第百五十一、 公認教及保護金

第百五十二、 佛國及教部省司

第百五十三、 無宗教者之數、主壽

第百五十四、 舊教寺院之堂內附屬

第百五十五、 手子清本地ノ例

第百五十六、 舊教新教何宗制

第百五十七、 耶穌教及非難スル書

第百五十八、 英佛人遊遊湖ハ

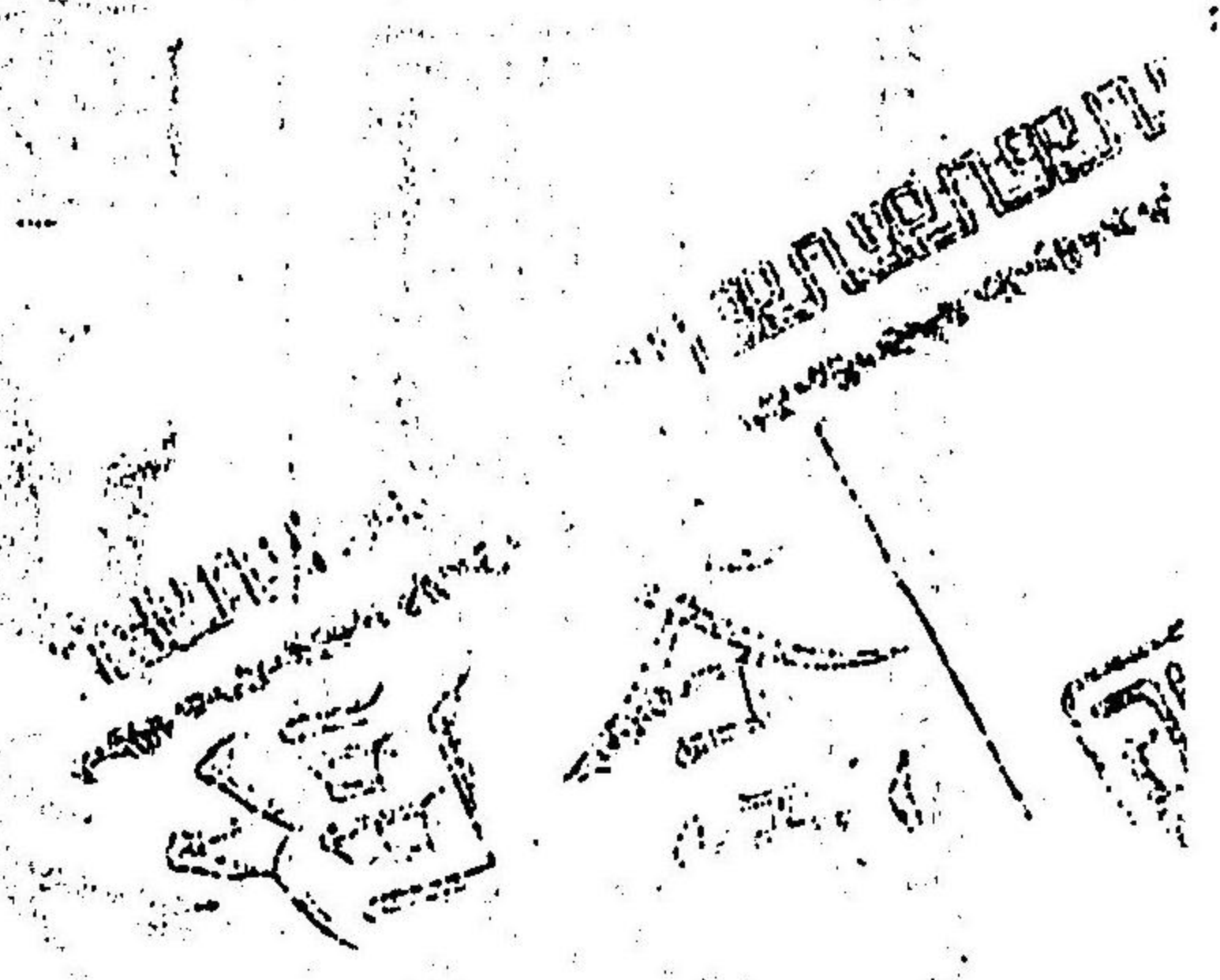
第百五十九、 英佛名稱反對語

第百六十、 馬牛ノ名稱及旅行

第百六十一、 金曜日及旅行

第百六十二、 火葬流行

第百六十三、 巴里ノ埋葬場



- 第六十四、墓地ノ價額
- 第六十五、羅馬宗葬式ノ景況
- 第六十六、棺車ヲ見送帽ヲ脱ス
- 第六十七、佛英結婚手續ノ相違
- 第六十八、結婚旅行ノ長短
- 第六十九、妻ノ血統ヲ問ハス
- 第七十、男女裸躰ノ像
- 第七十一、言語ノ混同
- 第七十二、巴里佛像博物館
- 第七十三、瑞士ノ宗教
- 第七十四、「カソビ」宗ノ組織
- 第七十五、「カソビ」宗ノ主義
- 第七十六、西班牙人ノ妄信
- 第七十七、西班牙ノ國會
- 第七十八、西班牙ノ事情
- 第七十九、葡萄牙ノ僧侶

- 第六十、以太利紀行以部(附希臘及土耳其)
- 第八十、以太利ノ教區及寺院
- 第八十一、法王參拜
- 第八十二、法王ノ本山
- 第八十三、法王ノ宮殿
- 第八十四、羅馬ノ名利舊所
- 第八十五、「カソビ」
- 第八十六、羅馬法王ノ歴代
- 第八十七、法王ノ參議
- 第八十八、法王ノ權定メル方法
- 第八十九、法老ノ數
- 第九十、羅馬宗ノ組織
- 第九十一、羅馬宗ノ賞罰法
- 第九十二、羅馬宗ノ集會
- 第九十三、羅馬市中ノ僧侶
- 第九十四、信徒ノ舉動

- 第九十五、常夜燈塔
- 第九十六、食事之禮式及精進
- 第九十七、僧侶之兵役
- 第九十八、寺院之所有地
- 第九十九、以太利、耶蘇教衰へタル原因
- 第一百、歐洲之飲食
- 第一百十一、希臘宗之組織
- 第一百十二、希臘宗之制規
- 第一百十三、希臘僧侶
- 第一百十四、希臘之僧坊
- 第一百十五、希臘之禮拜堂
- 第一百十六、希臘之寺院
- 第一百十七、土耳其之政府
- 第一百十八、回教之聖地
- 第一百十九、澳大利紀行以部(荷島王國)
- 第一百二十、澳大利紀行以部(公認教)

- 第一百二十一、寺院之保存金
- 第一百二十二、澳洲之憲法
- 第一百二十三、僧侶之服制
- 第一百二十四、道祖神
- 第一百二十五、維納之庵室
- 第一百二十六、澳洲之寺院僧侶
- 第一百二十七、印度之諸宗
- 第一百二十八、印度之希臘宗
- 第一百二十九、印度之寺院
- 第一百三十、印度之禮拜
- 第一百三十一、印度之儀式
- 第一百三十二、印度之羅馬宗
- 第一百三十三、印度之斷食
- 第一百三十四、印度之祭日
- 第一百三十五、印度之大寺院

- 第二百廿六、 潘宗我邦治スルノ不利
- 第二百廿七、 魯宗會堂ノ他邦ニアルモノ
- 第二百廿八、 獨逸紀行ノ部(附瑞典、暹國、和蘭、白耳義)
- 第二百廿九、 西洋人ノ女權
- 第二百三十、 西洋人ノ品行
- 第二百卅一、 佛蘭西ノ書
- 第二百卅二、 佛蘭西ノ禮壇
- 第二百卅三、 佛蘭西ノ禮拜
- 第二百卅四、 佛蘭西ノ葬式
- 第二百卅五、 柏林ノ墓
- 第二百卅六、 耶蘇處刑ノ相
- 第二百卅七、 耶蘇昇天ノ日
- 第二百卅八、 耶蘇處刑及昇天日ノ景況
- 第二百卅九、 耶蘇處刑ノシヨウノ式
- 第二百四十、 猶太教ノ儀式

- 第二百四十一、 耶蘇教今日ノ實況
- 第二百四十二、 耶蘇教者ト學者
- 第二百四十三、 西洋學流ノ一環
- 第二百四十四、 西洋發行ノ佛書
- 第二百四十五、 東洋學校
- 第二百四十六、 大學内ノ神學部
- 第二百四十七、 寺院學校
- 第二百四十八、 宗教小學
- 第二百四十九、 普國政府ノ保護金
- 第二百五十、 高僧ノ年給
- 第二百五十一、 國會土院ノ出席
- 第二百五十二、 佛蘭西ノ寺
- 第二百五十三、 佛蘭西ノ金
- 第二百五十四、 神道術
- 第二百五十五、 西洋婦人ノ髮
- 第二百五十六、 地獄ノ圖
- 柏林博物館内ノ佛像

- 第二百五十七、新教ノ改革ト其宗ノ改革
- 第二百五十八、獨國諸宗ノ信者
- 第二百五十九、瑞、暹、兩國ノ國教
- 第二百六十、和蘭政府ノ保護金
- 第二百六十一、宗旨政黨
- 第二百六十二、白耳義政府ノ保護金
- 第二百六十三、印度洋歸行ノ部
- 第二百六十四、文明ノ進步東ヨリ西ニ移ル
- 第二百六十五、流行品ノ交換
- 第二百六十六、歐洲各國ノ教部省
- 第二百六十七、僧侶ノ兵役
- 第二百六十八、僧侶被擢權
- 第二百六十九、英國ト大陸ト日曜ノ相違
- 第二百七十、世ニ眞ノ毒物ナシ
- 第二百七十一、船中ノ食味

- 第二百七十二、尼ノ手小兒ニ觸ル
- 第二百七十三、日本ノ家屋案外ニ美ナリ
- 第二百七十四、印度ノ風景
- 第二百七十五、支那人ノ贈詩
- 第二百七十六、香港ノ美ナラサルニ驚ク
- 第二百七十七、日本人ノ商法ニ適セス
- 第二百七十八、馬關ノ風景
- 第二百七十九、歐米各國ノ人口ト教徒ノ比較
- 第二百八十、英領印度ノ耶蘇教
- 第二百八十一、錫蘭島ノ宗教
- 第二百八十二、支那人ノ耶蘇教ニ入ルモノ
- 第二百八十三、全世界ノ耶蘇教徒
- 第二百八十四、全世界ノ佛教徒
- 第二百八十五、政教ノ關係ニ三種アリ
- 第二百八十六、我邦ノ政教ノ關係
- 第二百八十七、米國ト我邦ト事情ヲ異ニスル所以

№ 23808/22

第二百八十八、西洋、耶穌教國、チアラス、  
 第二百八十九、各國皆獨立ノ風、富ム、  
 第二百九十、一國ノ獨立ヲ維持スル三大機關  
 第二百九十一、哲學館ノ改頁

第二百九十二、  
 第二百九十三、  
 第二百九十四、  
 第二百九十五、  
 第二百九十六、  
 第二百九十七、  
 第二百九十八、  
 第二百九十九、  
 第三百、

歐米政教日記 下篇

井上圓了記

佛蘭西紀行ノ部(附瑞西、西班牙及葡萄牙)

自由ヲ許スヲ當時政府ノ公認ヲ得タルモノ羅馬宗新教派、  
 第五十 佛蘭西宗教  
 宗ノ四宗ノミ之ヲ公認教ト稱ス即チ其國ノ規則ニ信徒十萬  
 府之ヲ認定シテ公認教トスルト云フ此公認教ニハ政府ヨリ  
 每年若干ノ金ヲ賜フスルナリ即チ一千八百八十八年度ノ表ニヨルニ政府ニテ宗  
 教ニ與テ金ヲ賜フ

羅馬宗ニ 四千三百十二万六千七百〇五法(我金凡一千〇三十万圓)

新教派ニ 百五十五万一千六百法

猶太教ニ 十八万〇九百法

第五十

其他新教猶太兩宗禮拜所 四千法

「モシヨルマン」宗 二十一万六千三百四十法

其他行政上 二十五万一千法

合計四千五百三十六万六千五百四十五法(我金凡一千百三十四万圓)

第百五十一 佛國ハ其政府中ニ教部省ノ一部分アリテ其國ノ宗教ニ關スル事務ヲ管理スルナリ而シテ教部省ハ司法省ト相合シ司法兼教部省ト稱スルナリ

第百五十二 歐洲ニテ耶蘇教ノ次第ニ衰フル一例ハ其人民中自ラ耶蘇教ノ信徒ニアラサルコト明言スルモノ年一年ヨリ加ハルヲ見テ知ルヘシ已ニ佛國ノ如キハ一千八百八十一年十二月ノ統計表ヨリニ人民中宗旨ヲ定メサルモノ七百六十八万四千九百〇六人アリト云フ

第百五十三 佛國ハ羅馬宗ノ國ナレハ其寺院ノ大ナルモノ皆羅馬宗ニ屬ス其堂内ノ禮壇ニハ必ス十字架上ノ耶蘇像ト花瓶燭臺トヲ駢列シ其禮壇ノ背部ニ別ニ「マリー」

ノ女像ヲ安置セル一室アリ猶ホ我神社ノ奥院ノ如シ其堂ノ入口ノ傍ニハ洗禮室アリ小兒ノ洗禮ヲ行フ所ナリ

第百五十四 舊教ノ寺院ニテハ其入口ニ水ノ少量ヲ蓄ヘタル石器アリ參詣ノモノ先ツ指テ其水中ニ點シ十字ヲ胸ニ畫キテ神前ニ近クテ例トス猶ホ我邦ニテ神佛ニ詣スルニ手ヲ清ムルノ風習ニ相類ス

第百五十五 佛蘭西ノ耶蘇教ハ多ク「カルビン」宗ニ屬ス政教子一日巴里市中ニアル同宗ノ寺院ヲ觀ルニ堂内ニハ牧師ノ説教席アルノミニテ禮壇ナシ恰モ英國非國教宗ニ異ナラス唯説教席ノ後壁ニ十字ノ印アル幟ヲ垂レリ日曜禮拜ノ時間ハ一時十分ニシテ其中三十分間ハ説教ヲ當日參詣人ハ百二十九人アリテ其中九十八人ハ婦人三十一人ハ男子ナリ其年齡ハ十三三歳ノ子供又ハ四十以上ノ男女ニシテ皆下等ノ人物ニシ

第百五十六 佛國ノ舊教ニテハ十七八ノ大教正下六十九人ノ教正アリテ宗務ヲ管理



其國ノ新教ニテハ一宗内ノ會議ニヨリテ寺法ヲ議定スルナリ

第百五十七 英國ニテハ耶穌教ヲ非難スル書ハ今日ニ至リ従前ノ如ク甚シカラサル  
ハ尙ホ世間ニ行レ難キ傾キアリ佛國ニテハ耶穌教ヲ非難スル書却テ多數ノ購讀者ヲ  
得ルト云フ兩國間ノ耶穌教ノ盛衰推シテ知ルヘシ

第百五十八 英人ハ家ニアリテ樂ミ佛人ハ家ヲ出テ遊ブ

第百五十九 英國ニテハ一寺ノ長タルモノヲ「ビカー」ト云ヒ其補佐ヲナスモノヲ  
「キニレー」ト云フ佛國ニテハ一寺ノ長タルモノヲ「キニレー」ト云ヒ其補佐ヲナ  
スモノヲ「ビカー」ト云フ兩國ノ名稱正シク相反セリ

第百六十 佛蘭西ニテ下等ノ料理屋ハ馬肉ヲ牛肉ト稱シテ食セシムルト云フ政教子  
曰ク昔時ハ鹿ヲ指シテ馬ト云フ今時ハ馬ヲ指シテ牛ト云フ馬鹿ノ名稱是レヨリ變シ  
テ馬牛トナルヘシ

第百六十一 耶穌教國ノ人民ハ教祖耶穌ハ金曜日ニ死刑ニ處セラレタルヲ以テ一週

中獨リ此日ヲ稱シテ不吉トシ當日旅行ヲ忌ムノ風アリ故ニ每週金曜日ニハ瀛車ノ乘  
客甚ク少數ナリシ然ルニ近年同日ノ乗客次第ニ増加スルニ至レリ是レ耶穌教ノ妄信  
者次第ニ減少セルニ由ルト云フ

第百六十二 西洋ニテ従前ハ皆埋葬ノミヲ用ヒ火葬ハ絶テ用ヒザリシカ近年ニ至リ  
火葬漸ク行ハレ英國ニモ已ニ火葬場ノ設置アリ佛國ニテハ火葬ノ數次第ニ増加スル  
ト云フ

第百六十三 歐洲諸國中埋葬地ノ最モ美ナルモノハ巴里ノ埋葬場ナリ富メルモノハ  
墓ハ六疊敷位大ナル石堂ヲ建テ其中ニ拜壇ヲ設ケ花瓶燭臺寫眞油繪植木椅子等ヲ陳  
列セリ

第百六十四 巴里ニテ上等ノ墓地ハ一人前七百法(我金百七十五圓)ノ價ナリ七歳以  
下ノ子供ハ一人前其半額ナリ若シ年限ヲ定メテ買フキハ十年間限リ一人前百五十法  
(我金三十七圓五十錢)ナリト云フ

第百六十五 羅馬宗葬式ノ時ハ刷毛躰ノモノアリ之ヲ水ニ濕シ送葬ノモノヲシテ代  
ルノ其柄ヲ執リテ一二滴ヲ棺ノ上ニ振り掛ケシム恰モ我邦ノ各宗ニテ香燻ヲ出シ  
送葬者ヲシテ焼香セシムルニ異ナラス

第百六十六 巴里ニテ往來ノ人街上ニテ棺車ヲ見ルキハ皆帽ヲ脱シテ敬禮ヲナス善  
キ風習ト云フヘシ

第百六十七 英國教宗ニテハ各寺ノ住職ハ戸長役場ノ役人ニ代リ結婚者ノ姓名ヲ戸  
籍帳ニ登載スルノ權ヲ有ス故ニ其宗ノ者ハ戸長役場ニ結婚届ヲ呈出スルヲ要セス非  
國教宗ニテハ僧侶其權ヲ有セザレド結婚ノ節ハ戸長役人其寺ニ臨ミテ結婚者ノ姓名  
ヲ登記ス故ニ是レ又役場ニ届ケ出ルヲ要セス然ルニ佛國ニテハ結婚者必ス區役所若  
シハ戸長役場ニ至リテ記名スルヲ要ス而シテ後寺院ニ至リテ其式ヲ行フヲ例トス若  
シ役場ニ至ラサルハ其結婚ハ無功ニ屬スルナリ

第百六十八 西洋ニテハ結婚ノ時夫婦同伴シテ旅行スルハ上下一般ノ通俗ナレハ貧

富ノ別ナク必ス數日間旅行スルヲ例トス但シ貧ナルモノハ數日間ノ旅費ヲ辨スルコ  
能ハザレハ或ハ一夜間ノ旅行或ハ一日間ノ旅行ヲナスモフアリ例ハ朝ヨリ家ヲ出  
テ同所ノ公園若シハ近村ニ遊ヒ晚ニ至リテ歸ルモノアリト云フ

第百六十九 西洋人ハ馬ヲ買フニハ血統ヲ正シ妻ヲ迎フルニハ血統ヲ問ハス日本人  
ハ妻ヲ迎フルニ血統ヲ正シ馬ヲ買フニ血統ヲ問ハスト云フ妻ト馬ト孰シカ重要ナル  
ヤ

第百七十 西洋人ハ裸躰ハ野蠻ノ風ナリトテ痛ク之ヲ責メ而シテ繪畫及彫刻ニ男女  
裸躰ノ像多シ之ヲ見テ怪マサルハ何ソヤ

第百七十一 西洋ニアリテ日本人ト對話スルキハ往々日本語ト西洋語ヲ混同シテ意  
味ヲ聞キ誤ルコトアリ例ハ英國ニアリテ人ト談話スルノ際何某ハ「ウニーク」ナリト  
云フヲ聞キ誤リ余ハ彼人ノ年ハ三十歳位ニ見タリト答フルコトアリ是レ「ウニーク」ハ  
英國ノ稱名ナルニ日本語ノ十九ト混同セルニ由ル佛國ニテ此品ハ「サン、フラン」ナ

リト云フヲ聞テ「サンフラン」ハ餘リ安シ五「フラン」位ノモノナリト答フルコトアリ然ルニ「サンフラン」ハ佛語ニテ五「フラン」ノイナリ

第七十二 巴里ニハ「キメ」氏ノ佛教博物館ト稱シテ佛像及佛書ヲ蒐集セル一館アリ佛像ノ部ニハ印度ノ部、支那ノ部、日本ノ部ノ區域アリテ日本ノ部ノミニテモ繪像、木像、金像、佛器佛壇等幾百種アルヲ知ラス而シテ其佛像ハ大抵宗派ヲ以テ區分シ眞言部眞宗部等ト次第セリ

第七十三 瑞西ハ新教ノ國ニシテ其宗ハ「カルビン」宗ナリ而シテ舊教ノ信徒亦多シ  
第七十四 「カルビン」宗ハ會議組織ヨリ成リ僧侶ノ平等同權ヲ唱ヘ本山ヲ置カス教正ヲ立テス諸事皆會議ニヨリテ決ス故ニ蘇國宗ト同組織ヲ有ス

第七十五 「カルビン」宗ハ新教ノ一派ニシテ舊教ニ抗抵シテ起リタルモノナレトモ獨逸ニ行ハル、所ノ新教即チ「ルーテル」宗トハ稍異ナル所アリテ之ヲ「ルーテル」宗

ニ比スレハ其主義ト云ヒ宗制ト云ヒ一層嚴ナルモノナリ

第七十六 西班牙國ノ都城「マドリット」ハ其地位至テ高ク歐米首府中最モ天ニ近キモノナリ故ニ其人民大ニ喜テ曰ク我國都ハ最モ天國ニ近キヲ以テ特別ニ上帝ノ監護ヲ受クヘント其妄信此ノ如シ

第七十七 西班牙國ノ貴族院ニハ高僧及教正列席ノ權ヲ有シ下院ニハ一寺ノ住職ハ勿論苟モ僧侶ノ列ニ加ハルモノハ皆議員ヲ撰舉スルノ權ヲ有スト云フ

第七十八 友人西班牙ニ遊ヒタルモノ曰ク西班牙ノ事情ハ左ノ一節ニテ盡スコトヲ得ヘシ曰ク

西班牙ハ寺ト乞食ト歴史ノミ

第七十九 葡萄牙國ニハ僧坊、尼坊今尙ホ存スト雖モ堂宇ハ大抵頽敗シテ零落ノ狀ヲ呈シ僧侶ハ其下等ノ地位ニ至リテハ學識甚タ乏シク生計大ニ困シ農夫役夫ヲ去ル一遠カラスト云フ

以太利紀行ノ部(附希臘及土耳其)

第百八十 以太利ハ羅馬宗ヲ以テ國教ト定メ其國ヲ分チテ三十七大教區ニ方〇四百六十五小教區トナシ寺院ノ數五万五千二百六十三棟僧侶ノ數七万六千五百六十八アリ其外往時ハ僧坊一千五百〇六、尼坊八百七十六、坊僧二万八千九百九十一人、尼一万四千百八十四人アリシモ現今ハ大ニ其數ヲ減シタリト云フ

第百八十一 羅馬ハ羅馬宗大本山ノ地ニシテ法王ノ住スル處ナリ、然レモ法王ニハ通常ノ人容易ニ謁見スルコトヲ得ス年中大祭日若クハ大祝日ヲ除クノ外法王ハ禮拜堂ニ臨席スルコトナシ臨席ノ節モ衆人容易ニ法王ニ接見スルコト能ハス當日入場ノモノハ特別ノ許可ヲ得ルヲ要シ且ツ禮服ヲ着用セサルヘカラス而シテ平日ハ法王深殿中ニ起居シ絶テ市中ニ出ルコトナシ故ニ大祭日ニ親ヲ禮壇ニ上リテ供養ヲナスニ當リテハ滿堂隨喜ノ涙ニ咽ヒ感泣ノ聲四隣ニ聞エト云フ恰モ我真宗信徒ノ其法主ヲ拜スルニ

異ナラス

第百八十二 大本山ノ名ハ「センペートル」寺ト云フ世界第一ノ大堂ナリ其興行百十六間中央左右ノ長サ六十五間堂ノ絶頂ノ高サ二百十六間ナリ其建築ノ費用大計六千五百萬圓ナリト云フ當時法王此費用ヲ支辨スルニ苦ミ金ヲ納メテ位階特許等ヲ買ヒ得ルノ方法ヲ設ケタルニ其結果宗教改革ノ亂ヲ引キ起スニ至レリト云フ

第百八十三 法王ノ宮殿ヲ「パチカン」ト云フ古來世界ニアル宮殿中最モ大ナルモノナリ其長五百七十八間其横三百八十五間其殿内ニハ大小室數ヲ合セテ一万一千室アリト云フ當時ハ法王其一小部分ヲ占有シ其他ハ政府ニテ博物館美術館等ニ用フ此一事實ヲ見テ法王ノ權勢ノ衰ヘタル一斑ヲ知ルヘシ

第百八十四 羅馬ニハ「センペートル」ヲ除ク外有名ナル寺院甚ク多シ其中ニハ古來巡禮參拜ノ寺アリ耶蘇ニ因縁アル寶物ヲ有セシ寺アリ耶蘇ヲ縛セル杭、耶蘇ノ踞セシ石ナドヲ保存セル寺アリ恰モ我邦ノ古刹ニテ袈裟掛ノ松、手植ノ梅、何上人ノ

袈裟珠數等ヲ保存セルニ異ナラス

第百八十五 羅馬ノ市外ニ古代耶蘇教者ヲ埋葬セシ處アリ之ヲ「カタコム」ト云フ其中ニハ羅馬時代ノ高僧大德ノ遺骨モアリ罪人惡徒ノ遺骨モアレド今日ニアリテハ其遺骨ヲ辨別スルヲ能ハス然ルニ狡商輩羅馬ニ到リ其墓所ヨリ遺骨ヲ拾ヒ取り之ニ高僧大德ノ名ヲ與ヘ是レ何大師ノ遺骨ナリ是レ何上人ノ遺骨ナリト稱シ世ノ耶蘇教信者ヨリ千金萬金ヲ取りテ其品ヲ賣渡スト云フ故ニ昔時大罪人ノ骨今日大聖者ノ骨トナリ朝夕禮拜供養ヲ受クルモノ必ス多カルヘシ

第百八十六 羅馬宗當代ノ法王ハ「レオ」十三世ヨシテ以國貴族ノ子ナリ一千八百十年ニ生レ一千八百七十八年ニ法位ニ即ク法王ノ初代彼得ヨリ此法王ニ至ルマテ二百六十三代ヲ經ルト云フ即チ當代ハ二百六十三代目ノ法王ナリ

第百八十七 法王ノ下ニハ法王ノ大臣參議若クハ顧問官トモ稱スヘキモノ數十名相會シテ議事ヲ開ク其人員一定セスト雖モ大抵七十名ヲ以テ限リトス其名ヲ法老ト云

フ法老ハ法王ヲ撰擧シ及ヒ法王ニ撰擧セラル、ノ權ヲ有スルモノナリ  
 第百八十八 法王ヲ撰定スル法ハ數十名ノ法老相集リテ撰定會ヲ開ク之ヲ「コンク  
 レー」ト云フ其時各投票ヲ取リ其標面ニ撰擧者ノ名即チ自名ト法王ニ當ルヘキ法  
 老ノ名ト兩方相書シ之ヲ封鎖シテ神壇ノ上ニ置キ各誓式ヲ行フ其式終リテ投票ヲ開  
 披シ票數其總數ノ三分二以上ヲ得タルモノハ法王ニ撰定スルノ規則ナリ若シ三分二  
 以上ヲ得タルモノ二人モナキハ更ニ投票ヲ行フヲ例トス法王已ニ定リタルキハ盡  
 ク其投票ヲ燒没スルト云フ

第百八十九 法老ノ定數七十名ハカインナレヒンヨ法老教正六人カインナレフリスト法老訓導五十人カインナレヂイコ法老試補十四人ヨ  
 以成ル然レニ當今ハ法老教正六人、法老訓導四十二人、法老試補十二人都合六十八人ナ  
 リ  
 第百九十 羅馬宗ハ其組織英國教宗ニ異ナル「ナシ」唯其異ナルハ一ハ法王之ヲ總轄  
 シ一ハ國主之ヲ總轄スルノ點ニアリ法王ノ下ニ數多ノ教正及大教正アリ各教正ハ地

方中本山ノ長ニシテ其教區内ノ末寺僧侶ヲ監督ス大教正ハ地方大本山ノ長ニシテ大  
 教區内ヲ監督ス此大中兩本山ヲ總轄スルモノハ法王ナリ故ニ法王ノ本山ハ總本山ナ  
 リ又各教正ノ配下即チ中教區ニ中教區會議アリ其區内ノ僧侶之ニ出席ス其上ニ大  
 教區會議アリ大教區内ノ教正之ニ出席ス其上ニ總本山ノ會議アリ各教正及大教正  
 盡ク之ニ出席ス

第百九十一 羅馬宗ニテ僧侶賞罰ノ權ハ其地方ノ教正之ヲ有ス教正ノ賞罰ニ服セサ  
 ルモノハ法王ニ直訴スルヲ得ルナリ

第百九十二 羅馬宗ニテハ近代本山ヨリ各末寺ニ稅ヲ課シテ金ヲ募ル「ナシ」然シテ  
 各末寺ヨリ信徒ノ喜捨金ヲ集メ之ヲ法王ノ下ニ獻納スル「アリ」ト云フ

第百九十三 羅馬宗ニテ街上散步ノ際往來ノ僧侶ヲ算セシニ前ノ一時間ニ四十三人ヲ  
 見、後ノ一時間ニ七十二人ヲ見タリ僧侶ノ多キ推シテ知ルヘシ

第百九十四 以太利ノ寺院ニテハ參詣ノ信徒代ル「進」テ僧ノ手ヲ口吻スルノ風習

アリ又堂内ニ安置セル神像ヲ衆人爭フテ口吻ス恰モ我邦ノ風習實頭盧尊者ノ像ヲ手  
ヲ以テ撫捺スルニ異ナラス「セノペートル」ノ堂内ニ彼得法王ノ偶像アリ人爭ヒ跪キ  
テ之ヲ口吻ス又堂内ノ燈明ノ油ニ手ヲ浸シテ各其額ニ塗ルノ風習アリ

第百九十五 羅馬宗ノ本山「セノペートル」ノ堂内ニハ數箇ノ常夜燈アリ白晝猶ホ火  
ヲ照シ晝夜滅スルコトナシ

第百九十六 羅馬宗ノ信者ハ食事ノ席ニ就クキ胸ニ十字ヲ畫キテ後坐スルヲ禮トス  
席ヲ退クキモ亦然リ且ツ其宗ニ熱心ナルモノハ毎金曜日ニ精進潔齋スト云フ金曜日  
ハ耶蘇死刑ニ處セラレタル日ナレハナリ

第百九十七 政教子羅馬ニ在リテ一人ノ僧ニ面シ僧侶兵役ノ事ヲ問フ僧曰ク此國ノ  
僧侶ハ二年間兵役ニ從事スルヲ要スト云フ

第百九十八 以太利政府ニテハ近年漸ク寺院所有ノ土地ヲ買上ケ政府ノ所有トナス  
ト云フ

第百九十九 以太利ハ近年宗教ノ勢力非常ニ衰ヘ政府ハ益其勢ヲ滅殺センコト務ム  
獨リ羅馬ノ寺院ニハ參詣ノ客續々斷ヘサルカ如キモ是レ多クハ外國人ノ此府中ニ滯  
留サルモノナリト云フ蓋シ宗教ノ此ノ如ク衰頹セル原因ハ他ナシ羅馬ハ宗教ノ大首  
府ニシテ諸國ヨリ高僧大德ノ來リ集マル處ナリ然ルニ其高僧必スシモ皆品行端正ナ  
ルニ非ス往々醜聞ノ外ニ漏ルハアリ此地ニ住スルモノヨク其内情ヲ知り自然ノ勢僧  
侶ヲ尊敬セサルニ至リ從テ宗教ノ勢力ヲ滅スルニ至レリト云フ果シテ眞カ  
第百 歐洲到ル處乞食アラサルハナシ佛蘭西及以太利ニテハ寺院ノ門前ニ必ス乞  
食アリテ愛テ乞フ其中癡疾不具ノ者最モ多シ不具ニシテ乞食ニ巧ミナルモノハ毎日  
平均佛貨十法(我金二圓五十錢)位ノ所得アリ故ニ不具ナラサルモノモ殊更ニ不具ヲ  
偽造シテ乞食トナルト云フ

第百一 希臘ノ宗教ハ羅馬宗ト其組織ヲ異ニシタル一種ノ耶蘇教ニシテ之ヲ世ニ  
希臘宗ト云フ其一宗ノ主權ハ雅典府ナル宗教會議之ヲ有ス其會議ハ五人ノ僧侶ト二

人ノ俗徒ヨリ成ル

第二百二 從來希臘國ハ三十二教區ニ分テ各區ニ一人ノ教正アリテ之ヲ管轄ス而シテ其住スル所ノ寺一國ノ首府ニアルキハ之ヲ大教正ト稱ス凡ソ此宗ノ制規トシテ普通ノ僧侶ハ妻帯スルコト得ルモ教正ノ位ニアルモノハ妻帯スルコト許サス故ニ若シ僧侶上進シテ教正トナルキハ其妻子ヲ棄テサルヲエス而シテ其妻ハ大抵尼寺ニ入りテ比丘尼トナルト云フ

第二百三 希臘ノ内地到ル處必ス郷寺若クハ村寺トモ稱スヘキモノアリ我邦ノ郷社村社ノ如シ其各寺ニハ必ス住僧アリテ他邦人其村ヲ通過スルキハ其僧之ヲ接對スルノ風習ナリ即チ外人ヲ接對スルハ寺僧ノ職務ノ一部分トナレルナリ而シテ其僧ハ學識ト云ヒ職業ト云ヒ一般ノ村民ニ異ナルコトナシ唯其異ナルハ外貌上黒帽ヲ戴キ黒衣ヲ着シ長髮長鬚是レノミ而シテ寺務ノ餘間ニハ僧ハ其妻ト共ニ他ノ村民ノ如ク農業ヲ取ルヲ常トス即チナシハ村落ノ住僧ハ寺務ノ所得ノミコトハ糊口ヲ充テズコト能ハ

サシハナリ其生計此ノ如ク窮スルヲ以テ學問ヲ修メント欲スルモ其志ヲ果スコト能ハス唯神前ニアラテ經文ヲ誦スルコト知ルノミ故ニ其學識ノ度却テ俗人ノ下ニアリト云フ政教子是ニ於テ曰ク僧侶ノ貧且ツ愚ナルハ獨リ東洋ノ諸邦ニ限ルニ非ス佛教ノ諸宗ニ限ルニ非ス希臘ノ如キハ歐洲中ノ一國ニシテ其宗旨ハ耶蘇教ノ一派ナルモ僧侶ノ愚且ツ貧ナルコト此ノ如ク是ニ由テ之ヲ觀ルニ僧侶ハ其國人ノ學識貧富ノ一斑ヲ示スモノニシテ僧侶ノ貧且ツ愚ナルハ其國民ノ智識資産ノ程度一般ニ低キニヨリ僧侶ノ富且ツ學識アルハ其國民ノ程度モ亦高キニヨル國民一般ニ資産ニ富メハ僧侶モ亦富ミ國民一般ニ學識ニ長スシハ僧侶モ亦長シ僧侶獨リ貧ナル能ハス僧侶獨リ愚ナル能ハス嗚呼僧侶ハ一國人民ノ貧富賢愚ノ程度ヲ代表スルモノナリ

第二百四 希臘ニハ凡ソ百五十前後ノ僧坊アリテ處々ニ散在ス其坊内ニハ數多ノ僧侶アリテ眠食ス外人ノ來リテ泊宿ヲ乞フモノハ誰人ニテモ之ヲ許ス恰モ客舎ノ如シ唯其客舎ト異ナルハ日没後門ヲ出入ヲ禁ズルニ若シ僧徒ニシテ其坊ニ入ラント欲



スルモノハ先ツ其有スル所ノ金錢諸品ヲ出スヘシ然ル件ハ之ノニ相當セル年月ノ間  
 其社中ニ加ハリテ眠食スルコトヲ得ルナリ其寄留ノ間ハ一切長老ノ指揮ニ従ハサルヲ  
 得ス長老ハ坊長トシテ選舉セルモノナリ  
 第二百五 凡ソ歐洲中禮拜所ノ多キ希臘ヨリ甚キハサシ希臘ニテハ一度寺院ヲ設立  
 セル地ハ其寺院既ニ破壊セルモ永ク其跡ヲ存シ十字架ト燈明臺ヲ置キテ禮拜所ト爲  
 スナリ何トナレハ希臘人ハ寺院ヲ設立セル跡ハ永ク神聖ノ地ニシテ之ヲ開墾スルハ  
 天帝ニ對シ大不敬ナリト信スルニヨル  
 第二百六 希臘ノ寺院ハ二三ノ大寺巨刹ヲ除クノ外ハ大抵木造ノ柱壁ヨリ成ル其内  
 部ノ禮壇上ニハ十字架ト經臺アリ禮拜ノ時ハ無數ノ蠟燭ヲ其前ニ點ス壁上ニハ種々  
 彩色セル畫像アレモ木像石像等ナレ何者希臘宗ハ彫刻ニ屬スル偶像ヲ寺内ニ安置ス  
 ルコトヲ禁スレハナリ  
 第二百七 土耳其ハ回教國ニシテ帝王ハ回教ノ法王ナリ其政府ハ回教ノ政府ナリ可

聞神典ハ其國ノ法律書ナリ其官ニ在ルモノハ神典ヲ暗記スルヲ要シ其宗ノ僧侶ハ世  
 襲ナリト云フ

第二百八 亞拉比亞ノ麥加ハ教祖摩哈麥ノ靈地ナレハトテ毎年四方ヨリ其地ニ參詣  
 スルモノヲテ以テ數フ一千八百八十七年中陸ヨリ詣スルモノ二万八千二百五十一人  
 海ヨリ詣スルモノ六万八千六百八十九人アリシト云フ

澳大利紀行ノ部(附魯士亞)

第二百九 澳國ノ皇室ハ羅馬宗ヲ奉シ全國人民什中九分ハ亦羅馬宗ヲ奉シ其宗ヲ國  
教ト稱スレモ其實公認教ナリ當時羅馬宗ト「ル」ヲ宗ト猶太宗ハ政府之ヲ認定シ  
テ公認教トス希臘宗モ亦其國ノ公認教ナリ蓋シ此國ノ法律ニヨルニ人民ノ信教ハ自  
由ナレモ公然會堂ヲ建テ、說教ヲ開クヘキモノハ公認教ニ限ルト云フ

第二百十 歐洲各國大抵政府ニテ寺院保存金ヲ監督シ廢寺保存ノ用ニ備ケル方法ヲ  
設ク英國ハ勿論、佛蘭西普魯西ニモ此方法ヲ設クト云フ澳國ニモ此法アリテ教部省  
其資金ヲ監督スト云フ

第二百十一 澳國ノ憲法上ニハ州會ト國會トノ二部アリ國會ハ上下兩院ヨリ成リ上  
院ニハ大教正十人教正七人出席スルノ制規ナリ州會ニハ羅馬宗ノ大教正及ヒ教正其  
外希臘宗教正モ其議席ニ列スルコトヲ得ルナリ

第二百十二 羅馬宗希臘宗ノ僧侶及其國教宗ノ僧侶ハ一種ノ服制アリテ五條袈裟、七條、輪袈裟、白衣、黒衣、等大ニ我佛敎宗ニテ今日用フル所ノ者ニ似タリ外出ノ時モ一定ノ服制アリテ其帽モ他人ニ異ナリ一目シテ僧ト俗トヲ區別スルコトヲ得ヘシ然レニ其他ノ新敎諸宗ハ服制平常ノ人ニ大差ナクシテ僧ト俗トヲ區別スルコト甚々難シ

第二百十三 澳大利ハ羅馬宗ノ國ナレハ路傍ニ往々十字架上ノ耶穌像アリ其下ニ神燈アリテ其前ヲ通過スルモノ一拜シテ去リ恰モ我邦ノ路傍ニアル地藏尊、道祖神ノ如シ

第二百十四 維納ヨリ「ニユーブ」河ニ到ルノ道八疊敷位ノ小屋アリ其内ニ「マリー」ノ像ヲ安置シ其兩側ニ十二徒弟ノ像ヲ排列セリ、我邦ノ庵室ニ佛像ヲ安置セルニ異ナラス而シテ其室内ニハ參詣ノモノ群集シ各一心ニ請願祈念スルノ狀アリ來リテ其室ニ入ルモノ皆蠟燭ヲ獻シテ拜禮ヲ行フ其時點燈ノ數ヲ計ヘシニ九十三丁アリシ政教子曰ク愚民ノ宗敎ヲ念スル其形東西異ナルコトナシ維納ノ大都會ニシテ猶ホ

我邦ノ村落僻邑ニ存スルモノト同一ノ風習アルヲ見ル世ノ論者耶穌敎ト佛敎トヲ較シテハ開明ノ儀式ヲ用ヒ一ハ野蠻ノ風習ヲ存スト云フモ余ハ孰レカ野蠻孰レカ開明ナルヤヲ判定スルニ甚々苦シ蓋シ儀式風習ノ野蠻ナルト野蠻ヲラサルトハ人ノ方ニアリテ敎ノ方ニラサルヘシ

第二百十五 澳國ノ羅馬宗ニハ左ノ寺院僧侶アリ

大敎正 七人 敎正 二十二二人 僧長 二人

神學校 四十六 教員 二百三十人 生徒 二千〇七十八人

僧坊 四百六十一 坊僧 六千八百九十六人

尼坊 四百二十九 尼 千七百二十七人

寺僧 一萬五千〇二十六人

其外匈牙利國ニハ大敎正一人僧長一人敎正十六人坊僧二千九百四十七人尼一千九百七十五人アリ

第二百十六 羅馬宗ニ祭ル所ノ「マリ」ノ女像ハ我邦觀音ヲ拜スルニ異ザラス  
 第二百十七 魯士亞ノ人口ハ其諸領地内ニアルモノヲ合算シテ一億零二百六十八萬  
 四千五百十四人ナリ而シテ其百分六十五ハ魯國教宗、其十一ハ非國教宗、其八ハ羅  
 馬宗、其六ハ回教、其四半ハ新教諸派、其四ハ猶太宗、其一ハ「アルメニヤ」宗、其  
 他ハ外教ナリト云フ

第二百十八 魯士亞ノ宗教ハ名ハ希臘宗ト稱スト雖モ其實大ニ異ナリ唯其希臘宗ト  
 稱スル所以ハ羅馬法王ノ管轄ヲ受ケサルコト宗教會議ヲ置キテ一宗ノ政府ヲ組織ス  
 ルコト彫刻ニ屬スル偶像ヲ用非サルコト等ノ數條二者相同キニヨル而シテ魯士亞ノ宗  
 教ハ魯國皇帝ヲ戴キ之ヲシテ一宗總轄ノ權ヲ執ラシム猶ホ英國ノ國教宗ニテ其國主  
 ヲ奉戴スルカ如ク之ヲ魯國教宗ト稱ス此國教宗ニ反對シテ宗教ノ獨立ヲ唱スルモノ  
 アリ猶ホ英國ノ非國教宗ノ如ク之ヲ魯非國教宗ト稱ス此國教非國教二宗共ヨ希臘宗  
 ノ名稱ヲ用テ其外羅馬宗猶太宗等ノ數宗アリ

第二百十九 魯國教宗ノ寺院ハ皆美麗ヲ以テ名アリ堂ノ内外ニ金銀寶石ノ裝飾アル  
 ハ唯目ヲ難スノミ日ニ「セント・アイザック」巨刹ノ如キハ其建築費三百二十五萬磅即  
 チ我金二千百萬圓ヲ要セリト云フ

第二百二十 魯國教宗ノ寺院ノ禮拜式ハ大抵毎日午前六時ヨリ八時、十時ヨリ十二  
 時、午後四時ヨリ六時迄ヲ定メトス土曜ト日曜ハ少々時間ノ相違アリ禮拜中唱歌其  
 主ナル部分ナリ唱歌終ルルル魯國皇帝陛下及皇族ノ爲ニ祈請スルコトアリ其時一同稍屈  
 身シテ敬禮ヲナス

第二百二十一 信者ガ寺院ニ入ルルニハ先ツ其入口ニ賣出セル蠟燭ヲ買ヒ之ヲ其手  
 ニ執リテ徐々トシテ堂内ニ進ミ神前ニ近クニ及ヒ一方ノ足ヲ折リテ跪キ首ヲ垂レテ  
 胸ニ十字ヲ畫キ以テ敬禮ノ狀ヲ呈シ後進ミテ神前ニ到ル時ニ其持テタル蠟燭ハ火ヲ  
 點シテ之ヲ燭臺ノ上ニ置き屈身跪坐シテ一二言ノ祈請ノ語ヲ誦ス祈請終リテ退ク其  
 退クモ禮壇ニ向ヒテナカラ足ヲ脊部ニ進ムルヲ禮トス暫ク去リテ足ヲ地ニ屈シ十字ヲ

胸ニ書キ敬禮シテ堂ヲ出シ是ノ普通拜禮ノ狀ナリ

第二百二十二 魯國教宗ノ羅馬宗ト異ナル第一點ハ羅馬法王ヲ奉戴セサルコト第二點ハ洗禮ノキニ全身ヲ水ニ浸スコト必要ヲ唱フルコト第三ハ僧侶ニ結婚ヲ許スコト第四ハ器械的ノ音樂ヲ許サ、ルコト第五ハ繪像ヲ許スモ木像金像等ヲ許サ、ルコト其他宗義教理上ニ二三點ノ異同アリ

第二百二十三 魯國教宗ニテハ年中四期ノ大斷食アリ其他毎週ノ斷食アリ水曜日ト金曜日はナリ之ヲ斷食ト稱スルモ決シテ絶食スルノ謂コラス唯生肉ヲ食セサルニ猶ホ我邦ノ精進潔齋ト云フカ如シ

第二百二十四 魯國ニハ寺院ノ祭日甚多ク各地ノ本山へ巡禮巡拜スルノ風亦大ニ行ハル布施、奉加、獻納金等ノコト皆我邦ノ風習ニ異ナルコトナシ日曜ニハ寺時ノ間(即寺院ニテ禮拜式アル間)ハ市中ノ商府ヲ閉ツシテ其時間後ハ諸商店大抵相開キ芝居見立物等自在ナリ人々訪問スルモ自在ナリト云フ

第二百二十五 魯國教宗ハ帝王其管長ニシテ僧侶ノ拜命訓令ハ都テ帝王ヨリ出ツルナリ其寺院ニテ禮拜ノ節ハ必ズ嚴肅鄭重ニ魯國皇帝及其帝室ノ爲ニ天帝ニ對シテ祈請スルナリ故ニ一度其宗門ニ入ルモノハ魯國皇帝ヲ奉戴スルモノナリ魯國皇帝ノ配下ニ入ルモノナリ然ルニ魯國教一ツモ我邦ニ入リテ以來我愚民漸ク其門ニ入り信者ノ數日ニ月ニ加ハリ現今幾万人アルヲ知ラスト雖モ余カ聞ク所ニヨルニ其信徒ハ北海道及ヒ奥羽地方ニ最も多シト云フ北海道ハ魯士亞ノ國境ニ接スルノ地ニアラズヤ其人民若シ盡ク魯國教宗ヲ固信シ魯國皇帝ヲ奉戴スルハ我邦ノ不利益シ之レヨリ大ナルハナシ而シテ其地方ニ住スル人民ノ多數ハ無智ノ愚民ニシテ魯國ノ何タルヲ知ラス魯國ト日本ハ如何ナル關係ヲ有スルヤヲ知ラサルモノナンハ此ヲ誘引シテ彼ノ宗門ニ入ルハ又決シテ難キコトニアラサルヘシ殊ニ我邦信教ノ自由ヲ公達セシ今日ニ當リテハ其宗門ノ舊ニ倍シテ民間ニ流布スルニ至ルハ自然ノ勢ナリ余輩豈之レヨリ生スル所ノ將來ノ結果ヲ憂慮セサルヘケンヤ

第二百二十六、魯國ノ政府中ニハ大教院アリテ全國ノ宗教ニ關スル事件ヲ議決スル  
 ナリ其議事ニ參與スルモノハ大教正教正等ナリ此ニテ決シタル議事ハ必ス帝王ノ認  
 可ヲ得ルヲ要ス其會ヲ神會(ホリデー、セノッド)ト云フ一千八百八十九年度ノ調査表ニ  
 係ルニ神會ノ一年間ノ經費一千百十七萬四千六百五十九圓ナリ其會ニテ有スル所ノ  
 資本別ニ三千二百萬圓以上アリト云フ一千八百八十六年ノ表ニヨルニ其會ニテ一年  
 間費セル金額中帝室ヨリ支辨シタルモノ一千三百二十六萬七千四百二十一圓、信徒  
 ノ寄附ヨリ支辨セルモノ一千三百二十三萬八千八百八十四圓、神會ノ資本ヨリ支出セ  
 ルモノ六百二十三萬六千九百四十四圓、都合總計三千二百七十四萬二千五百四十九  
 圓ナリ右ハ寺院ノ保存、僧侶ノ俸給其他布教傳道等ノ經費ニ充テシモノナリ  
 第二百二十七、政教子歐洲ヲ巡回シテ魯宗寺院ノ各國ニアルモノヲ見ルニ英國ニハ  
 龍動市中ニ一寺アリ佛國ニハ巴里市中ニ一寺アリ德國ニハ維納市中ニ一寺アリ是レ  
 皆小會堂ニシテ魯士亞人ノ彼ノ地ニアルモノ、詣スル所ナレバ、是次ニ獨逸伯林ニ到

リ魯士亞ノ寺院ヲ尋ヌルニ市中ニ其堂宇ナシ唯魯公使館中ノ一室ニ會堂アリテ毎日  
 曜同國人此ニ到リテ禮拜ヲ行フト云フ故ニ余ハ遂ニ其會堂ヲ見ルヲ能ハサリシ然ル  
 ニ我東京ニ在ル魯宗ノ會堂ハ其大サ歐洲各國ニアルモノニ幾倍セルヲ知ラス而シテ  
 毎日曜此會堂ニ到ルモノ決シテ獨リ魯國人ニアラス我邦ノ人民ナリ其神學校ニ在リ  
 テ教授ヲ受クルモノハ決シテ魯士亞ノ生徒ニアラス我邦ノ生徒ナリ且ツ其會堂ハ耶  
 蘇會堂ノ我邦ニアルモノ、中最モ大ナルモノナリ是レ余カ歐米ヲ巡見シテ大ニ此點  
 ニ感覺ヲ起シタル所以ナリ

獨逸紀行ノ部(附瑞典、噠國、和蘭、白耳義)

獨逸紀行ノ部(附瑞典、噠國、和蘭、白耳義)

第二百二十八 西洋ニ女權ノ盛ナルハ米國ヲ第一トシ英國之ニ次キ佛國之レニ次キ獨逸其次ナリ

第二百二十九 西洋ノ上等社會及ヒ下等社會ハ品行正シカラス中等社會最モ正シト云フ

第二百三十 佛國ノ戰爭ノ番ハ敗北ノ圖多ク獨逸ノ戰爭ノ番ハ勝利ノ圖多シ

第二百三十一 獨逸ニハ「ルーテル」宗徒最モ多シ其宗ハ英國教宗ノ如ク堂内ニ禮壇ヲ設ケ其上ニ十字架上ノ耶穌像ヲ安置ス其上ニ燭臺經臺アリ其他別ニ説教座アリ

第二百三十二 「ルーテル」宗ノ日曜禮拜ノ時間ハ凡ソ一時間十五分乃至三十分ナリ其内三十分乃至四十五分ハ説教ナリ伯林ノ寺院ニテハ毎日曜參詣セル人ヲ見ルニ三分ノ二以上ハ女、三分ノ一以下ハ男ナリ其年齡ハ十二三歳以下ノ子供カ又ハ四十以

上ノ男女多シトス  
第二百三十三 政教子一日伯林ニアリ皇族ノ葬式アルニ會ス樂隊及ヒ兵隊其列ニ加  
ハル幡持數車花持數行アリ棺車ノ馬ハ黑衣ヲ以テ全躰ニ被ラシメテ我邦ノ葬式ニ  
別ニ替リタルナシ

第二百三十四 伯林ノ墓所ハ日本ノ墓所ノ風ト甚ク相近シ墓碑ハ極メテ粗略ナルモ  
ノニシテ其富メルモノハ廣ク地面ヲ取リ周圍ニ鐵柵ヲ繞ラシ貧シキモノハ少々地ヲ  
高メ其上ニ墓標ヲ建テ柴ヲ植ユル等皆我東京青山若クハ谷中ノ墓地ニ異ナラス

第二百三十五 政教子伯林ニアリテ耶蘇死刑ニ處セラレタル日ニ遇フ此日ヲ英語ニ  
テ「グロッドフライデー」ト云フ金曜日ナリ當日「ルーテル」宗ノ各寺ハ朝十時ヨリ  
大法會アリ至テ鄭重ナル禮拜及ヒ奏樂ヲ行フ然レモ堂内ノ裝飾ハ平常ニ異ナルヲ覺  
ヘス唯其平常ニ異ナルハ禮壇ヲ覆フニ黒色ノ帛布ヲ用フルノミ羅馬宗ノ寺院ハ之ニ  
反シ堂内別ニ耶蘇處刑ノ禮壇ヲ設ケ其前ニ十字架上ノ耶蘇像ヲ仰臥セシメ參詣ノモ

ノチシテ代リテ腕ヲ進テ其像ノ手足胸腹ヲ口吻セシム

第二百三十六 耶蘇昇天ノ日之ヲ「イースター」ト云フ此日ハ耶蘇教國ノ大祝日ス  
一ニシテ一年中耶蘇降誕ノ日ヲ第一ノ大祝日トシ昇天ノ日ヲ第二ノ大祝日トス當日  
ハ鷄卵ヲ人ニ贈ルノ風習アリ市中ノ店ニハ鷄卵ヲ形リタル菓子鮑麵等ヲ賣リ進物ノ  
用ニ備フ是レ蓋シ耶蘇々生ヲ表スル意ナラン

第二百三十七 當日寺院ニハ早朝ヨリ鮑麵下葡萄酒ノ供養アリ信者爭フテ寺ニ詣リ  
其供養ノ分配ヲ待ツ恰モ我神道ニテ神前ニ供ヘタル餅若クハ酒ヲ參詣ノモノニ配與  
スルニ異ナラス羅馬宗ニテハ堂内殊更ニ禮壇ヲ設ケ耶蘇天ニ現出シ光明ヲ四方ニ放  
チタル像ヲ安置シ參詣ノモノヲシテ其前ニ跪坐合掌セシム

第二百三十八 耶蘇處刑ノ日ハ伯林ノ市中一般ニ閉店シ演戲モ其興行ヲ休止ス昇天  
ノ日モ休日ナレバ午後ニハ演戲ノ興行アリシ  
第二百三十九 獨逸ノ風習ニテ女子成年ニ達シ成年服ヲ着クルハ必ス先ツ寺院ニ



至リテ「コンフホルメーション」ノ式ヲ受クルヲ要スト云フ

第二百四十 英國其他歐洲各國ニテ猶太教ノ會堂ハ大抵皆美麗ニシテ壯觀ナリ其儀式ノ耶蘇教ニ異ナルハ第一ニ舊約全書ノミヲ用ヒテ新約全書ヲ用ヒサルト第二ニ經文及唱歌皆「ヘブレイユ」語ヲ用フルト第三ニ土曜日ヲ以テ安息日ト定メ金曜日ノ晚ト土曜日ノ朝トニ禮拜式ヲ行フト第四ニ堂内ニ入ルモノハ帽子ヲ脱スルヲ禁スルト第五ニ男女其席ヲ異ニスル等ナリ

第二百四十一 歐洲今日ノ耶蘇教ハ情其實況ヲ觀察スルニ到底進シテ當時ノ學術ト論壇ニ理鋒ヲ争フコト能ハサルヲ知リ退テ道德ノ孤城ヲ守リ落日殘燈ノ下ニ往時ノ隆盛ヲ追懷シテ止マサルカ如シ獨、英、米、三國ハ耶蘇新教ノ國ナルモ近來舊教即チ羅馬宗ノ舊爐再ヒ火勢ヲ生スルニ至リ耶蘇教ノ進路已ニ極リテ舊途ニ復スルノ狀アリ是ニ由テ將來ヲトスルニ第三世紀ノ耶蘇教ハ降リテ貧且ツ愚ナル下等社會ノ宗教トナリテ上層社會ハ別ニ學術上組成セル一種ノ新宗教ヲ講究スルニ至ルヘシト云フ

第二百四十二 我邦ニテ說教ニ巧ミナルモノハ學識ナク學識ニ長スルモノハ說教ニ拙シ西洋モ亦然リ說教者ニ學者少ナク學者ニ說教者少ナン毎日曜ノ寺院ノ說教ノ如キハ極メテ淺薄ナルモノニシテ其喋々トシテ我人ノ罪業ノ深キ所以、上帝ノ大慈ノ淺カラサル所以ヲ述フルハ毫モ我邦ノ說教者ノ講席ニ上リテ說ク所ト異ナルヲナシ

第二百四十三 獨逸「ライプツヒ」ニ當時歐米各國ノ語ニテ發行セル東洋文學書類ノ名目ヲ集メタル小冊子アリ今西洋ニテ東洋學研究ノ流行セル景況ノ一斑ヲ示サシメ爲メ其冊子中ヨリ右ニ關スル書類ノ部數ヲ舉クルヲ左表ノ如シ

- 日本ノ歴史ニ關シタルモノ 五十三部
- 日本ノ文學ニ關シタルモノ 三十部
- 支那ノ歴史地理宗教ニ關シタルモノ 九十五部
- 支那ノ言語文學ニ關シタルモノ 百二十一部
- 印度ノ史類ニ關シタルモノ 百二十八部

印度ノ考古ニ關シタルモノ

二十部

印度ノ哲學ニ關シタルモノ

三十七部

散斯克文學ニ關シタルモノ

三百九十七部

「パリ」語學ニ關シタルモノ

三十一部

佛教ニ關シタルモノ

六十二部

其外蒙古、西藏、安南、暹羅、等諸國ノ文學宗教ニ關シタル書類亦多シ西洋猶ホ斯ノ如シ況ンヤ我邦ニ於テチヤ日本學ハ勿論、東洋ノ諸學ヲ研究スルノ必要推シテ知ルベシ

第二百四十四 西洋人ノ評論著作ニカハル佛教書類六十二部ノ中

英國龍動ノ發行ニカハルモノ

二十九部

全牛津ノ發行ニカハルモノ

三部

英領印度ノ發行ニカハルモノ

五部

米國新約克ノ發行ニカハルモノ

一部

佛國巴里ノ發行ニカハルモノ

八部

和蘭ノ發行ニカハルモノ

一部

瑞西ノ發行ニカハルモノ

二部

魯國ノ發行ニカハルモノ

二部

獨逸伯林ノ發行ニカハルモノ

三部

全「ライプツヒ」ノ發行ニカハルモノ

一部

全「ドレスデン」ノ發行ニカハルモノ

一部

其他獨逸地方ノ發行ニカハルモノ

三部

ナリ其外各國ニテ他國發行ノ佛典ヲ其國語ニ譯シタルモノアルモ右ノ表中ニハ之ヲ除ク是レ亦佛教研究ノ歐米各國ニ流行スル一斑ヲ知ルニ足ル

第二百四十五 西洋諸國ニテ東洋學ヲ研究スルニ至リシハ此第十九世紀ノ初ニシテ

諸國ニ東洋學校ノ設立アルニ至リシハ極メテ近年ノ事ナリ獨逸、佛蘭西、澳大利、ハ各東洋學校ヲ設立シ獨佛兩國ノ東洋學校ニハ日本學ノ部アリ英國ノ大學中ニハ散斯克及ヒ支那學ノ教授アリ散斯克及ヒ支那學ハ以太利及ヒ魯西亞ニテモ講究スルナリ西洋ニテ東洋學ヲ研究スルコト此ノ如ク盛ナルニ日本人ハ自國ノ諸學ヲ捨テ、獨リ西洋學ヲ用フルハ甚ダ怪マサルヘカラス

第二百四十六 西洋ノ大學内ニハ大抵神學部アラサルハナシ英國ノ大學ハ論ヲ待タズ伯林大學ニモ神學部ヲ以テ其第一部トス是レ何ニヨリテ然ルヤ蓋シ之ヲ置クノ意耶蘇教ノ外學問上講スヘキ宗教ナキヲ以テカ曰ク否ナ其意耶蘇教ハ其國ノ宗教ニシテ之ヲ研究スルハ其國ノ爲ニ必要ナルニヨルノミ果シテ然ラハ我邦ニアリテモ我從來ノ宗教ヲ大學及其他ノ專門校ニ於テ講究スルハ必要ノコナリ

第二百四十七 寺院ニハ其住職ノ發起ニテ日曜學校或ハ夜學校、夏季學校、冬季學校等ヲ設置シ貧民ノ子弟ヲ教育スルコトアリ

第二百四十八 獨逸聯邦中「プロシヤ」國ハ全國ヲ羅馬宗教區及新教派教區ニ分チ各小教區ニ小學ヲ設立スルナリ一千八百八十六年ニハ國內ニ羅馬宗小學五千〇四十二個所新教派小學一千八百八十三ノ所アリシト云フ

第二百四十九 普魯士國ハ政府中ニ教文部省アリテ宗旨ノ事件ヲ管理ス其省ニテ毎年費セル金一千八百八十九年ノ調査簿ニヨルニ七千〇十八万四千九百九十二麻(我金二千三百万圓)其中新教宗ニ費セルモノ三百九十二万八千八百八十三麻、羅馬宗百二十九万七千三百〇六麻ナリ

第二百五十 普國ノ羅馬宗ノ高僧ハ政府ヨリ毎年若干ノ俸給ヲ賦與ス其教正ノ位最モ高キモノ年給三万四千麻(我一万一千圓)其他ノ教正ハ各二万二千七百麻(我七千圓)ヲ領得スルナリ

第二百五十一 普國會上院ニハ新教宗ノ本山管長トモ云フヘキ人數名列席スルナリ

第二百五十二 「コロロン」ニアル寺院ハ世界第一ノ高塔ヲ有ス（但シ巴里ノ塔ヲ除ク）其高サ五十丈以上ナリト云フ若干ノ禮金ヲ出スモノハ其寺内ニ保存セル寶物ヲ參觀スルコト得ヘシ

第二百五十三 政教子伯林ニテ神通術ニ長スルモノアルヲ聞キ一夕之ヲ聘シテ突然實驗センコトヲ約ス而シテ遂ニ果サズ蓋シ未然ノ事ヲ前言シ千里ノ外ヲ洞視スルカ如キ怪術ハ古代蒙昧ノ世ニ限リ行ハルヘキモノニシテ文明社會ニ存スヘキ理ナシト云フト雖モ歐米人民中今日尙ホ此ノ如キ術ヲ信スルモノ甚ク多キハ歐米諸國ニモ愚民ノ多キ故ナルカ將々他ニ理由アルヤ

第二百五十四 眼前ヲ見ル眼ハ眼内ヲ見ル能ハス燈外ヲ照ス燈ハ燈下ヲ照ス能ハス果シテ然リ彼ノ西洋人ハ支那人ノ牛尾鬚ヲ垂ル、ヲ見テ大ニ之ヲ笑フ而シテ西洋ノ婦人ハ矢張牛尾鬚ヲ結ヒ或ハ垂ル、モ自ラ其笑フヘキヲ知ラス

第二百五十五 柏林博物館中ニ地獄ノ圖五幅アリ皆耶蘇教ノ地獄圖ナリ其圖畫モ本

邦ニ傳ハル所ノモノト異ナラス其想像東西符合セルハ甚ク怪シムヘシ  
第二百五十六 柏林ノ人種博物館中ニモ印度ノ佛像、支那ノ佛像日本ノ佛像等ノ部アリ日本佛像ノ部ニハ繪像四種木像金像共三十四種都合三十八種アリ其外日本神道ノ諸像諸具ヲモ蒐集セリ

第二百五十七 耶蘇新教ノ改良ハ我邦ノ真宗ノ改良トハ同點ニ販スル所多シ故ニ西洋人ハ真宗ヲ評シテ東洋ノ新教ト云フナリ

第一點、新教ニテハ各國ノ國語ニ譯シタル「バイブル」ヲ用ヒ人ヲシテ其意ヲ解シ易カラシム真宗ニテモ通俗文ノモノヲ用ヒ愚俗ヲシテ容易ク宗意ヲ解セシムルコト

第二點、新教モ真宗モ共ニ僧侶ノ妻帯ヲ許ス

第三點、新教モ真宗モ堂内ノ裝飾及ヒ儀式等簡略ヲ主トスルコト

第四點、新教モ真宗モ祭日・祝日其他禮拜ノ節專ラ説教ヲ務ムルコト

第五點、兩宗共ニ世間俗門宗ニシテ僧俗關係親近ナルコト

第二百五十八 獨國中ノ新教信者ハ之ヲ其人口ニ比例スルコトキハ總人口ノ百分六十  
四、舊教信者ハ百分三十四、猶太教徒ハ百分一、二ナリ聯邦中普魯士國ノ新教者ハ  
總人口ノ百分六十四、四、舊教信者百分三十四ナリ

第二百五十九 瑞典及ビ噠國ハ「ルーラル」宗ヲ以テ國教トナシ瑞ニテハ十二人ノ  
教正アリ噠國ニテハ七人ノ教正アリテ宗務ヲ分轄スルナリ

第二百六十 瑞典噠國ノ間ニハ彼ノ耶蘇教中ノ多妻宗即チ「モルモン」宗ノ信徒ア  
ルヲ見ルニ千八百八十年ノ統計表ニヨルニ瑞典ニ一千七百二十二人ノ「モルモン」信  
徒アリ噠國ニ四百十四人ノ同信徒アリト云フ

第二百六十一 和蘭ニテモ政府ヨリ宗旨保護ノ爲メ毎年巨額ノ金ヲ各宗ニ分與ス一  
千八百八十九年ノ表ニヨルニ新教宗ニ十一万五千六百五十二磅(英貨)、羅馬宗ニ四  
万八千〇二十四磅猶太教ニ一千〇五十五磅ヲ下附セリト云フ合計十六万四千七百四

十一磅即チ凡ソ我百十方圓ナリ

第二百六十二 白耳義ハ羅馬宗固結ノ國ニシテ宗旨ヲ以テ政黨ヲ團結シ當時ノ政府  
ハ宗旨政黨ノ組織スル所トナレリト云フ

第二百六十三 比耳義國政府ヨリ其國內各宗ニ年々賦與セル金額ハ一千八百八十八  
年ノ調査ニヨルニ

羅馬宗ニ 四百七十九万二千四百法(即チ我百二十萬圓)

新教派ニ 八万五千二百六十六法(我二萬千三百圓)

猶太教ニ 一萬六千二百九十二法(我四千圓)

其他宗教上ノ事件ニ費セル費用五萬六千法(我一萬四千圓)ナリト云フ

### 印度洋歸行ノ部

第二百六十四 政教子曰ク古來文化ノ進歩東ヨリ西ニ移ルノ傾向アリ印度及ヒ支那ハ世界中文化最モ先キニ開ケ亞細亞西部ノ諸國亦歐洲ニ先チテ隆ンナリシ其文運次第ニ西ニ移リテ歐洲ニ入り希臘及ヒ羅馬ノ文化ノ源泉ヲ開キ希臘及ヒ羅馬ノ末流降リテ歐洲各國今日ノ文運ヲ興起スルニ至レリ歐洲各國中大陸先ツ開ケ次ニ英國ニ移リ英國尋テ起リ現今ノ隆勢ヲ見ルニ至ル今後英國ニ續キテ文化ヲ以テ世界ニ鳴ルモノハ蓋シ亞米利加合衆國ナラン其進歩皆東ヨリ西ニ移ルノ規則ニ從フモノナリ若シ然ラハ將來亞米利加ニ續キテ世界ニ鳴ルモノハ東方亞細亞ナラサルヘカラス即チ日本其地ナリ日本ニ續キテ起ルモノハ支那及ヒ印度ナラン文化ノ進歩此ニ至リテ地球ヲ一周スルナリ

第二百六十五 政教子曰ク當時日本ノ物品大ニ西洋ニ流行シ室内ノ裝飾ニ日本ノ美

術品ヲ用ヒサルモノ甚ク少ナシ之ニ反シ日本ノ室内ニハ西洋ノ美術品ヲ用ヒサルモノ亦殆ントナシ是レ即チ流行品ノ交換ナリ流行品ノ交換獨リ美術品ニ限ラス學問宗教亦大ニ其傾向アリ日本ニハ近時喋々トシテ耶蘇教ヲ説クモノアリ然ルニ西洋ニハ續々耶蘇教ヲ抗擊スル論者起リ大ニ其勢力ヲ減殺スルニ至レリ而シテ其結果佛教ヲ主唱スルモノ次第ニ加ハルニ至ル故ニ余以爲テク將來東西ノ間ニ物品ノ交換ト共ニ宗教ノ交換アルヘシ

第二百六十六 佛蘭西及ヒ以太利ハ政府中ニ司法兼教部省ナルモノアリテ宗教及ヒ司法ノ事ヲ管理ス普魯士、暹國、瑞典、及ヒ澳國ハ教部兼文部省ナルモノアリテ宗教及ヒ教育ノ事ヲ管理ス而シテ省務ノ三分二ハ宗教ノ件ナリト云フ

第二百六十七 米國及ヒ英國ハ人民ノ志願ニ應シテ兵役ニ就カシムルノ規則ナルヲ以テ僧侶ハ兵役ニ從事スルヲ要セス佛國、以國、澳國、獨國、ハ國民盡ク兵役ニ從事スルノ規則ナルヲ以テ僧侶ト雖モ兵役中ニ加ハルヲ免レンス

第二百六十八 佛國、澳國、獨國等ノ僧侶ハ皆一般ノ人民同様ニ國會議員トナルノ資格ヲ有スルナリ米國亦然リ(英國ノ事ハ前ニ出ツ故ニ之ヲ略ス)獨リ以太利ハ僧侶ニ被撰權ヲ與ヘサルノ制限ヲ置ケリ

第二百六十九 佛國、獨國、以太利等ハ毎日曜市中ノ諸店大抵相開キ演戲見セ物等ハ其興行ヲ休マス平日ヨリハ一層賑ハシキ有様ナリ寺院ニ詣スルモノハ老人輩カ下等ノ人民ニ過キス其有様毫モ我邦ノ日曜ニ異ナラス而シテ英國米國ノ日曜ハ諸店盡ク閉チ興行盡ク休ミ市中寂々トシテ唯寺ニ詣スル人ヲ見ルソシ

第二百七十 政教子船中ニアリテ船客ト談話ノ際客曰ク耶蘇教者天帝ノ意アリテ萬物ヲ創造セル所以ヲ證スル語中ニ世ニ眞ノ毒物ナシ其一般ニ認メテ毒物トスルモノニシテ治療上藥物トシテ用フルモノ甚ク多ク云々言アリ政教子之ヲ聞キテ曰ク世ニ眞ノ毒物ナシト同時ニ世ニ眞ノ藥物ナシ其藥トナルモ毒トナルモ唯分量ノ多少ニ屬スルノミ如何ナル藥物モ多量ニ之ヲ用フシハ毒トナリ如何ナル毒物モ少量ニ用マ

レハ藥トナル語ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ少量ハ藥ニシテ多量ハ毒ナリ例ヘハ阿片ノ如シ  
 世間之ヲ毒物トスルモ之ヲ適度ニ用フレハ藥物トナリ若シ其度ヲ失スレハ毒物トナ  
 ル然ルニ若シ世間ニ眞ノ毒物ナレト云フコトヲ得ルモハ之レト同時ニ世間ニ眞ノ藥物  
 ナレト云フコトヲ得ヘシ若シ神ハ意アリテ毒物ヲ作ラスト云フコトヲ得ルモハ之ト同時  
 ニ神ハ意アリテ藥物ヲ作ラスト云フコトヲ得ヘシ蓋シ耶穌教者ハ其神ヲ立ツルニ便利  
 ナル一方ノ理ヲ見テ不便利ナル他方ノ理ヲ見ルコト能ハス何ゾ其見ルコトノ偏頗ナルヤ  
 例ヘハ水、火、空氣、ハ人生ニ必要ナルモノナリ人一日モ之ヲ離ル、コト能ハス故ニ  
 耶穌教者必ク言ハシ是レ神ノ人ニ生テ與ル爲メニ作ルモノナリト然ルニ水火空氣ハ  
 其人ヲ活スト同時ニ人ヲ殺スモノナリ人生レテ水火空氣ノ其身ニ適セザル爲メニ死  
 スルモノ幾千萬アルヲ知ラヌ又水災火災風災ノ爲メニ毎年人ノ生命ヲ失フモノ幾許  
 アルヲ知ラヌ若シ神ハ人ニ生テ與フル爲メニ此ノ如キモノヲ作ルト云フコトヲ得ルモ  
 ハ之レト同時ニ神ハ人ヲ殺ス爲メニ此ノ如キモノヲ作ルト云ハサルヲエス耶穌教者

カ神ハ無用無益ノモノヲ作ラスト喋々スルモノ全く愚民ノ信仰ヲ引ク手段ニ過キサ  
 ルナリ

第二百七十二 船客中日本人八名アリ皆曰ク過般日本ヨリ歐洲ヘ航スルモハ船中ノ  
 食其味至テ美ナリシカ今度船中ノ食事甚ク惡シト政教子曰ク是レ食事ノ惡シキニ  
 アラス欠ク西洋ニアリテ彼地ノ食ニ慣レタルニヨル

第二百七十二 船中ニ舊教ノ尼數名乗込ム皆支那ニ傳道スルモノナリ支那人夫婦小  
 兒ヲ携ヘテ亦乗船スニ其兒ノ手ヲ握ラントス支那人敢テ許サス蓋シ支那人ハ一般ニ  
 尼ノ手小兒ニ觸ルレハ小兒ノ一身上ニ不幸ヲ來スコトヲ信スト云フ

第二百七十三 桑港ヨリ日本ニ歸ルモノハ日本ノ家屋ノ小ニシテ道路ノ狹キニ驚キ  
 印度洋ヨリ歸ルモノハ日本ノ家屋道路ノ案外ニ美且ツ大ナルニ驚クト云フ是レ他ナ  
 シ印度洋ヨリ歸ルモハ印度支那諸方ノ實況ヲ目撃セルニヨル

第二百七十四 船印度ニ着シ其市街民家林園等ヲ觀察スルモハオノツカテ我日本ノ



實況ヲ提出スルニ至ル是レ其風俗風景ノ兩國ノ間甚ク相似タル所アルニヨル  
第二百七十五 政教子支那人ト筆談ヲ試ミ談支那哲學ニ及フ種々問答ノ末支那人詩  
ヲ作リテ政教子ニ贈ル

光緒乙丑三月英倫役滿東歸由法國之馬賽口登舟遇日本井上甫水兄亦自歐洲東歸  
者倚蓬筆談娓娓不倦頗慰客懷甫水兄於書無敢不讀既通泰西文字又通朱陸之學  
詢東方之博雅也將別矣率成一律以贈其歸時五月十八日舟過安南海書此

弟桐城 張祖翼 述先未定艸

風雨共歸舟、言從海外遊、燈明孤塔遠、風壓片帆遺、海水平如砥、客心間似鷗、他年應  
相濟、黃漫說歐洲

第二百七十六 西洋ニ行クモノハ香港ノ意外ハ美ナルニ驚キ西洋ヨリ歸ルモノハ香  
港ノ意外ハ美ナラサルニ驚ク是レ香港其物ノ前後異ナルニアラス之ヲ見ル人ノ眼前  
後同シカラサルニヨル

第二百七十七 政教子佛蘭西ニアリテ之ヲ聞ク日本人ニシテ西洋ニ行キテ商店ヲ開  
カント欲スルモノハ愚ノ極ナリ近來西洋ニ商店ヲ開キタルモノニシテ一人モ失敗ヲ  
取ラサルハナシ若シ外國ニ商店ヲ開カント欲セハ支那ニ行クヲ良策トスト云フ而シ  
テ支那ニ到リ其地ニ住スル本邦人ニ聞クニ曰ク日本人ノ商法ヲ支那人ト共ニ争ハ  
ト欲スルハ愚ノ至リナリ支那人ノ商法ニ巧ナルハ西洋人モ懼ルハ所ナリ寧ロ之レト  
競争セシヨリ西洋人ト競争スルニ如カスト是レニ由テ之ヲ觀ルニ日本人ハ到底外國  
商法ヲ以テ國ヲ富マヌヘカラス果シテ然ラハ我國ヲ富マヌノ法ハ政教子ノ唱フル所  
ノ富國策ヲ用フルヨリ外ナシ

第二百七十八 船玄海ヲ渡リテ馬關ニ近クニ及ヒ其雲容山影ノ尋常ニ異ナルヲ見漸  
ク近キテ其風景ノ畫圖中ノ山水ニ類スルカ如キモノヲ見ル此ノ如キノ好風景ハ一  
ニ日本ヲ出テ、ヨリ未ダ嘗テ見サル所ナリ實ニ日本ハ天地ノ公園ナリ自然ノ畫圖ナ  
リ此畫圖アリ此公園アリテ始メテ外人ノ來遊ヲ引クヘシ坐ナカラ富國ノ方法ヲ講ス

ヘシ

第二百七十九 歐米各國ノ人口ト教徒寺院僧侶ノ比較表左ノ如シ

一 米國 人口五千〇四十九萬七千〇五十七人

新教教徒 凡三千萬人

「メソヂスト」教徒 三百七十一萬六千人

「バプチスト」教徒 二百七十萬五千九百人

「プレスビテリアン」 百〇三萬人

「ルーテル」 九十三萬〇八百三十人

「シクセイプルス、オブ、ツライスト」 八十五萬人

「コングレグーショナル」 四十一萬八千五百六十四人

「エビスコパル」 四十萬七千五百四十六人

「キリナイテッドプレスレン」 十七萬三千二百六十五人

「レフオラムドナルチ」 三十五萬四千八百二十九人

「モルモン」 十五萬七千八百三十五人

「クエーカー」 十萬人

舊教教徒 二千百六十六萬五千〇五十二人

一 英國(英蘭) 人口二千五百九十七萬四千四百三十九人(ウエールス共)

英國教教徒 二千三百五十萬人

「メソヂスト」教徒 四十三萬四千四百〇七人(英、蘇兩國)

「プレスビテリアン」教徒 六萬二千五百六十六人

「コングレグーショナル」教徒 三十六萬人(英、蘇兩國)

「バプチスト」教徒 二十九萬九千五百〇六人(英、蘇兩國)

羅馬教徒 百三十五萬四千人

一 蘇國 人口三百七十三萬五千五百七十三人

蘇國教宗徒

五十七萬九千〇四十三人

「ソリチヤルチ」宗徒

百十六萬五千人

「ユニオナツト、プレスビテリヤン」宗徒十八萬二千百七十八人

羅馬宗徒

三十二萬六千人

英國教宗徒

八萬人

一愛國アイランド 人口五百十七萬四千八百三十六人

羅馬宗徒

三百九十六萬〇八百九十一人

英國教宗徒

六十二萬人

「プレスビテリヤン」宗徒

四十七萬〇七百三十四人

「メソヂスト」宗徒

四萬八千八百三十九人

「コングレゲーショナル」宗徒

六千二百十人

「パンテスト」宗徒

四千八百七十九人

「クニッカー」宗徒

三千六百四十五人

一佛國 人口三千八百二十一萬八千九百〇三人

羅馬宗徒

二千九百二十萬一千七百〇三人

新教宗徒

六十九萬二千八百人

其他ノ耶蘇諸派

三萬三千〇四十二人

一西班牙國 人口一千七百三十五萬八千四百〇四人

羅馬宗徒

一千七百三十二萬四千三百九十九人

新教宗徒

六千六百五十四人

一葡萄牙國 人口四百七十萬八千七百七十八人

新教宗徒

五百人

其他ハ皆舊教徒ナリ

一以太利國 人口三千〇二十六萬〇六十五人

新教宗徒

六萬二千人

其他ハ皆舊教徒ナリ

一希臘國 人口百九十七萬九千四百五十三人

希臘宗徒

百六十三萬五千六百九十八人

舊教及自他ノ耶蘇諸派

二千六百五十二人

其他希臘所屬ノ「エピラス」及「セツサリ」地内ハ希臘宗徒二十六萬六千六

百八十八人アリ

一澳大利國(匈牙利ヲ合セテ) 人口四千〇三十四萬八千二百十五人

澳國 人口二千三百四十四萬七千九百九十二人

羅馬宗徒

一千七百六十八萬六千人

希臘宗徒

二百五十四萬一千人

新教諸派

四十萬人

匈國人口 二千六百九十萬一千〇二十三

羅馬宗徒

七百九十萬五千人

希臘宗徒

百五十萬五千人

新教諸派

三百十七萬四千人

一魯國人口(歐洲部内) 八千七百七十二萬五千八百八十五人

魯國教宗徒

六千五百萬五千四百人

羅馬宗

八百三十萬人

新教諸派

二百九十五萬人

一獨逸帝國 人口四千六百八十五萬五千七百〇四人

羅馬宗徒

一千五百八十八萬二千人

新教宗徒

三千萬人

自餘耶蘇諸派

八百二十二萬六千人